

# 精華町の障害福祉に関するアンケート調査 結果報告書

令和5年3月  
京都府 精華町

# 目次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 回収結果.....	1
4 報告書の見方.....	1
II 調査結果まとめ.....	2
1 障害のある方対象調査.....	2
2 18歳未満のお子さまの保護者対象調査.....	3
III 障害のある方対象のアンケート調査結果.....	4
あなた自身について.....	4
(1) あなたの状況について.....	4
(2) あなたの障害について.....	8
(3) 介助の状況について.....	14
(4) 悩み・相談・情報入手の方法について.....	21
(5) 障害福祉サービスなどについて.....	33
(6) 社会参加について.....	41
(7) 一人ひとりの権利を守る取り組みについて.....	45
(8) 就労支援について.....	56
(9) 医療について.....	60
(10) 緊急時の対応について.....	63
(11) 障害のある方を「主に介助する人」について.....	71
(12) 障害福祉施策全般について.....	73
IV 18歳未満のお子さまの保護者対象のアンケート調査結果.....	76
あなた自身について.....	76
(1) お子さまの状況について.....	76
(2) お子さまの障害について.....	79
(3) お子さまの相談について.....	83
(4) お子さまの保育・教育について.....	89
(5) お子さまの医療について.....	98
(6) 障害福祉サービスなどについて.....	101
(7) 子育てについて.....	103
(8) 一人ひとりの権利を守る取り組みについて.....	105
(9) 緊急時の対応について.....	111
(10) 障害福祉施設全般について.....	117



# I アンケート調査の概要

## (1) 調査の目的

本調査は、障害のある方々の障害福祉サービスの利用実態や、障害福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進のための基礎資料とさせていただくことを目的として実施しました。

## (2) 調査概要

項目	障害のある方対象調査	18歳未満のお子さまの保護者対象調査
調査対象者	各種の障害者手帳をお持ちの方 (無作為抽出)	障害者手帳をお持ちか、障害福祉サービスを利用しているお子さまの保護者 (無作為抽出)
調査期間	令和4年12月5日(月) ～12月19日(月)	令和4年12月5日(月) ～12月19日(月)
調査方法	郵送配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収

## (3) 回収結果

種別	配布数	有効回収数	有効回収率
障害のある方対象調査	1,000件	486件	48.6%
18歳未満のお子さまの保護者対象調査	180件	69件	38.3%

## (4) 報告書の見方

◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

◇クロス集計結果では不明・無回答を掲載していないため、全体の件数とクロス項目を合計した件数が一致しない場合があります。

## Ⅱ 調査結果まとめ

### (Ⅰ) 障害のある方対象調査

#### ①悩み・相談・情報の入手

現在の不安では、18-64歳では「生活費など経済面に関すること」が65歳以上と比較して高く、さらに、利用したいサービスでは「サービス等利用の計画づくりを支援してくれる（計画相談支援）」が2番目に高くなっていることから、将来自立して生活するうえでの不安が高くなっていると考えられ、将来を見据えたサービス提供体制の整備などに対する取り組みのさらなる推進が求められています。

<22 ページ問 21、38・39 ページ問 28>

#### ②社会参加の促進

今後したい活動では、旅行の他にボランティア活動や障害者団体の活動など、コロナ禍で制限されていた内容の回答割合が高く、人と関わる活動へのニーズが高まっているとみられます。一方で、活動を行う上での問題として「健康や体力に自信がない」「移動が大変」といった回答が多く、障害に関係なく、一人ひとりの希望に応じた活動機会の提供を進めることが重要です。

<41 ページ問 29、43 ページ問 30>

#### ③権利擁護

療育や精神では、身体と比較して差別や偏見、嫌がらせをされたと感じたことが「ある」と回答する人の割合が高くなっています。差別や偏見を感じたときについては、地域の行事やお店、学校や公共交通機関などにおいて2割程度の回答があるため、まち全体での啓発や意識向上が必要となっています。

<45 ページ問 31、46 ページ問 32>

#### ④就労

就労のために必要な支援として、「障害特性にあった仕事内容や働き方の支援」が最も多く、次いで「技術や知識を学び就職に結びつける支援」「仕事の体験ができる実習の場があること」となっており、障害の特性に応じた就労環境の整備や、就職するための支援の充実を進めることが重要です。

<58 ページ問 39>

#### ⑤防災

災害時の避難については65歳以上で「できない」という回答が一定数あります。さらに、家族が不在の場合に助けてくれる人が「いない」と回答する人が多く、いざという時に支援を必要とする方をサポートできる体制の整備が必要となっています。また、療育では身体や精神と比較して、意思疎通や迷惑をかけるなどの不安から、避難所へ避難することへのためらいや避難所での生活に不安を感じている人の割合が高く、福祉避難所の整備や周知などが重要です。

<63 ページ問 46、64 ページ問 47、67 ページ問 49>

## (2) 18歳未満のお子さまの保護者対象調査

### ①相談

相談支援の充実のために必要なことでは、「専門的な相談や助言ができる人材がいること」が最も高く、次いで「福祉・教育・就労などの一貫した相談支援体制を充実させること」が高くなっており、障害福祉に関する情報だけでなく、教育や就労など様々な分野と連携した情報の提供も求められています。

<85 ページ問 13>

### ②保育・教育

学校卒業後の進路として、「企業などへの就職」「福祉就労（就労継続支援）を利用」については、お子さまの希望と回答者の希望で 10 ポイント以上の差がついています。障害の特性や本人の希望に合わせた支援が求められています。また、将来に向けての不安について「仕事に関すること」「生活費など経済面に関すること」が高くなっており、将来を見据えたサービス提供体制の整備などに対する取り組みのさらなる推進が求められています。

<94 ページ問 24、95 ページ問 25>

### ③子育て

子育てにおいて困っていることについては、「将来を考えると不安である」が最も高く、次いで「本人に感情的になってしまう」「精神的に滅入ってしまう」が高くなっています。障害のある子どもの自立した将来を不安視する声と、子育てする本人の体力や精神面を不安視する声が共に高くなっているため、子どもが自立して生活できるサービスや環境の整備に加えて、子育てする側をサポートする体制も強化していく必要があります。

<103 ページ問 37>

### ④権利擁護

差別や偏見、嫌がらせをされたと感じたことが「ある」が、障害のある方対象調査の結果よりも多く、障害者（児）に対する理解においても、「進んでいない」が障害のある方対象調査の結果よりも多くなっています。差別や嫌がらせをされた場所として、普通学校では「学校での子ども同士のつきあい」、特別支援学校では「地域の行事や集まり」「公共交通機関」で多くなっており、障害のある子どもが日中活動する場所を中心に、理解促進を図るための啓発を進めていく必要があります。

<105 ページ問 39、107 ページ問 40、108 ページ問 41>

### ⑤防災

災害時に避難所で過ごす場合に、不安に感じることについては「迷惑をかけるとしてしまう」「周囲の目が気になる」が多く、災害発生時にお子さまについて心配なことについては「避難所で過ごせるかどうか不安」が多くなっており、避難所での周囲からの理解についての不安が強いことが分かります。

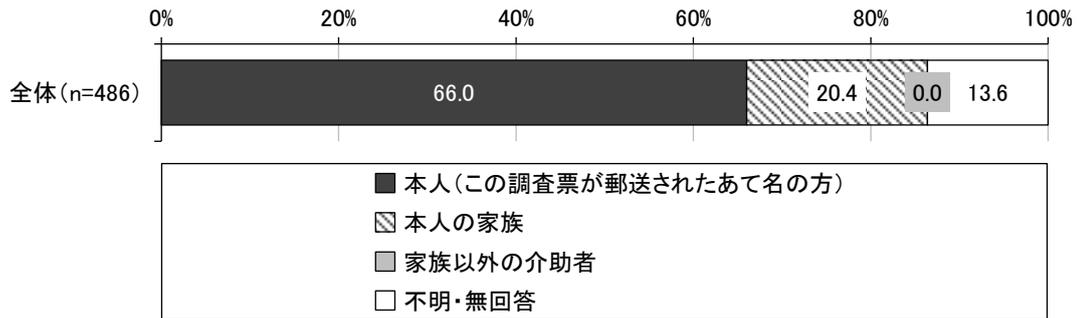
<112 ページ問 48、114 ページ問 49>

### Ⅲ 障害のある方対象のアンケート調査結果

#### あなた自身について

回答者 今回、アンケートにお答えいただくのは、どなたですか。(〇は1つ)

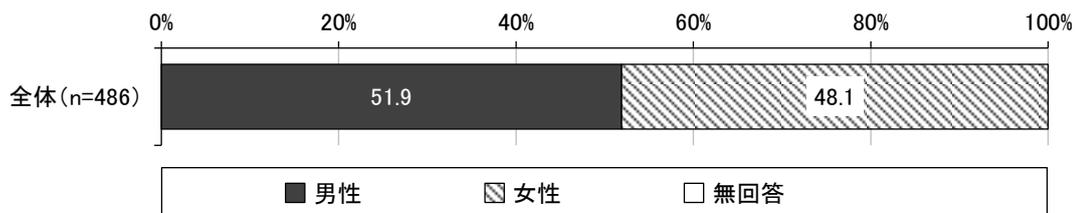
全体では、「本人（この調査票が郵送されたあて名の方）」が66.0%、「本人の家族」が20.4%となっています。



#### (1) あなたの状況について

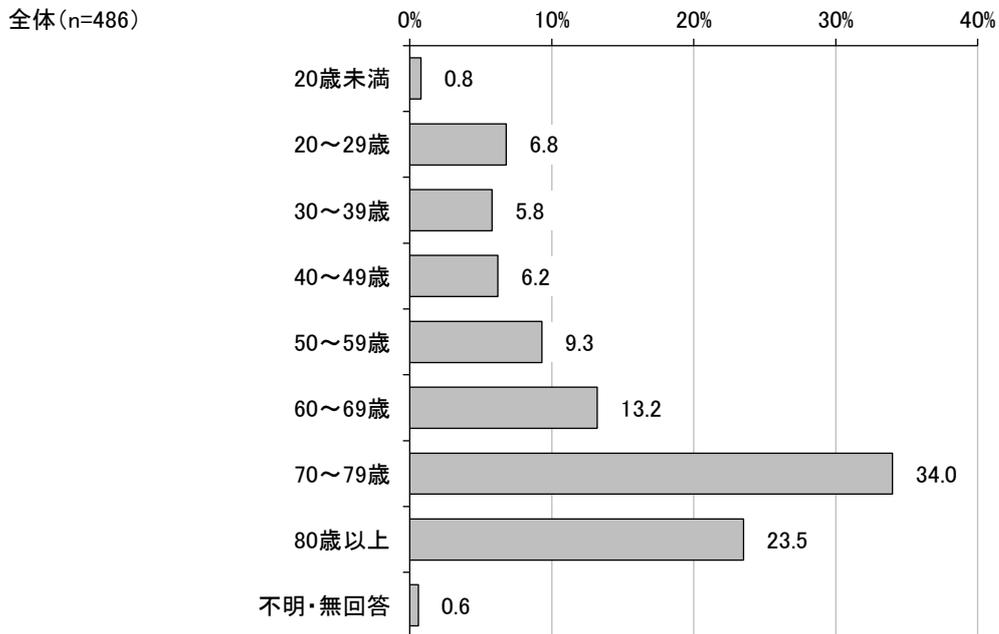
問1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

全体では、「男性」が51.9%、「女性」が48.1%となっています。



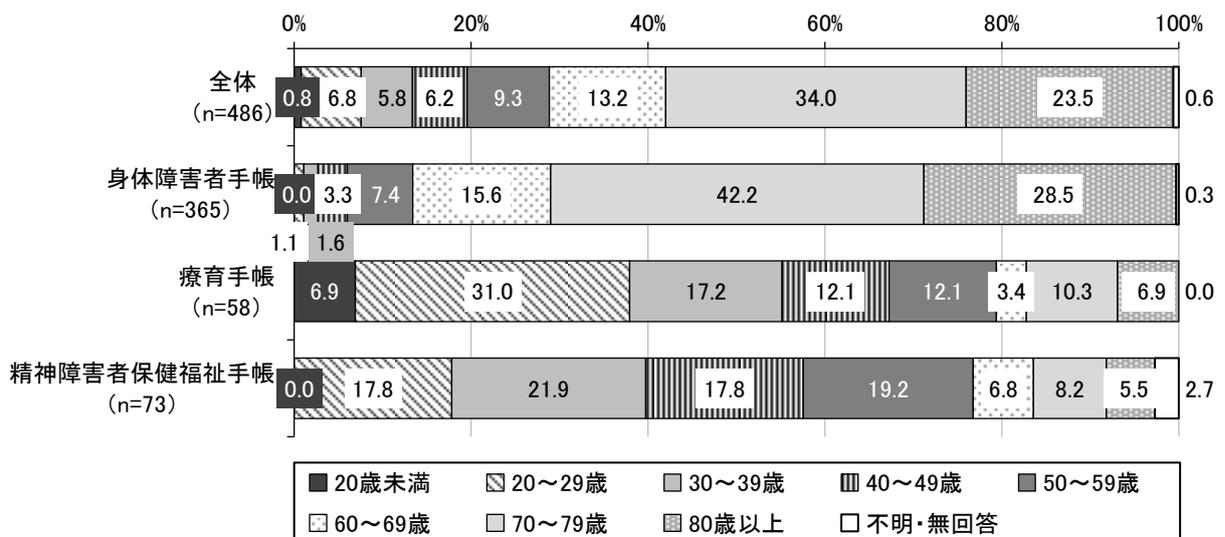
問2 令和4年11月1日現在のあなたの年齢を教えてください。(枠の中に記入)

全体では、「70～79歳」が34.0%と最も高く、次いで「80歳以上」が23.5%、「60～69歳」が13.2%となっています。



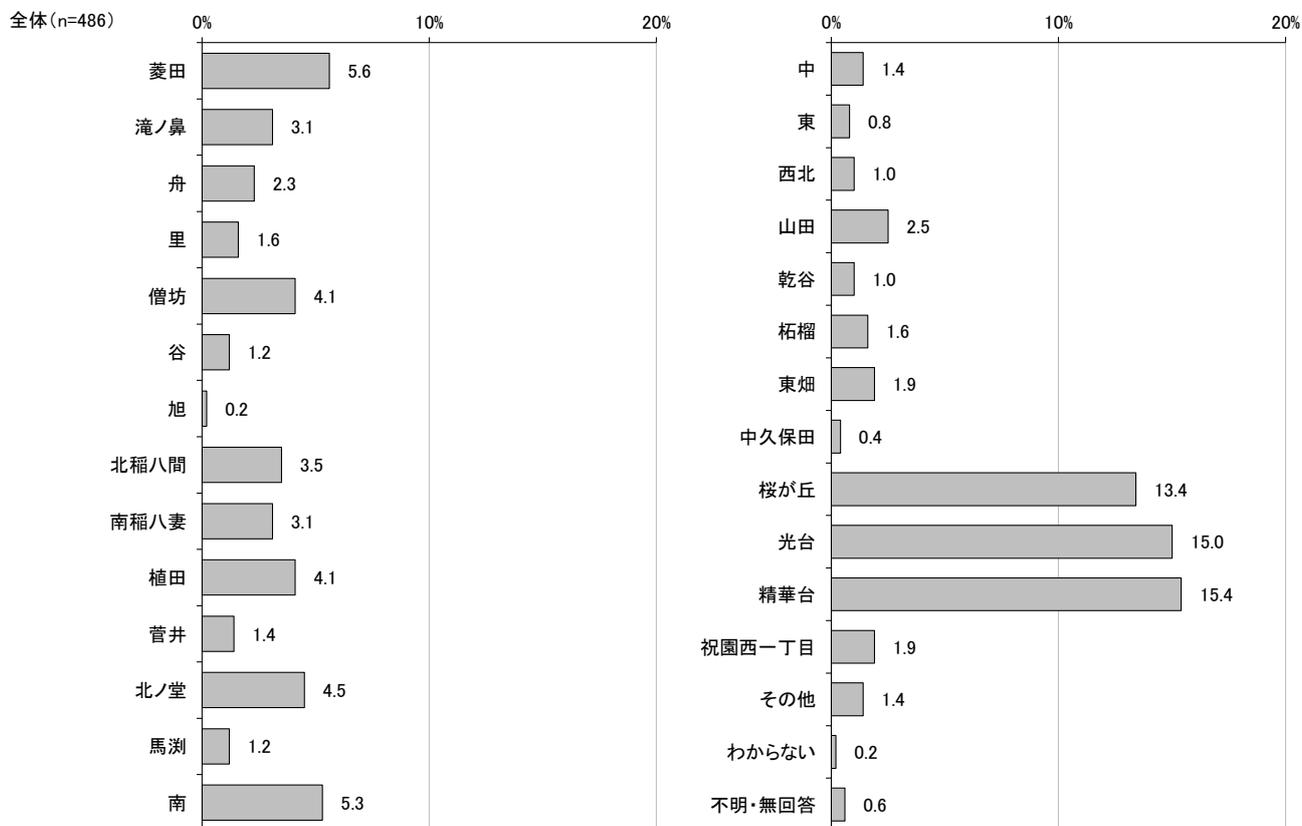
【問2の手帳種別による集計結果】

手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者では「70～79歳」が42.2%、療育手帳所持者では「20～29歳」が31.0%、精神障害者保健福祉手帳所持者では「30～39歳」が21.9%とそれぞれ最も高くなっています。



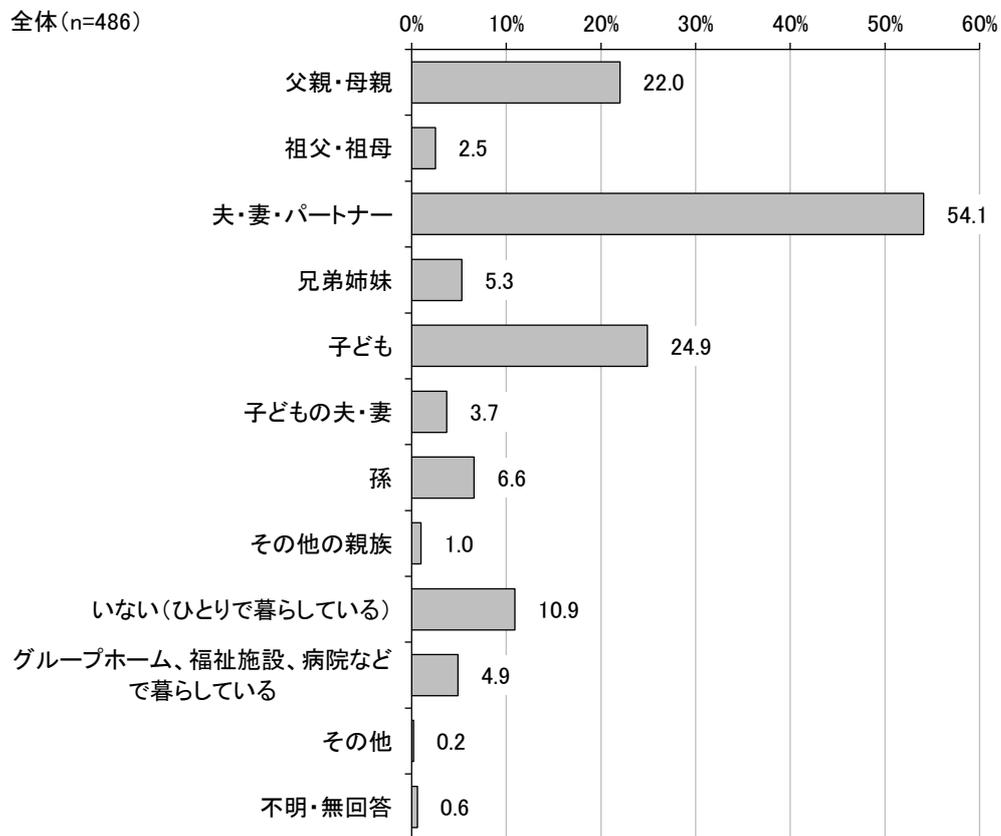
問3 あなたが、お住まいの地区はどちらですか。(〇は1つ)

全体では、「精華台」が15.4%と最も高く、次いで「光台」が15.0%、「桜が丘」が13.4%となっています。



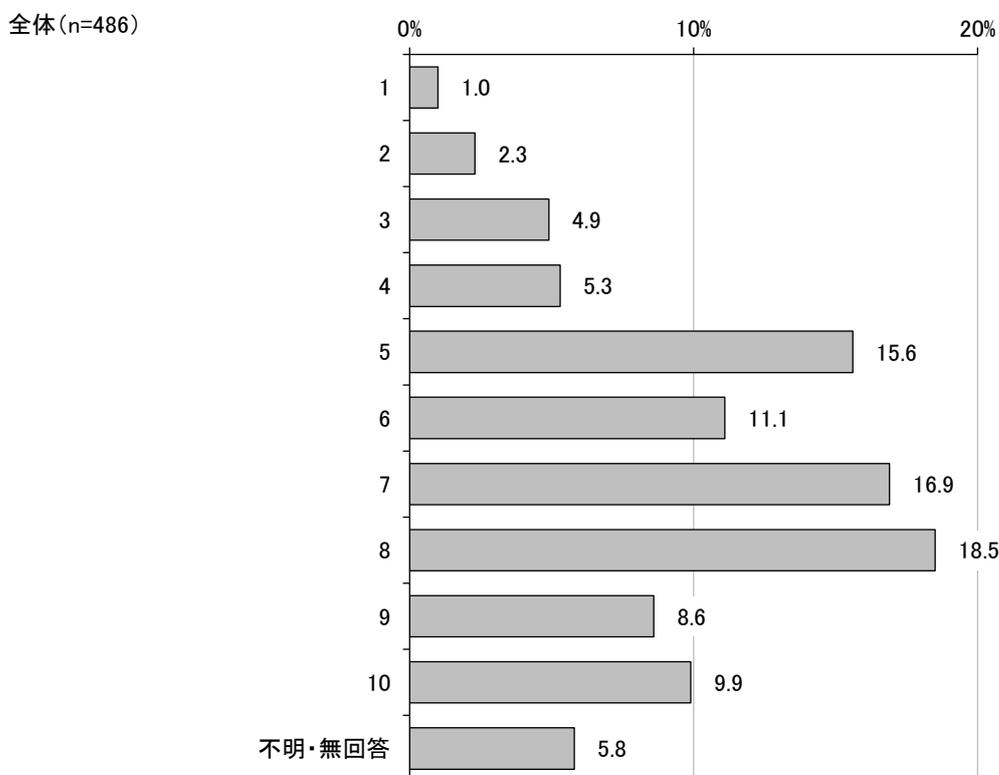
問4 あなたは、現在どなたといっしょに暮らしていますか。あなたからみた関係性でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「夫・妻・パートナー」が54.1%と最も高く、次いで「子ども」が24.9%、「父親・母親」が22.0%となっています。



問5 あなたは、現在の生活についてどの程度、満足していますか。1（不満）から10（満足）の10段階でお答えください。（あてはまる数字1つに○）

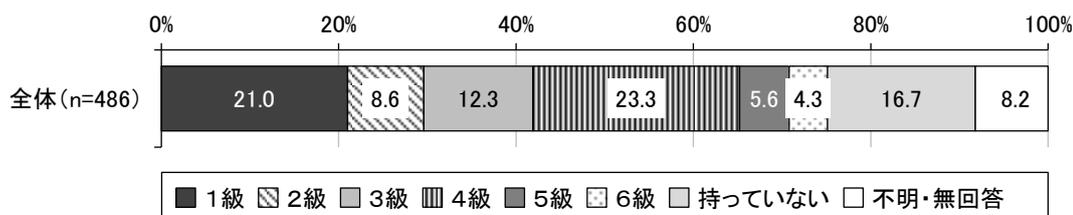
全体では、「8」が18.5%と最も高く、次いで「7」が16.9%、「5」が15.6%となっています。



## (2) あなたの障害について

問6 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。お持ちの場合、手帳の程度を教えてください。（○は1つ）

全体では、「4級」が23.3%と最も高く、次いで「1級」が21.0%、「持っていない」が16.7%となっています。

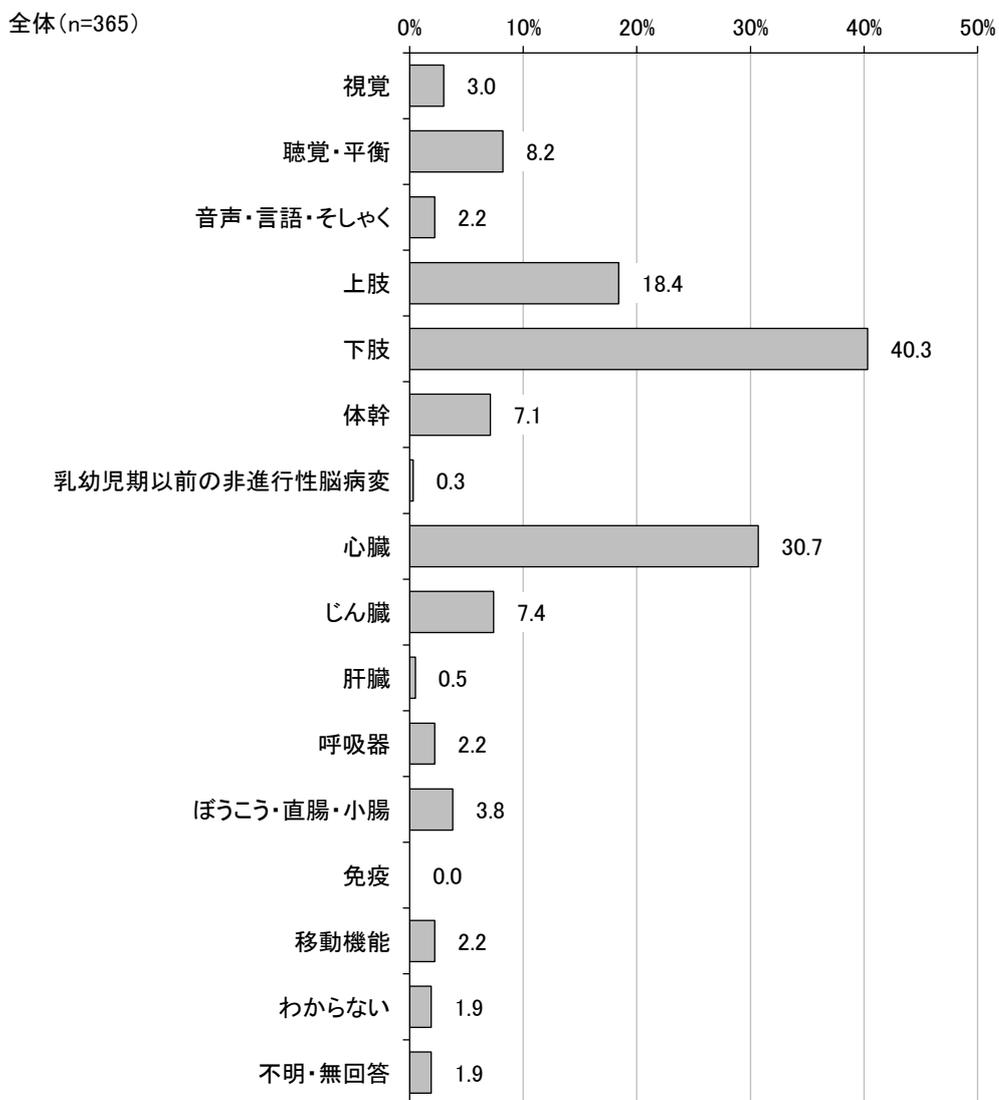


問6 でいずれかの手帳をお持ちの方

問7 身体障害者手帳に記載されている障害の部位をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

全体では、「下肢」が40.3%と最も高く、次いで「心臓」が30.7%、「上肢」が18.4%となっています。



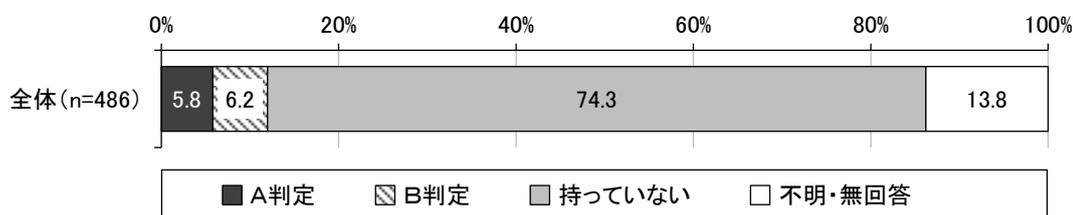
【問7の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18-64歳、65歳以上ではどちらも「下肢」が最も高くなっています。

	件数	視覚	聴覚・平衡	音声・言語・そしゃく	上肢	下肢	体幹	乳幼児期以前の非進行性脳病変
	割合(%)							
全体	365	11	30	8	67	147	26	1
	100.0	3.0	8.2	2.2	18.4	40.3	7.1	0.3
18-64歳	71	1	6	1	18	29	9	1
	100.0	1.4	8.5	1.4	25.4	40.8	12.7	1.4
65歳以上	293	10	24	7	48	117	17	0
	100.0	3.4	8.2	2.4	16.4	39.9	5.8	0.0
	心臓	じん臓	肝臓	呼吸器	ぼうこう・直腸・小腸	免疫	移動機能	わからない
全体	112	27	2	8	14	0	8	7
	30.7	7.4	0.5	2.2	3.8	0.0	2.2	1.9
18-64歳	11	6	1	0	2	0	1	4
	15.5	8.5	1.4	0.0	2.8	0.0	1.4	5.6
65歳以上	101	21	1	8	12	0	7	3
	34.5	7.2	0.3	2.7	4.1	0.0	2.4	1.0
	不明・無回答							
全体	7							
	1.9							
18-64歳	4							
	5.6							
65歳以上	3							
	1.0							

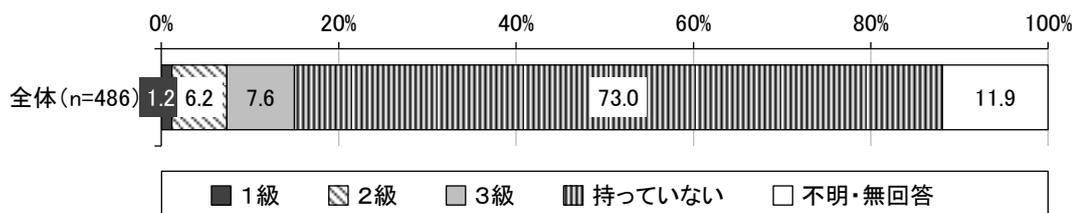
問8 あなたは療育手帳をお持ちですか。お持ちの場合、手帳の程度を教えてください。(〇は1つ)

全体では、「持っていない」が74.3%と最も高く、次いで「B判定」が6.2%、「A判定」が5.8%となっています。



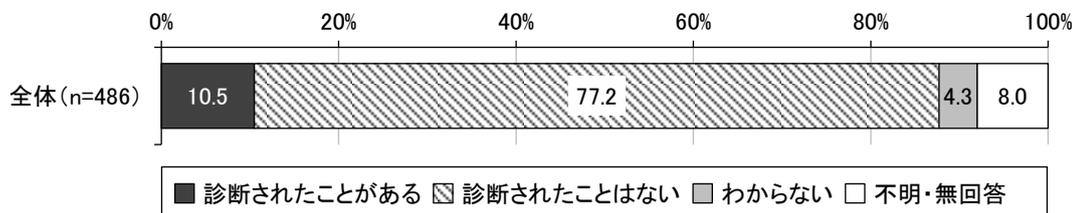
問9 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。お持ちの場合、手帳の程度を教えてください。(〇は1つ)

全体では、「持っていない」が73.0%と最も高く、次いで「3級」が7.6%、「2級」が6.2%となっています。



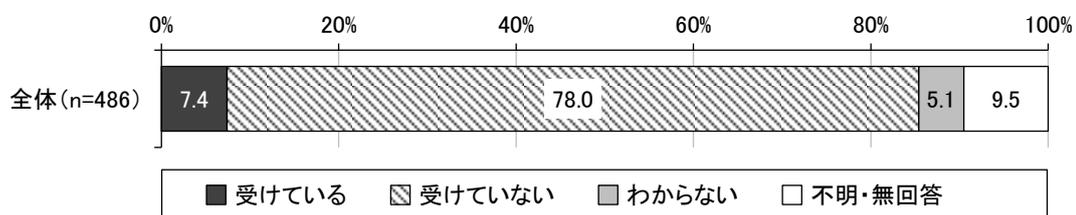
問10 あなたは発達障害として診断されたことがありますか。(〇は1つ)

全体では、「診断されたことはない」が77.2%と最も高く、次いで「診断されたことがある」が10.5%、「わからない」が4.3%となっています。



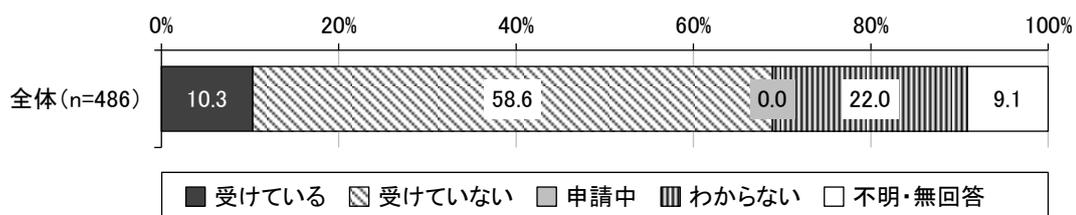
問11 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。（〇は1つ）

全体では、「受けていない」が78.0%と最も高く、次いで「受けている」が7.4%、「わからない」が5.1%となっています。



問12 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。（〇は1つ）

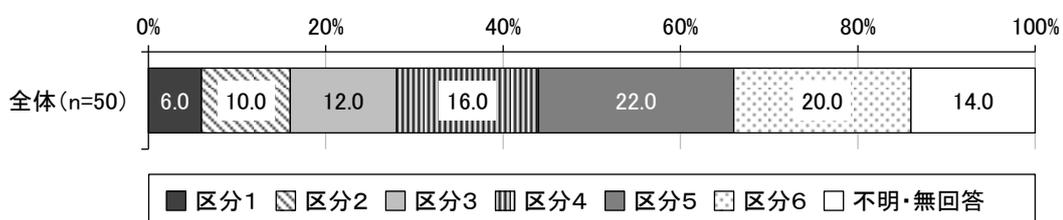
全体では、「受けていない」が58.6%と最も高く、次いで「わからない」が22.0%、「受けている」が10.3%となっています。



問12で「受けている」を選んだ方

問13 あなたの障害支援区分を教えてください。（〇は1つ）

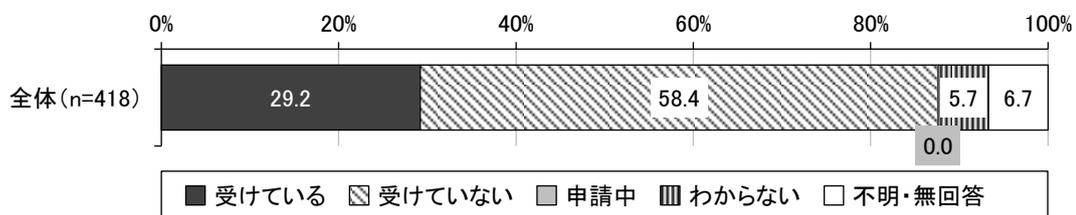
全体では、「区分5」が22.0%と最も高く、次いで「区分6」が20.0%、「区分4」が16.0%となっています。



問 12 で「受けていない」「申請中」「わからない」を選んだ方

問 14 あなたは介護保険制度の要支援・要介護認定を受けていますか。(○は1つ)

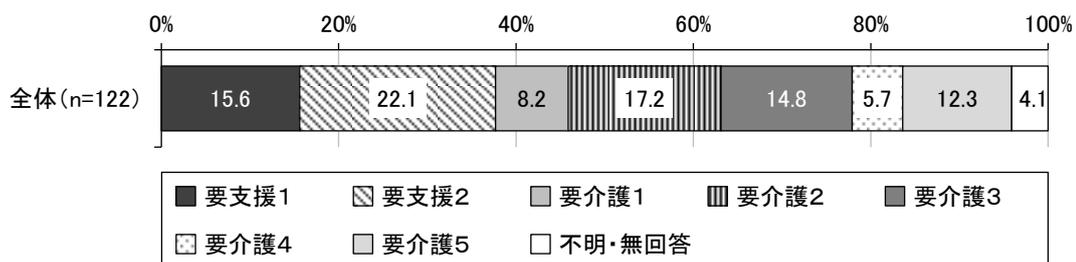
全体では、「受けていない」が58.4%と最も高く、次いで「受けている」が29.2%、「わからない」が5.7%となっています。



問 14 で「受けている」を選んだ方

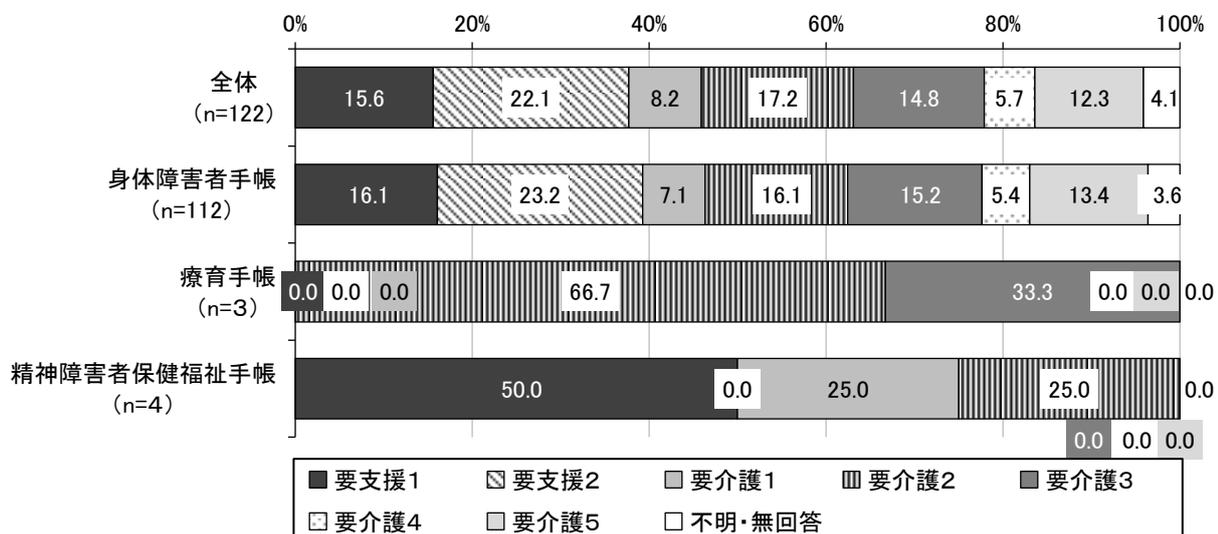
問 15 あなたの要支援・要介護度を教えてください。(○は1つ)

全体では、「要支援2」が22.1%と最も高く、次いで「要介護2」が17.2%、「要支援1」が15.6%となっています。



【問 15】の手帳種別による集計結果】

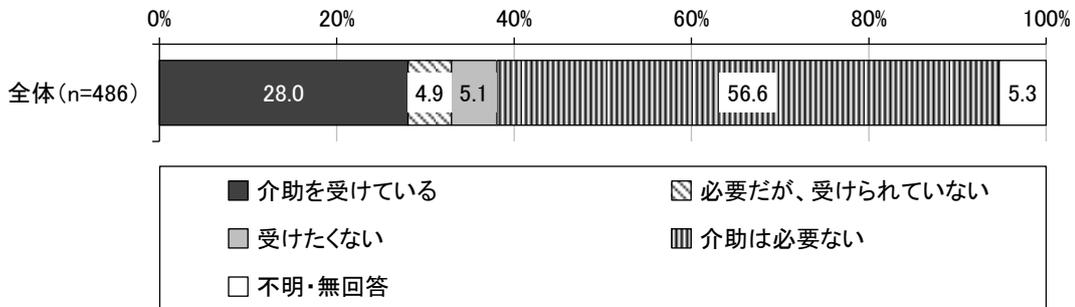
手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者では「要支援2」が23.2%と最も高く、次いで「要支援1」「要介護2」が16.1%となっています。



### (3) 介助の状況について

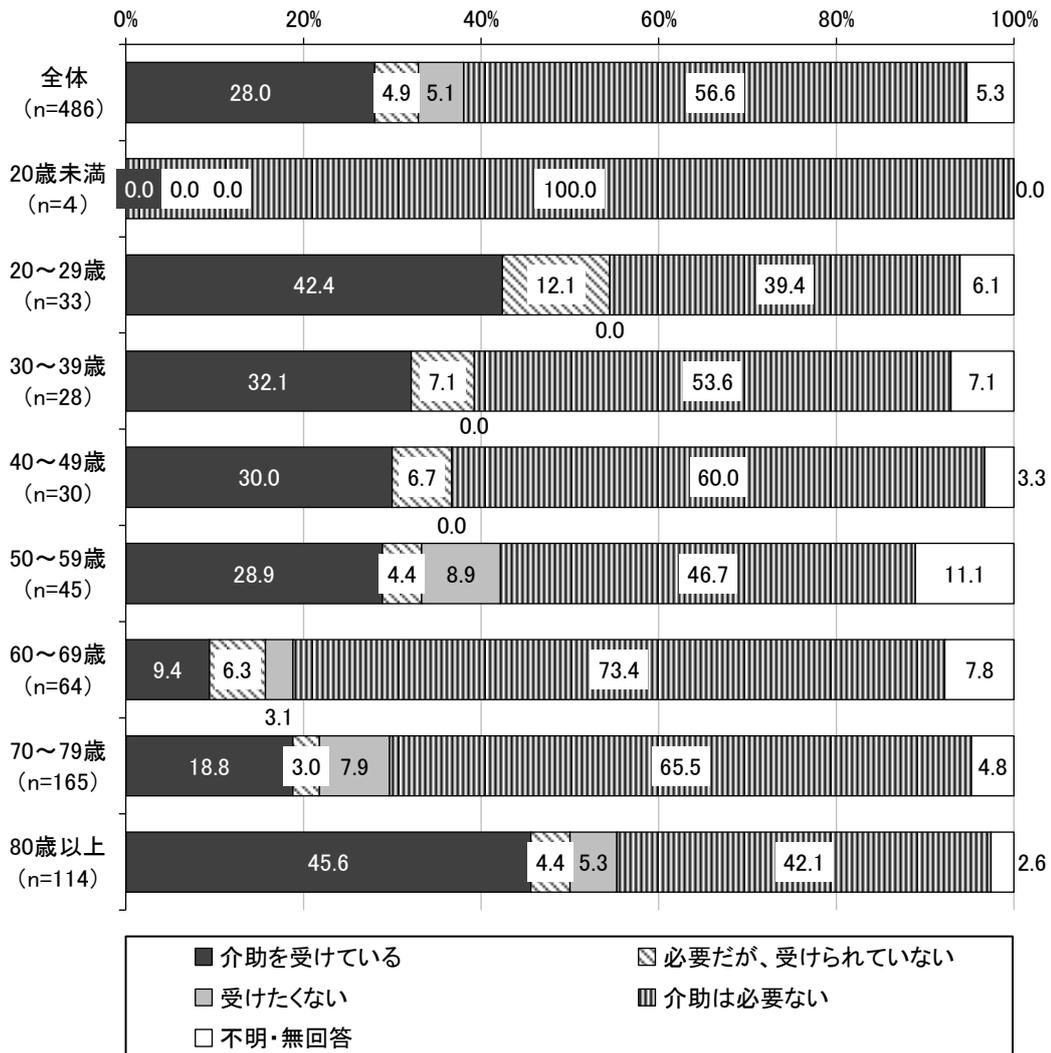
問 16 あなたは、日常生活を送る上で、介助を受けていますか。(〇は1つ)

全体では、「介助は必要ない」が56.6%と最も高く、次いで「介助を受けている」が28.0%、「受けたくない」が5.1%となっています。



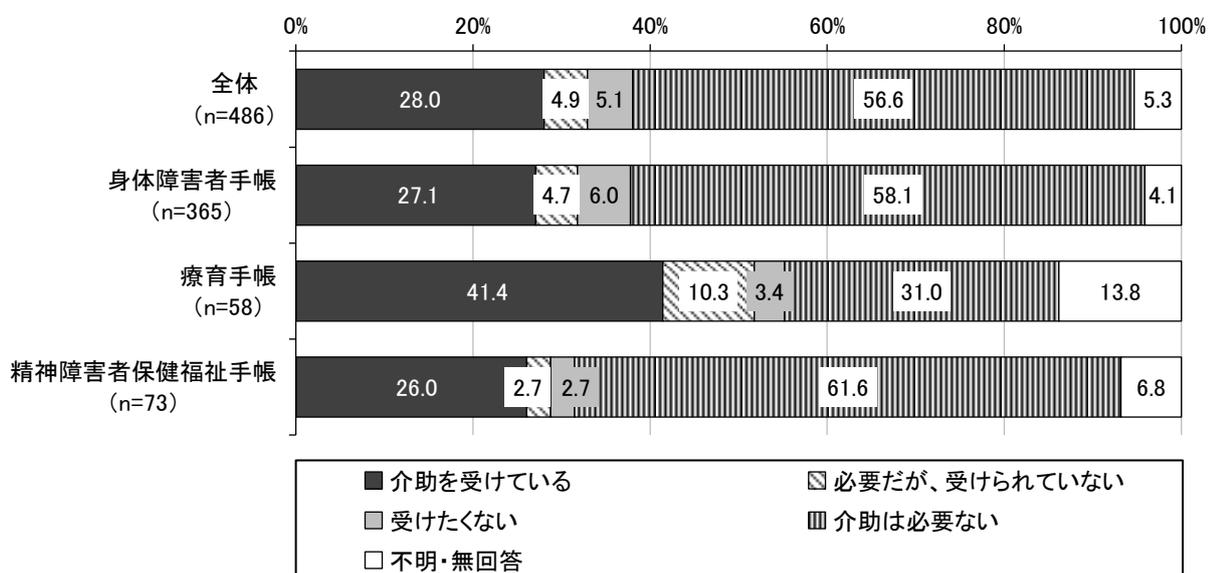
#### 【問 16 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、20～29歳では「必要だが、受けられていない」が12.1%となっており、全体と比較して高くなっています。60～69歳では「介護を受けている」が9.4%と全体より低く、「介護は必要ない」が73.4%と全体より高くなっています。



### 【問 16 の手帳種別による集計結果】

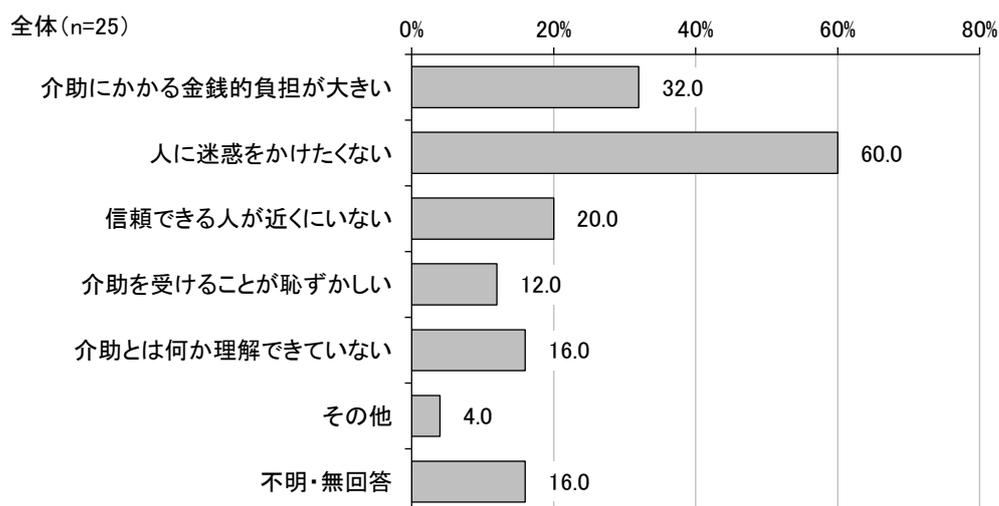
手帳種別にみると、療育手帳所持者では「介助を受けている」「必要だが、受けられていない」がそれぞれ 41.4%、10.3%と他の手帳所持者と比較して高くなっています。



### 問 16 で「受けたくない」を選んだ方

問 17 介助を受けたくない理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

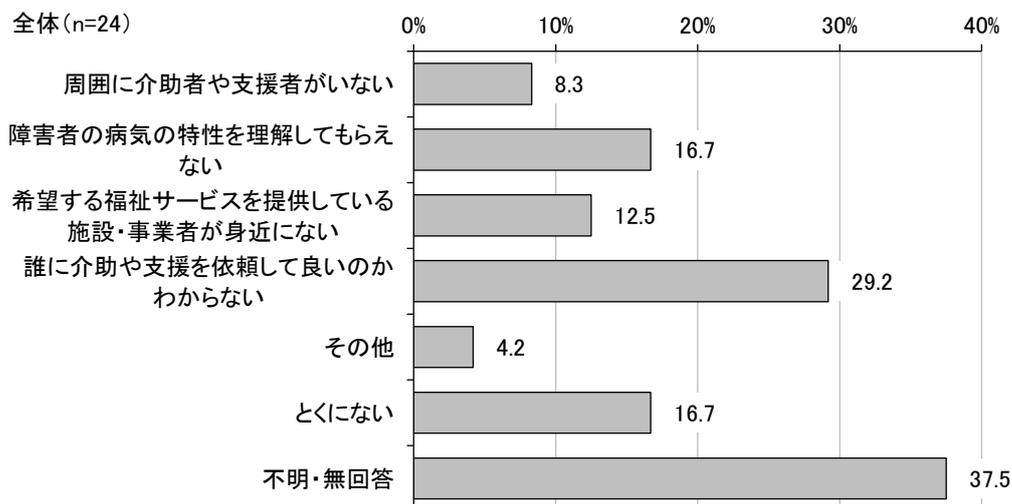
全体では、「人に迷惑をかけたくない」が 60.0%と最も高く、次いで「介助にかかる金銭的負担が大きい」が 32.0%、「信頼できる人が近くにいない」が 20.0%となっています。



問 16 で「必要だが、受けられていない」を選んだ方

問 18 介助を受けられていない理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

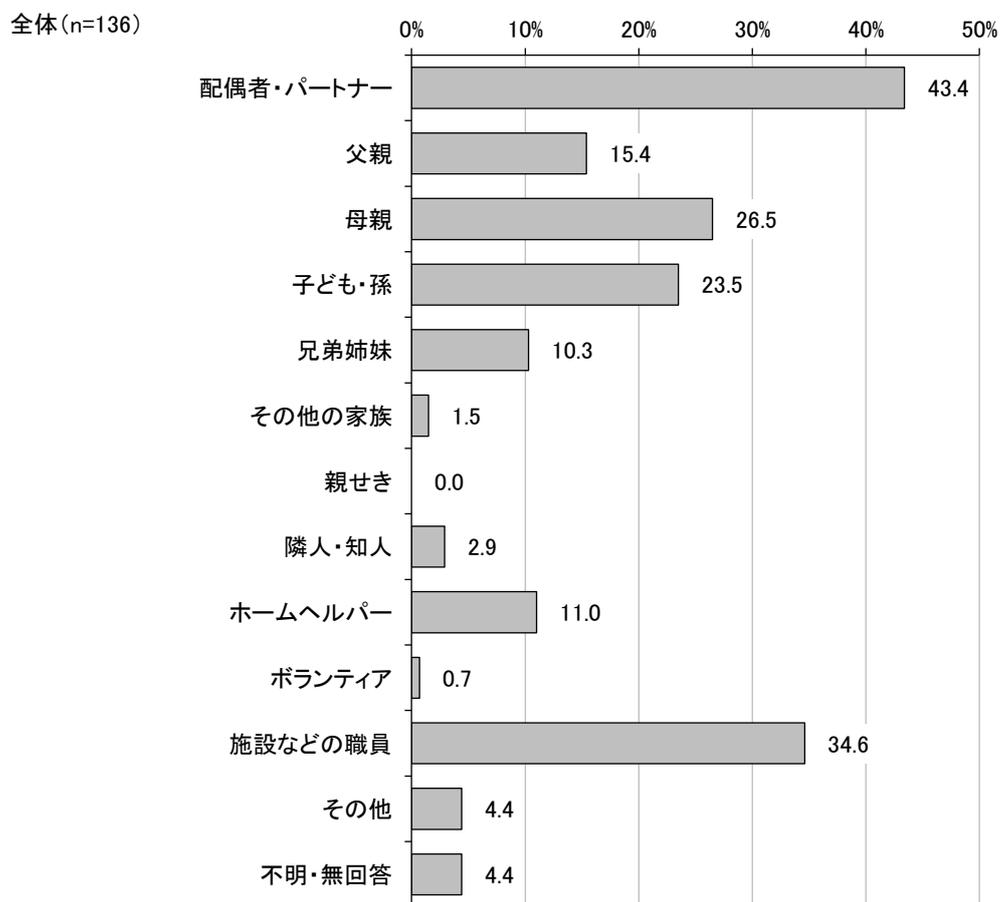
全体では、「誰に介助や支援を依頼して良いのかわからない」が 29.2%と最も高く、次いで「障害者の病気の特徴を理解してもらえない」「とくにない」が 16.7%、「希望する福祉サービスを提供している施設・事業者が身近にない」が 12.5%となっています。



問 16 で「介助を受けている」を選んだ方

問 19 あなたを主に介助している方は次のうち、どの方ですか。介助など支援の多い方をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「配偶者・パートナー」が 43.4%と最も高く、次いで「施設などの職員」が 34.6%、「母親」が 26.5%となっています。



【問 19 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18歳-64歳では「母親」が68.8%と最も高く、次いで「施設などの職員」が43.8%となっています。65歳以上では、「配偶者・パートナー」が55.8%と最も高く、次いで、「子ども・孫」が32.6%となっています。

	件数	配偶者・ パートナー	父親	母親	子ども・孫	兄弟姉妹	その他の 家族	親せき
	割合(%)							
全体	136	59	21	36	32	14	2	0
	100.0	43.4	15.4	26.5	23.5	10.3	1.5	0.0
18-64歳	48	11	19	33	4	12	1	0
	100.0	22.9	39.6	68.8	8.3	25.0	2.1	0.0
65歳以上	86	48	1	1	28	2	1	0
	100.0	55.8	1.2	1.2	32.6	2.3	1.2	0.0
	隣人・知人	ホームヘル パー	ボランティ ア	施設などの 職員	その他	不明・無回 答		
全体	4	15	1	47	6	6		
	2.9	11.0	0.7	34.6	4.4	4.4		
18-64歳	2	4	1	21	3	1		
	4.2	8.3	2.1	43.8	6.3	2.1		
65歳以上	2	11	0	25	3	5		
	2.3	12.8	0.0	29.1	3.5	5.8		

### 【問 19 の手帳種別による集計結果】

手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者では「配偶者・パートナー」が50.5%と最も高く、次いで「施設などの職員」が31.3%となっています。療育手帳所持者では「母親」「施設などの職員」が79.2%と最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳所持者では「母親」が63.2%と最も高く、次いで「配偶者・パートナー」「父親」が36.8%となっています。

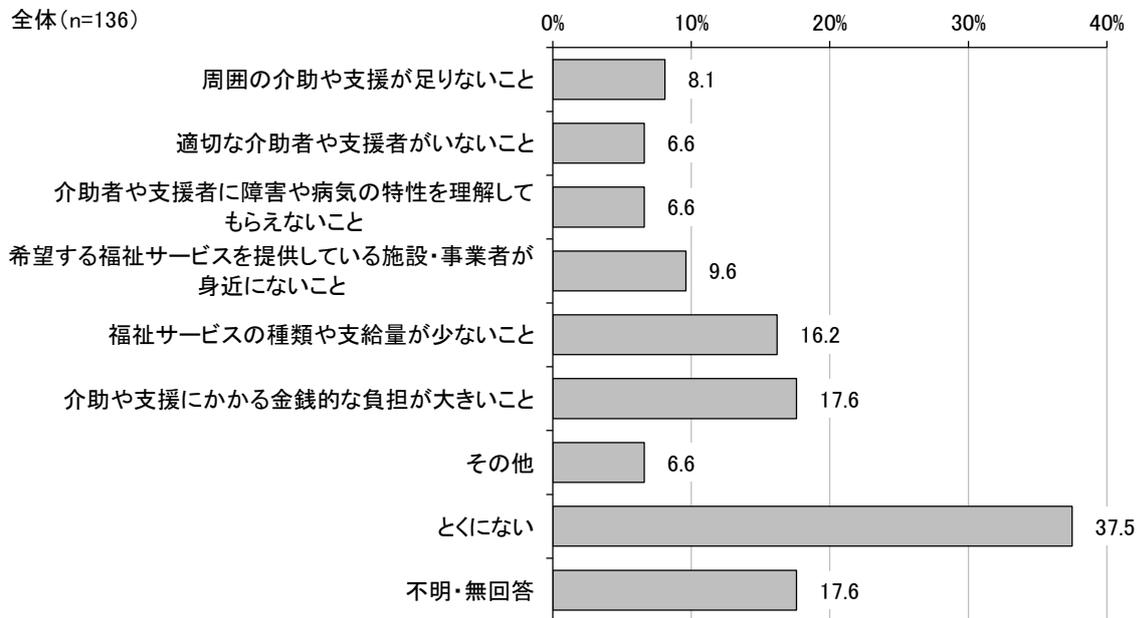
	件数	配偶者・ パートナー	父親	母親	子ども・孫	兄弟姉妹	その他の 家族	親せき
	割合(%)							
全体	136	59	21	36	32	14	2	0
	100.0	43.4	15.4	26.5	23.5	10.3	1.5	0.0
身体障害者手帳	99	50	6	12	30	7	2	0
	100.0	50.5	6.1	12.1	30.3	7.1	2.0	0.0
療育手帳	24	0	12	19	1	7	0	0
	100.0	0.0	50.0	79.2	4.2	29.2	0.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳	19	7	7	12	1	3	0	0
	100.0	36.8	36.8	63.2	5.3	15.8	0.0	0.0
	隣人・知人	ホームヘルパー	ボランティア	施設などの職員	その他	不明・無回答		
全体	4	15	1	47	6	6		
	2.9	11.0	0.7	34.6	4.4	4.4		
身体障害者手帳	3	12	1	31	4	6		
	3.0	12.1	1.0	31.3	4.0	6.1		
療育手帳	0	3	0	19	1	0		
	0.0	12.5	0.0	79.2	4.2	0.0		
精神障害者保健福祉手帳	1	1	0	3	2	0		
	5.3	5.3	0.0	15.8	10.5	0.0		

問 16 で「介助を受けている」を選んだ方

問 20 介助を受けているなかで、あなたが困っていることについて教えてください。

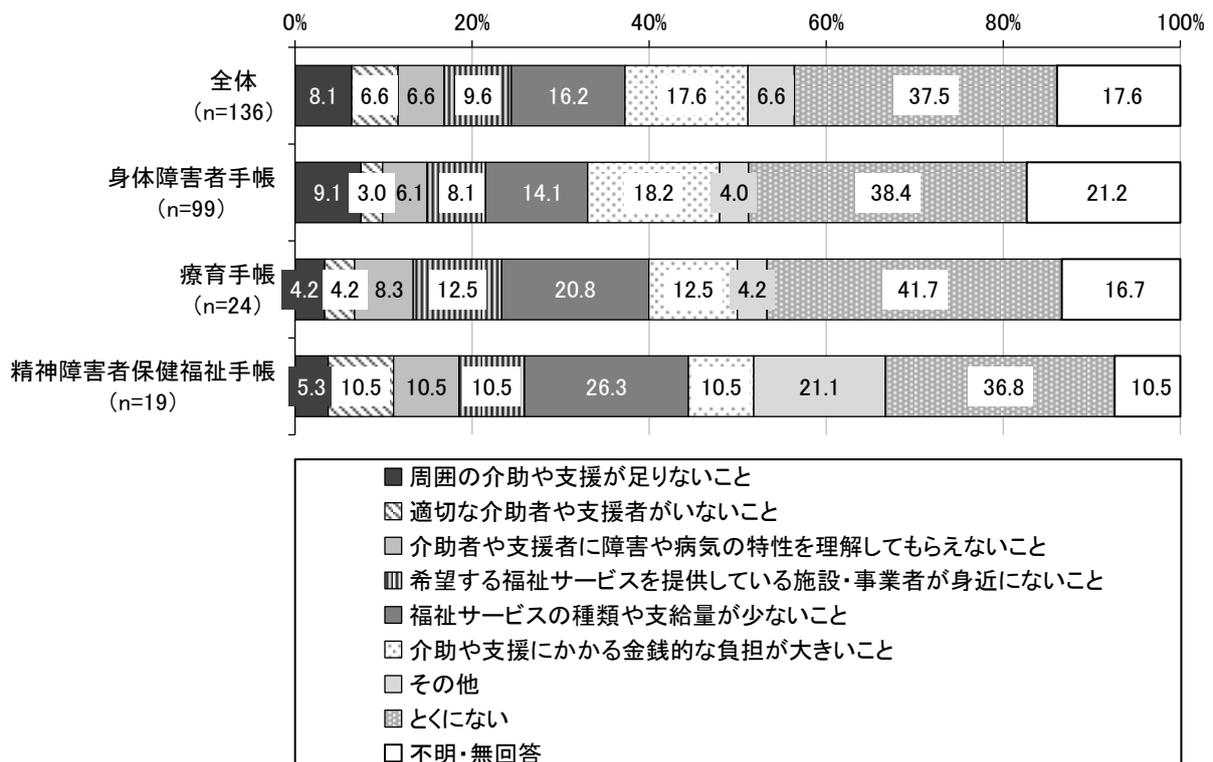
(あてはまるものすべてに○)

全体では、「とくにない」が 37.5%と最も高く、次いで「介助や支援にかかる金銭的な負担が大きいこと」が 17.6%、「福祉サービスの種類や支給量が少ないこと」が 16.2%となっています。



【問 20 の手帳種別による集計結果】

手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者では「介護や支援に係る金銭的な負担が大きいこと」が 18.2%と最も高くなっています。療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「福祉サービスの種類や支給量が少ないこと」が 20.8%、26.3%とそれぞれ最も高くなっています。

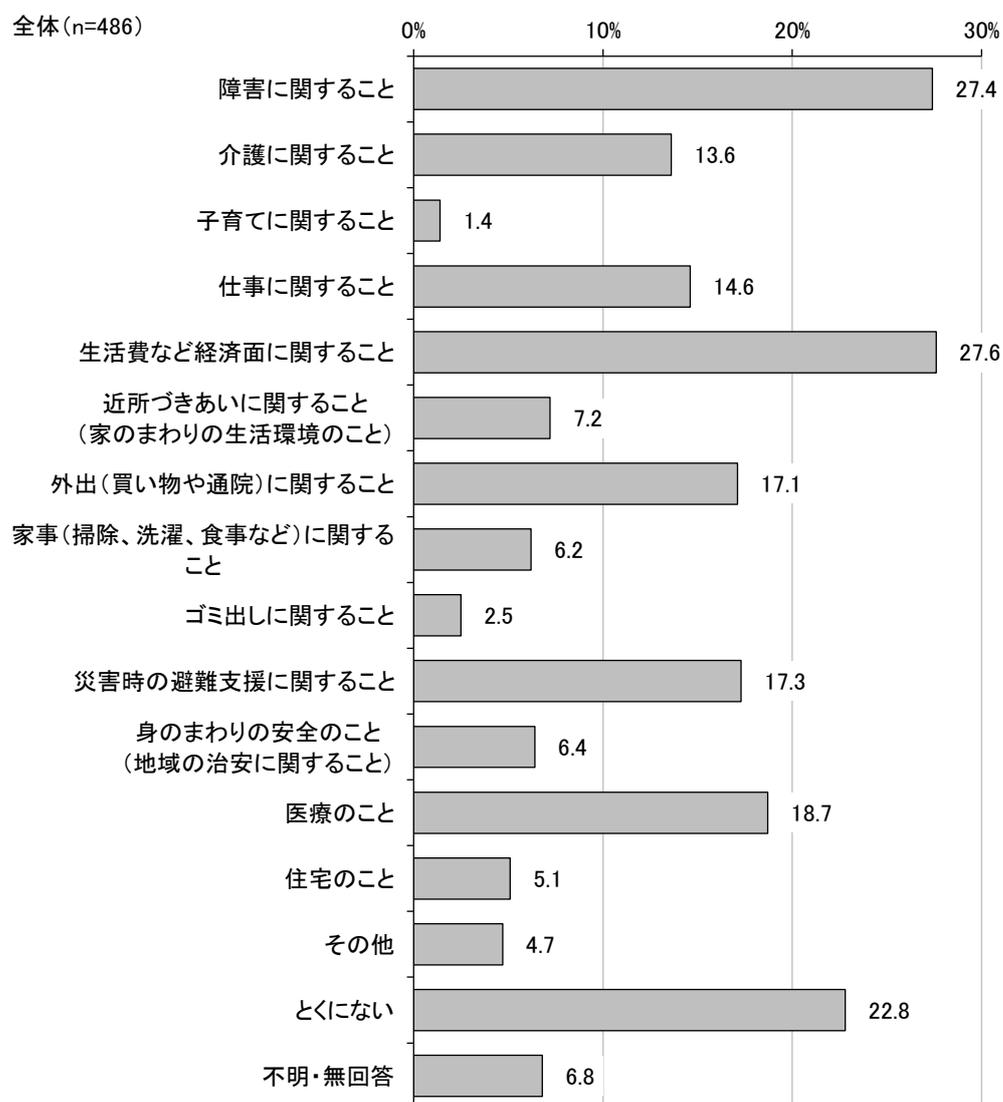


## (4) 悩み・相談・情報入手の方法について

問 21 あなたが、現在、とくに不安に感じていることについて教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

全体では、「生活費など経済面に関すること」が 27.6%と最も高く、次いで「障害に関すること」が 27.4%、「とくにない」が 22.8%となっています。



### 【問 21 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18-64歳では「生活費など経済面に関すること」が38.6%と最も高く、次いで「障害に関すること」が35.5%となっています。65歳以上では「とくにない」が25.2%と最も高く、次いで「障害に関すること」が23.0%となっています。

	件数	障害に関すること	介護に関すること	子育てに関すること	仕事に関すること	生活費など経済面に関すること	近所づきあいに関すること(家のまわりの生活環境のこと)	外出(買い物や通院)に関すること
	割合(%)							
全体	486	133	66	7	71	134	35	83
	100.0	27.4	13.6	1.4	14.6	27.6	7.2	17.1
18-64歳	166	59	18	4	51	64	21	25
	100.0	35.5	10.8	2.4	30.7	38.6	12.7	15.1
65歳以上	317	73	48	3	18	68	14	58
	100.0	23.0	15.1	0.9	5.7	21.5	4.4	18.3
	家事(掃除、洗濯、食事など)に関すること	ゴミ出しに関すること	災害時の避難支援に関すること	身のまわりの安全のこと(地域の治安に関すること)	医療のこと	住宅のこと	その他	とくにない
全体	30	12	84	31	91	25	23	111
	6.2	2.5	17.3	6.4	18.7	5.1	4.7	22.8
18-64歳	16	5	17	7	24	10	10	31
	9.6	3.0	10.2	4.2	14.5	6.0	6.0	18.7
65歳以上	14	7	67	24	66	14	13	80
	4.4	2.2	21.1	7.6	20.8	4.4	4.1	25.2
	不明・無回答							
全体	33							
	6.8							
18-64歳	4							
	2.4							
65歳以上	28							
	8.8							

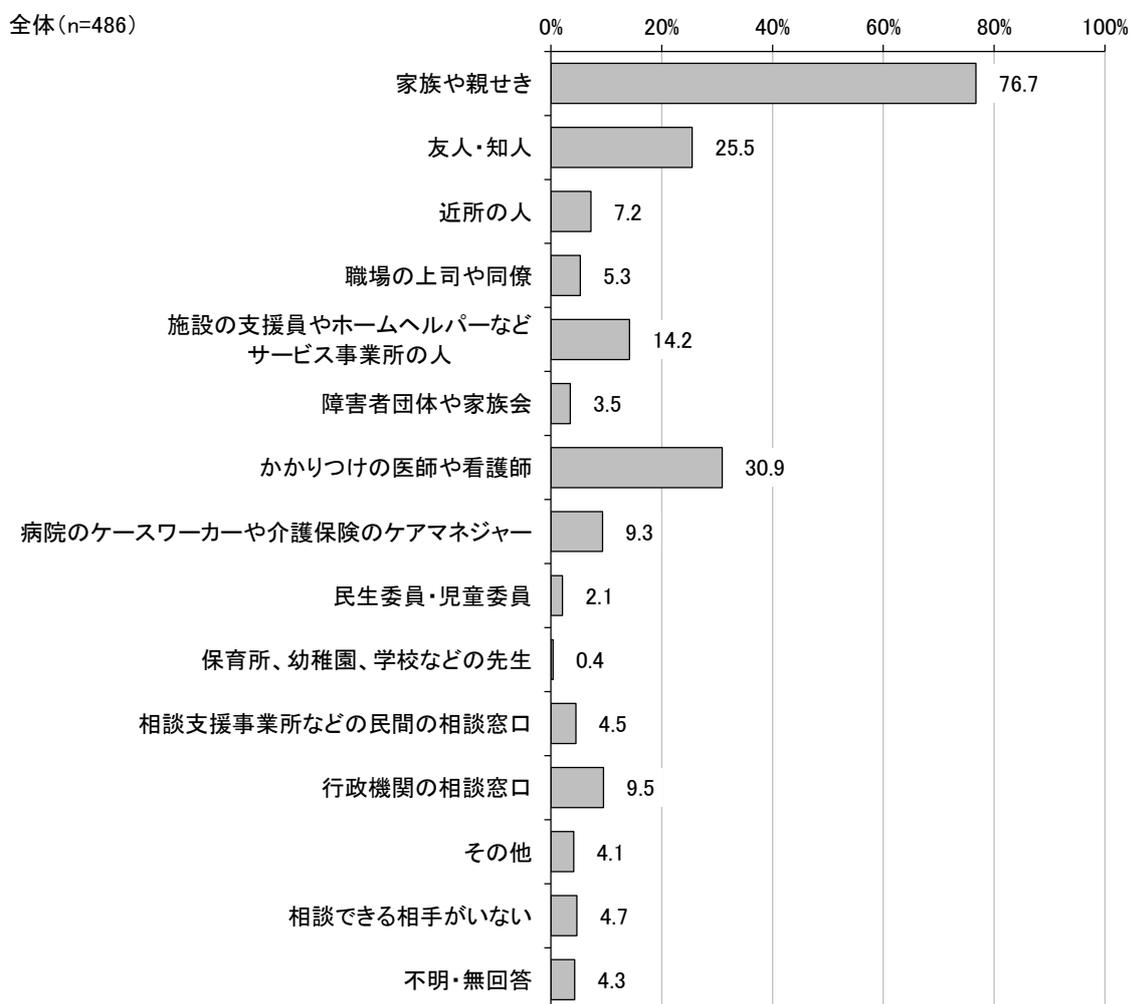
### 【問 21 の手帳種別による集計結果】

手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者では「障害に関すること」が 25.8%、療育手帳所持者では「とくにない」が 31.0%、精神障害者保健福祉手帳所持者では「生活費など経済面に関すること」が 56.2%とそれぞれ最も高くなっています。

	件数	障害に関すること	介護に関すること	子育てに関すること	仕事に関すること	生活費など経済面に関すること	近所づきあいに関する こと(家のまわりの生活環境のこと)	外出(買い物や通院)に関する こと
	割合(%)							
全体	486	133	66	7	71	134	35	83
	100.0	27.4	13.6	1.4	14.6	27.6	7.2	17.1
身体障害者手帳	365	94	58	3	30	85	15	69
	100.0	25.8	15.9	0.8	8.2	23.3	4.1	18.9
療育手帳	58	9	5	0	9	13	6	9
	100.0	15.5	8.6	0.0	15.5	22.4	10.3	15.5
精神障害者保健福祉手帳	73	35	5	4	34	41	13	7
	100.0	47.9	6.8	5.5	46.6	56.2	17.8	9.6
	家事(掃除、洗濯、食事など)に関する こと	ゴミ出しに 関すること	災害時の 避難支援 に関する こと	身のまわりの安全の こと(地域の治安に関する こと)	医療のこと	住宅のこと	その他	とくにない
全体	30	12	84	31	91	25	23	111
	6.2	2.5	17.3	6.4	18.7	5.1	4.7	22.8
身体障害者手帳	18	9	73	24	69	18	16	90
	4.9	2.5	20.0	6.6	18.9	4.9	4.4	24.7
療育手帳	6	3	10	5	11	4	5	18
	10.3	5.2	17.2	8.6	19.0	6.9	8.6	31.0
精神障害者保健福祉手帳	6	1	3	1	13	4	3	6
	8.2	1.4	4.1	1.4	17.8	5.5	4.1	8.2
	不明・無回答							
全体	33							
	6.8							
身体障害者手帳	26							
	7.1							
療育手帳	4							
	6.9							
精神障害者保健福祉手帳	2							
	2.7							

問 22 あなたは、悩みや困りごとを誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「家族や親せき」が 76.7%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が 30.9%、「友人・知人」が 25.5%となっています。



## 【問 22 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18-64歳では「家族や親せき」が74.7%と最も高く、次いで「友人・知人」が24.1%となっています。65歳以上では「家族や親せき」が77.6%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が34.7%となっています。

	件数	家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上 司や同僚	施設の支 援員や ホームヘル パーなど サービス事 業所の人	障害者団 体や家族 会	かかりつけ の医師や 看護師
	割合(%)							
全体	486	373	124	35	26	69	17	150
	100.0	76.7	25.5	7.2	5.3	14.2	3.5	30.9
18-64歳	166	124	40	8	20	28	11	39
	100.0	74.7	24.1	4.8	12.0	16.9	6.6	23.5
65歳以上	317	246	82	27	6	40	5	110
	100.0	77.6	25.9	8.5	1.9	12.6	1.6	34.7
	病院の ケースワ ーカーや介護 保険のケア マネジャー	民生委員・ 児童委員	保育所、幼 稚園、学校 などの先生	相談支援 事業所など の民間の 相談窓口	行政機関 の相談窓 口	その他	相談できる 相手がい ない	不明・無回 答
全体	45	10	2	22	46	20	23	21
	9.3	2.1	0.4	4.5	9.5	4.1	4.7	4.3
18-64歳	7	1	2	18	10	11	13	5
	4.2	0.6	1.2	10.8	6.0	6.6	7.8	3.0
65歳以上	38	9	0	4	36	9	10	16
	12.0	2.8	0.0	1.3	11.4	2.8	3.2	5.0

## 【問 22 の手帳種別による集計結果】

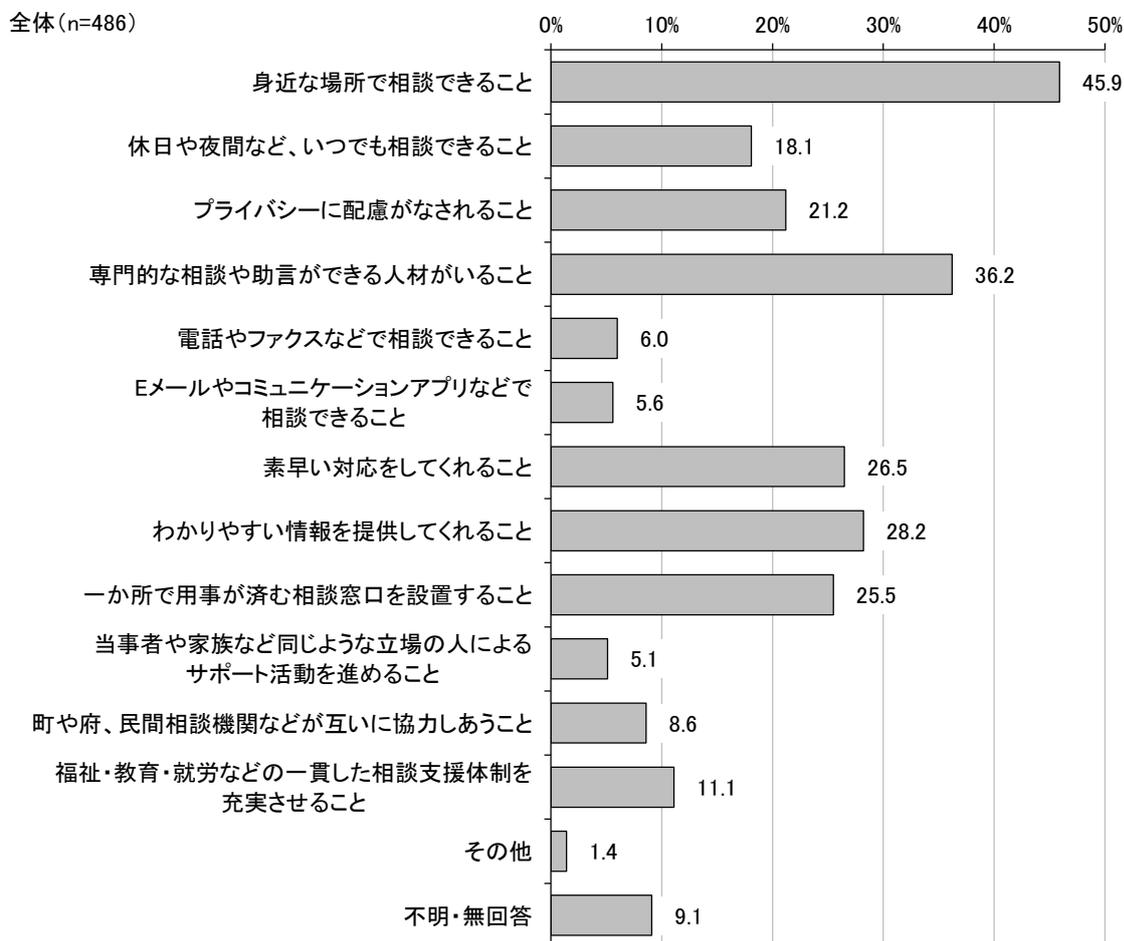
手帳種別にみると、いずれの手帳所持者も「家族や親せき」が最も高く、次いで療育手帳所持者では「施設の支援員やホームヘルパーなどサービス事業所の人」が、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者では「かかりつけの医師や看護師」が高くなっています。

	件数	家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上 司や同僚	施設の支 援員やホー ムヘルパー などサービ ス事業所 の人	障害者団 体や家族 会	かかりつけ の医師や 看護師
	割合(%)							
全体	486	373	124	35	26	69	17	150
	100.0	76.7	25.5	7.2	5.3	14.2	3.5	30.9
身体障害者手帳	365	283	92	31	13	41	9	117
	100.0	77.5	25.2	8.5	3.6	11.2	2.5	32.1
療育手帳	58	35	9	1	7	15	4	11
	100.0	60.3	15.5	1.7	12.1	25.9	6.9	19.0
精神障害者保健福祉手帳	73	52	22	3	8	12	3	27
	100.0	71.2	30.1	4.1	11.0	16.4	4.1	37.0
	病院のケー スワーカー や介護保 険のケアマ ネジャー	民生委員・ 児童委員	保育所、幼 稚園、学校 などの先生	相談支援 事業所など の民間の 相談窓口	行政機関 の相談窓 口	その他	相談できる 相手がいな い	不明・無回 答
全体	45	10	2	22	46	20	23	21
	9.3	2.1	0.4	4.5	9.5	4.1	4.7	4.3
身体障害者手帳	39	10	0	8	36	11	16	14
	10.7	2.7	0.0	2.2	9.9	3.0	4.4	3.8
療育手帳	2	1	2	6	2	5	2	4
	3.4	1.7	3.4	10.3	3.4	8.6	3.4	6.9
精神障害者保健福祉手帳	3	0	0	9	6	5	4	3
	4.1	0.0	0.0	12.3	8.2	6.8	5.5	4.1

問 23 障害のある方への相談支援を充実させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(〇は3つまで)

全体では、「身近な場所で相談できること」が 45.9%と最も高く、次いで「専門的な相談や助言ができる人材がいること」が 36.2%、「わかりやすい情報を提供してくれること」が 28.2%となっています。



### 【問 23 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18-64 歳、65 歳以上では「身近な場所で相談できること」がそれぞれ 48.2%、44.2%と最も高く、次いで「専門的な相談や助言ができる人材がいること」がそれぞれ 40.4%、34.4%となっています。

	件数	身近な場 所で相談で できること	休日や夜 間など、い つでも相談 できること	プライバ シーに配慮 がなされる こと	専門的な 相談や助 言ができる 人材がいる こと	電話やファ クスなどで 相談できる こと	Eメールや コミュニ ケーション アプリなど で相談でき ること	素早い対 応をしてく れること
	割合 (%)							
全体	486	223	88	103	176	29	27	129
	100.0	45.9	18.1	21.2	36.2	6.0	5.6	26.5
18-64歳	166	80	42	41	67	10	10	46
	100.0	48.2	25.3	24.7	40.4	6.0	6.0	27.7
65歳以上	317	140	45	61	109	19	16	82
	100.0	44.2	14.2	19.2	34.4	6.0	5.0	25.9
	わかりやす い情報を提 供してくれ ること	一か所で 用事が済 む相談窓 口を設置す ること	当事者や 家族など同 じような立 場の人によ るサポート 活動を進め ること	町や府、民 間相談機 関などが互 いに協力し あうこと	福祉・教 育・就労な どの一貫し た相談支援 体制を充実 させること	その他	不明・無回 答	
全体	137	124	25	42	54	7	44	
	28.2	25.5	5.1	8.6	11.1	1.4	9.1	
18-64歳	49	34	9	13	22	3	7	
	29.5	20.5	5.4	7.8	13.3	1.8	4.2	
65歳以上	88	90	16	28	31	4	37	
	27.8	28.4	5.0	8.8	9.8	1.3	11.7	

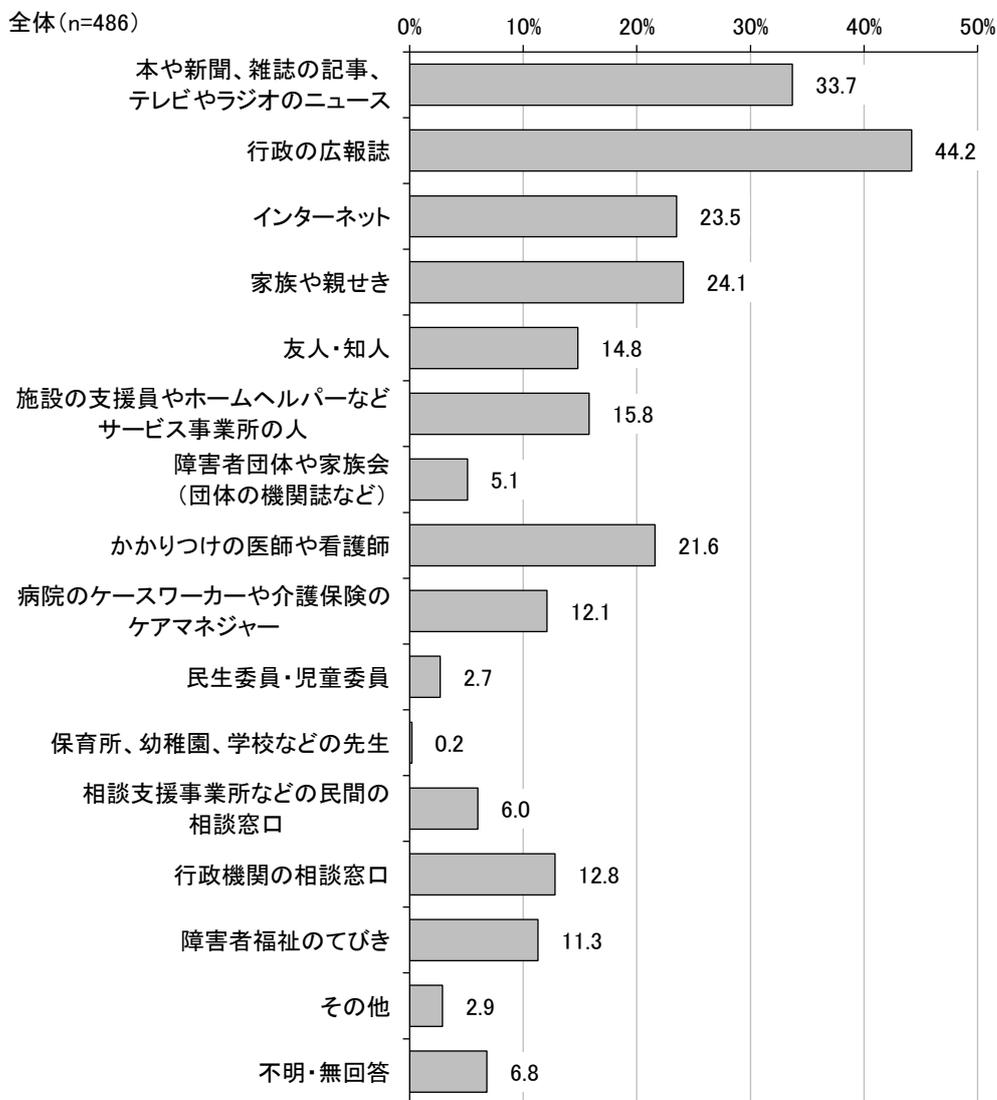
### 【問 23 の手帳種別による集計結果】

手帳種別でみると、いずれの手帳所持者も「身近な場所で相談できること」が最も高くなっています。身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では次いで「専門的な相談や助言ができる人材がいること」となっており、療育手帳所持者では次いで「素早い対応をしてくれること」となっています。

	件数	身近な場 所で相談で きること	休日や夜 間など、い つでも相談 できること	プライバ シーに配慮 がなされる こと	専門的な 相談や助 言ができる 人材がいる こと	電話やファ クスなどで 相談でき ること	Eメールや コミュニ ケーション アプリなど で相談でき ること	素早い対 応をしてく れること
	割合(%)							
全体	486	223	88	103	176	29	27	129
	100.0	45.9	18.1	21.2	36.2	6.0	5.6	26.5
身体障害者手帳	365	163	57	68	130	25	19	96
	100.0	44.7	15.6	18.6	35.6	6.8	5.2	26.3
療育手帳	58	30	14	14	21	3	2	22
	100.0	51.7	24.1	24.1	36.2	5.2	3.4	37.9
精神障害者保健福祉手帳	73	37	16	23	28	3	7	19
	100.0	50.7	21.9	31.5	38.4	4.1	9.6	26.0
	わかりやす い情報を提 供してくれ ること	一か所で 用事が済 む相談窓 口を設置す ること	当事者や 家族など同 じような立 場の人によ るサポート 活動を進め ること	町や府、民 間相談機 関などが互 いに協力し あうこと	福祉・教 育・就労な どの一貫し た相談支 援体制を充 実させるこ と	その他	不明・無回 答	
全体	137	124	25	42	54	7	44	
	28.2	25.5	5.1	8.6	11.1	1.4	9.1	
身体障害者手帳	104	104	16	30	35	5	35	
	28.5	28.5	4.4	8.2	9.6	1.4	9.6	
療育手帳	21	14	6	10	8	0	3	
	36.2	24.1	10.3	17.2	13.8	0.0	5.2	
精神障害者保健福祉手帳	19	11	4	4	12	2	4	
	26.0	15.1	5.5	5.5	16.4	2.7	5.5	

問 24 あなたは、障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「行政の広報誌」が 44.2%と最も高く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が 33.7%、「家族や親せき」が 24.1%となっています。



### 【問 24 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18-64歳では「インターネット」が34.9%と最も高く、次いで「行政の広報誌」「家族や親せき」が30.7%となっています。65歳以上では「行政の広報誌」が51.1%と最も高く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が37.9%となっています。

	件数	本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	行政の広報誌	インターネット	家族や親せき	友人・知人	施設の支援員やホームヘルパーなどサービス事業所の人	障害者団体や家族会(団体の機関誌など)
	割合(%)							
全体	486	164	215	114	117	72	77	25
	100.0	33.7	44.2	23.5	24.1	14.8	15.8	5.1
18-64歳	166	43	51	58	51	18	33	14
	100.0	25.9	30.7	34.9	30.7	10.8	19.9	8.4
65歳以上	317	120	162	55	65	53	43	11
	100.0	37.9	51.1	17.4	20.5	16.7	13.6	3.5
	かかりつけの医師や看護師	病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	民生委員・児童委員	保育所、幼稚園、学校などの先生	相談支援事業所などの民間の相談窓口	行政機関の相談窓口	障害者福祉のてびき	その他
全体	105	59	13	1	29	62	55	14
	21.6	12.1	2.7	0.2	6.0	12.8	11.3	2.9
18-64歳	32	7	1	1	22	26	23	10
	19.3	4.2	0.6	0.6	13.3	15.7	13.9	6.0
65歳以上	73	52	12	0	7	36	32	4
	23.0	16.4	3.8	0.0	2.2	11.4	10.1	1.3
	不明・無回答							
全体	33							
	6.8							
18-64歳	9							
	5.4							
65歳以上	24							
	7.6							

【問 24 の手帳種別による集計結果】

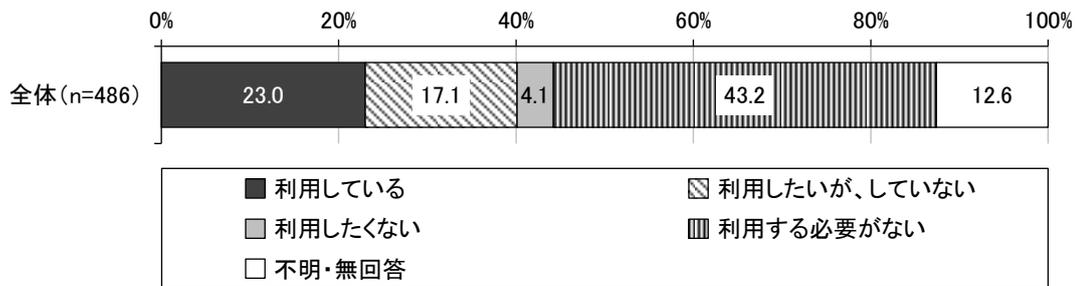
手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者では「行政の広報誌」が 48.8%、療育手帳所持者では「家族や親せき」が 31.0%、精神障害者保健福祉手帳所持者では「インターネット」が 37.0%とそれぞれ最も高くなっています。

	件数	本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	行政の広報誌	インターネット	家族や親せき	友人・知人	施設の支援員やホームヘルパーなどサービス事業所の人	障害者団体や家族会(団体の機関誌など)
	割合(%)							
全体	486	164	215	114	117	72	77	25
	100.0	33.7	44.2	23.5	24.1	14.8	15.8	5.1
身体障害者手帳	365	137	178	76	78	57	50	16
	100.0	37.5	48.8	20.8	21.4	15.6	13.7	4.4
療育手帳	58	10	15	9	18	4	17	5
	100.0	17.2	25.9	15.5	31.0	6.9	29.3	8.6
精神障害者保健福祉手帳	73	16	23	27	20	10	11	5
	100.0	21.9	31.5	37.0	27.4	13.7	15.1	6.8
	かかりつけの医師や看護師	病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	民生委員・児童委員	保育所、幼稚園、学校などの先生	相談支援事業所などの民間の相談窓口	行政機関の相談窓口	障害者福祉のてびき	その他
全体	105	59	13	1	29	62	55	14
	21.6	12.1	2.7	0.2	6.0	12.8	11.3	2.9
身体障害者手帳	81	52	11	0	12	38	39	8
	22.2	14.2	3.0	0.0	3.3	10.4	10.7	2.2
療育手帳	5	3	0	0	10	10	4	4
	8.6	5.2	0.0	0.0	17.2	17.2	6.9	6.9
精神障害者保健福祉手帳	24	7	1	0	9	13	12	2
	32.9	9.6	1.4	0.0	12.3	17.8	16.4	2.7
	不明・無回答							
全体	33							
	6.8							
身体障害者手帳	26							
	7.1							
療育手帳	4							
	6.9							
精神障害者保健福祉手帳	3							
	4.1							

## (5) 障害福祉サービスなどについて

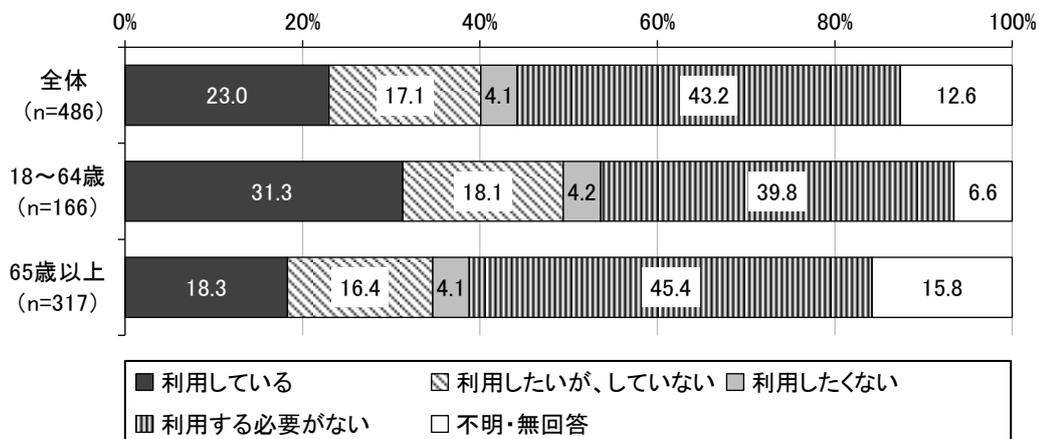
問 25 あなたは、現在、障害者総合支援法に定められた障害福祉サービスを利用していますか。  
(○は1つ)

全体では、「利用する必要がない」が43.2%と最も高く、次いで「利用している」が23.0%、「利用したいが、していない」が17.1%となっています。



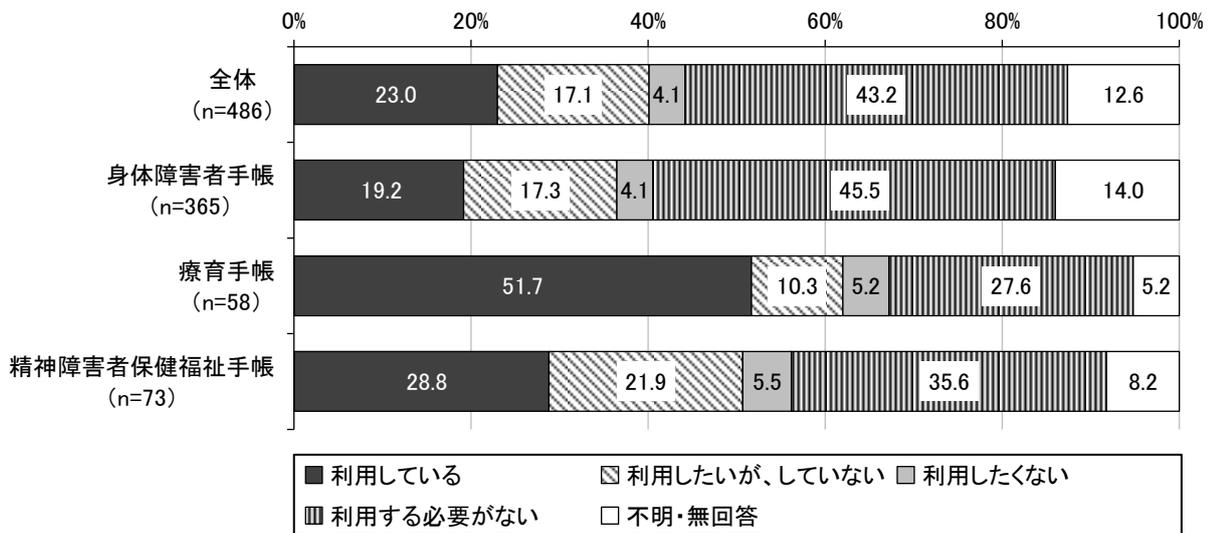
### 【問 25 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18-64歳では「利用する必要がない」が39.8%と最も高く、次いで「利用している」が31.3%となっています。65歳以上では、「利用する必要がない」が45.5%と最も高く、次いで「利用している」が18.3%となっています。



**【問 25 の手帳種別による集計結果】**

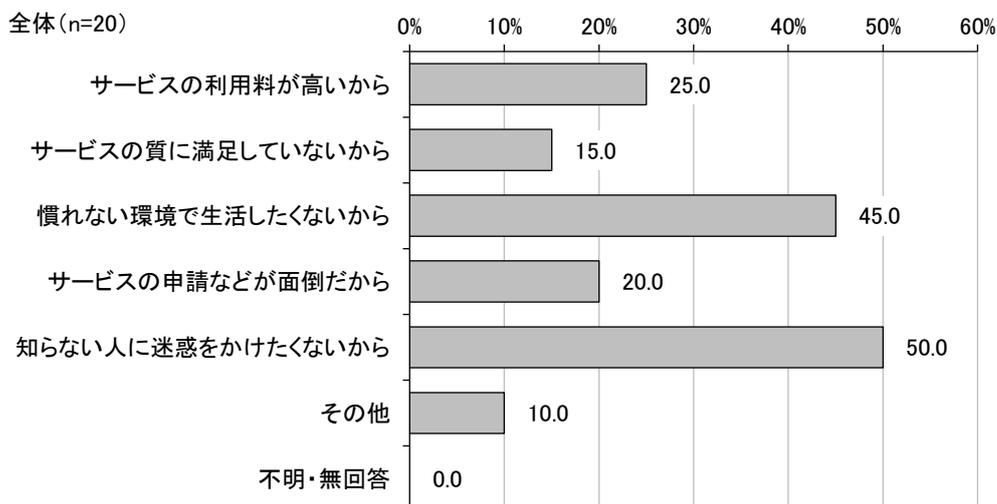
手帳種別にみると、療育手帳所持者では「利用している」が 51.7%と他の手帳所持者と比較して高くなっています。



**問 25 で「利用したくない」を選んだ方**

**問 26 サービスを利用したくない理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)**

全体では、「知らない人に迷惑をかけたくないから」が 50.0%と最も高く、次いで「慣れない環境で生活したくないから」が 45.0%、「サービスの利用料が高いから」が 25.0%となっています。



### 【問 26 の手帳種別による集計結果】

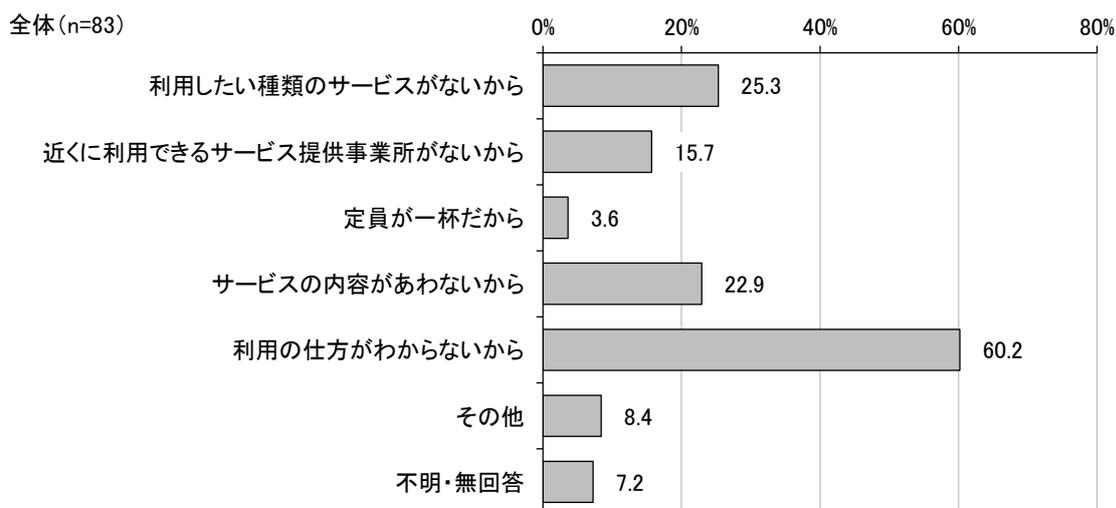
手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者では「知らない人に迷惑をかけたくないから」が最も高くなっています。

	件数	サービスの利用料が高いから	サービスの質に満足していないから	慣れない環境で生活したくないから	サービスの申請などが面倒だから	知らない人に迷惑をかけたくないから	その他	不明・無回答
	割合(%)							
全体	20	5	3	9	4	10	2	0
	100.0	25.0	15.0	45.0	20.0	50.0	10.0	0.0
身体障害者手帳	15	4	2	6	3	9	0	0
	100.0	26.7	13.3	40.0	20.0	60.0	0.0	0.0
療育手帳	3	1	0	2	2	2	0	0
	100.0	33.3	0.0	66.7	66.7	66.7	0.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳	4	0	1	2	1	1	2	0
	100.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	0.0

### 問 25 で「利用したいが、していない」を選んだ方

### 問 27 サービスを利用していない理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「利用の仕方がわからないから」が 60.2%と最も高く、次いで「利用したい種類のサービスがないから」が 25.3%、「サービスの内容があわないから」が 22.9%となっています。



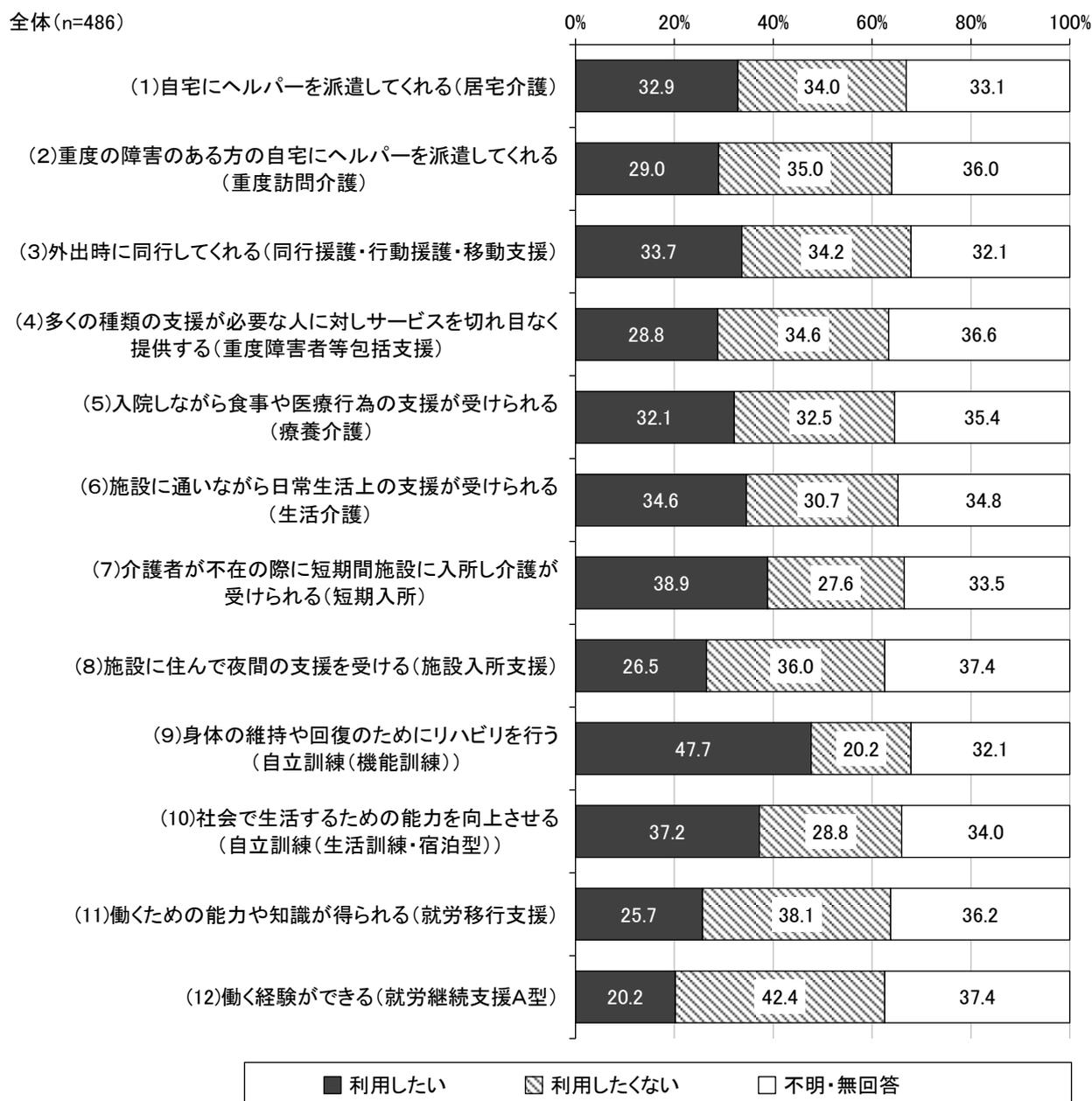
### 【問 27 の手帳種別による集計結果】

手帳種別にみると、いずれの手帳所持者も「利用の仕方がわからないから」が、61.9%、66.7%、50.0%とそれぞれ最も高くなっています。

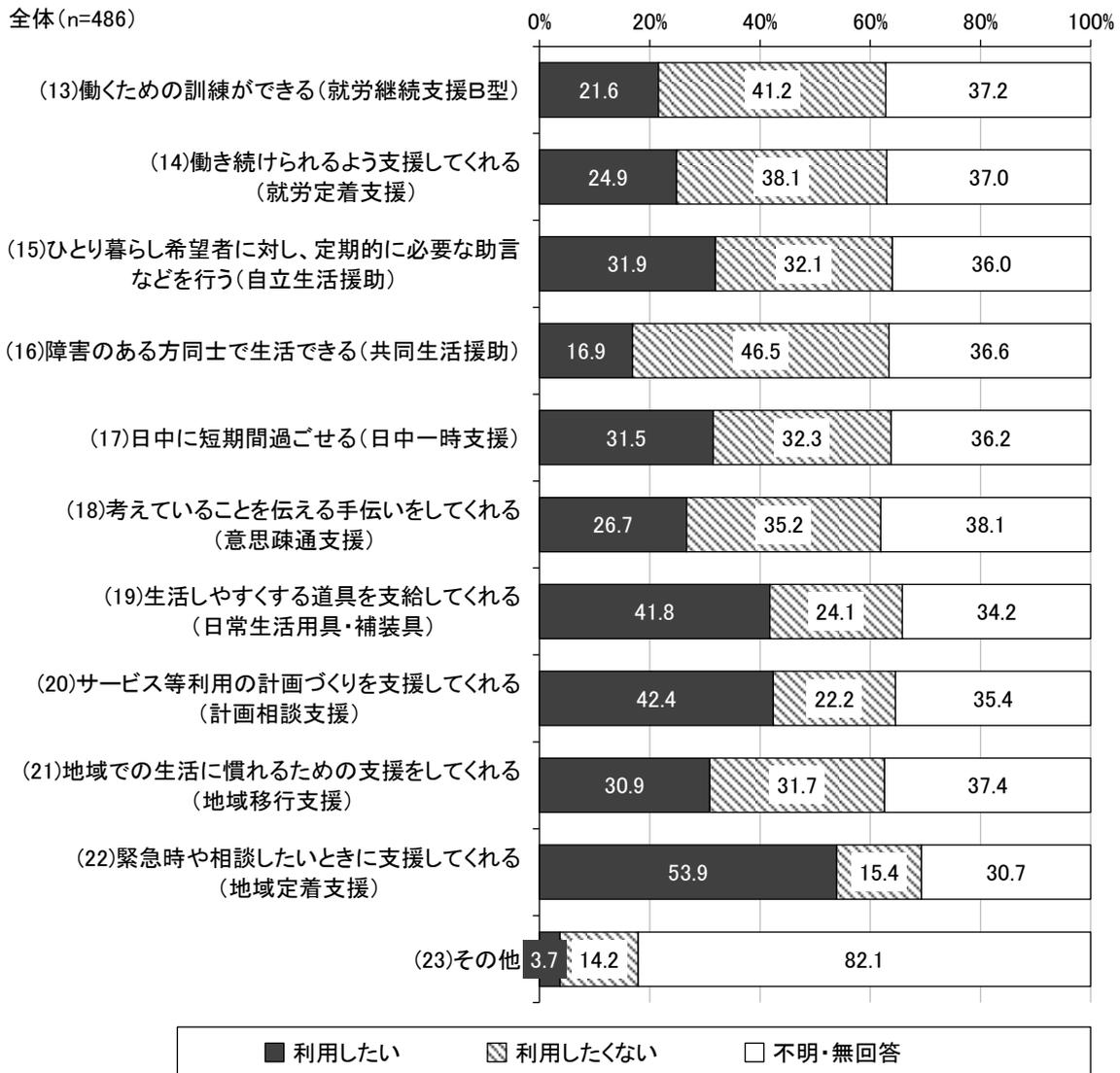
	件数	利用したい種類のサービスがないから	近くに利用できるサービス提供事業所がないから	定員が一杯だから	サービスの内容があわないから	利用の仕方がわからないから	その他	不明・無回答
	割合(%)							
全体	83	21	13	3	19	50	7	6
	100.0	25.3	15.7	3.6	22.9	60.2	8.4	7.2
身体障害者手帳	63	16	8	3	16	39	6	4
	100.0	25.4	12.7	4.8	25.4	61.9	9.5	6.3
療育手帳	6	3	2	1	1	4	0	1
	100.0	50.0	33.3	16.7	16.7	66.7	0.0	16.7
精神障害者保健福祉手帳	16	3	4	0	2	8	1	1
	100.0	18.8	25.0	0.0	12.5	50.0	6.3	6.3

問 28 あなたがお住まいの地域において、どのようなサービスおよびサービス事業所があれば利用したいですか。(各項目それぞれどちらかに○)

「利用したい」では「緊急時や相談したいときに支援してくれる(地域定着支援)」が53.9%、「身体の維持や回復のためにリハビリを行う(自立訓練(機能訓練))」が47.7%、「利用したくない」では「障害のある方同士で生活できる(共同生活援助)」が46.5%、「働く経験ができる(就労継続支援A型)」が42.4%となっています。

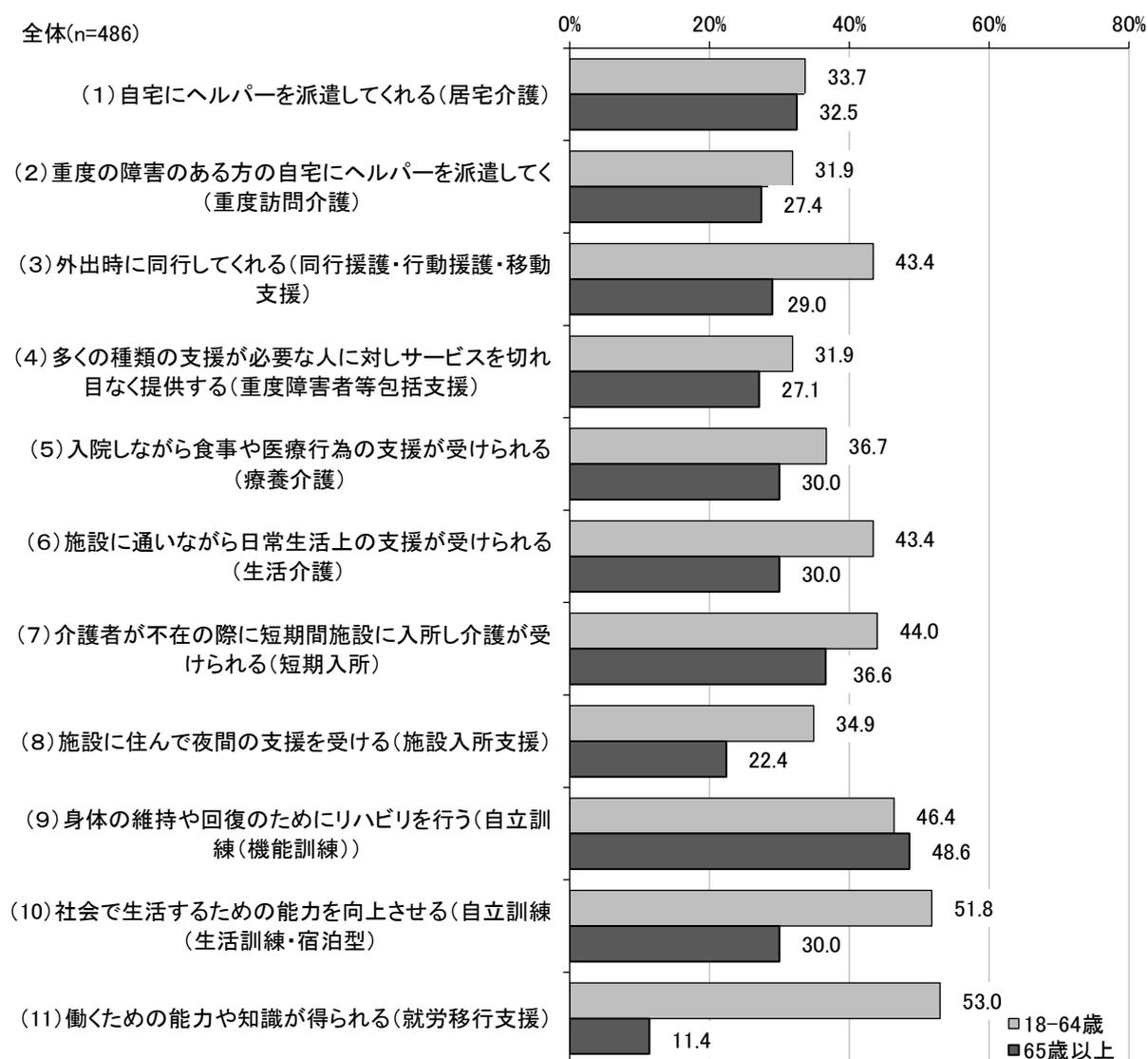


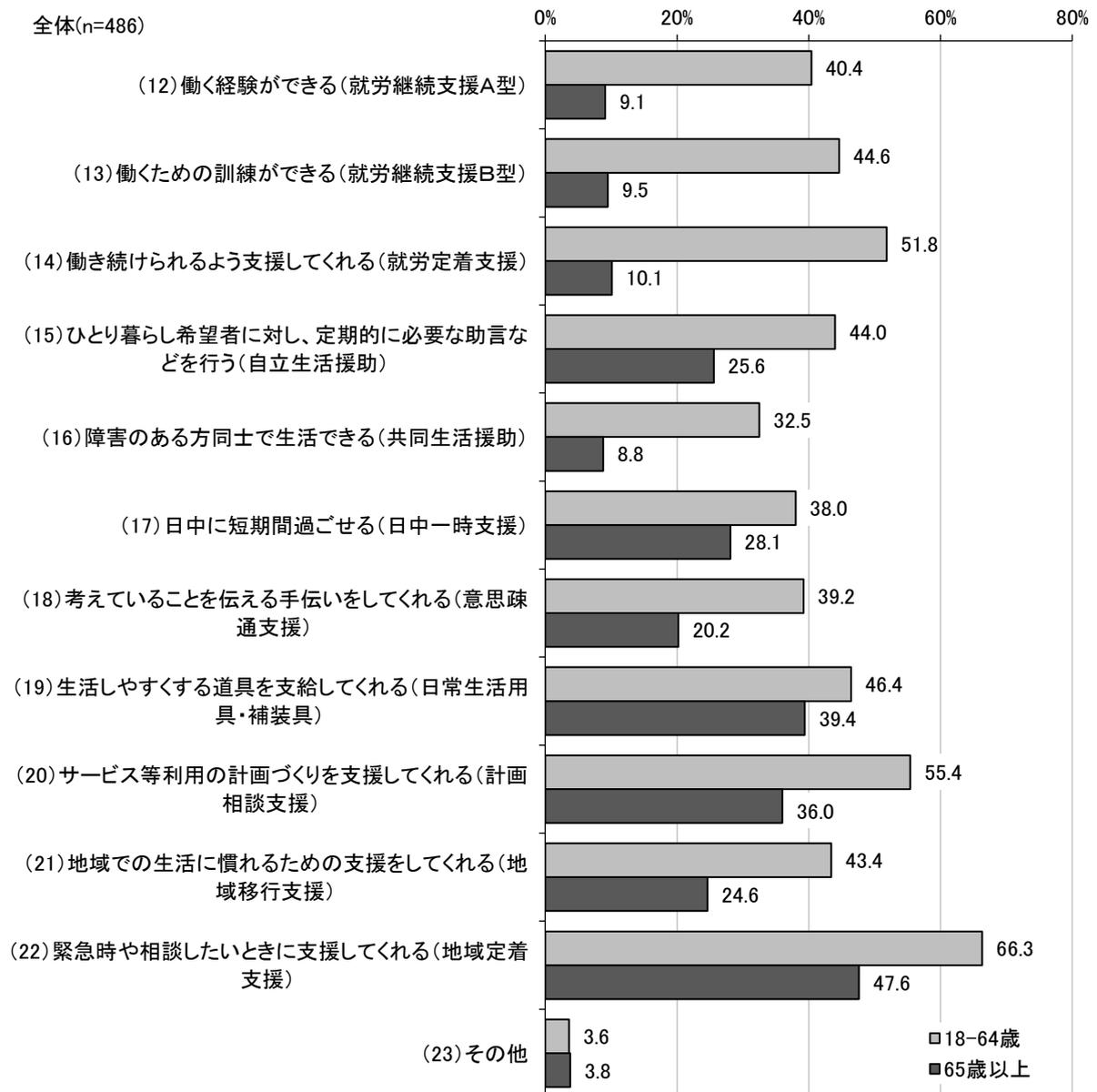
全体 (n=486)



## 【問 28 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18-64 歳では「(11) 働くための能力や知識が得られる (就労移行支援)」「(12) 働く経験ができる (就労継続支援 A 型)」「(13) 働くための訓練ができる (就労継続支援 B 型)」「(14) 働き続けられるよう支援してくれる (就労定着支援)」が 65 歳以上と比較して大きく差が開いています。また、「(22) 緊急時や相談したいときに支援してくれる (地域定着支援)」が 66.3%と最も高くなっています。65 歳以上では「(9) 身体の維持や回復のためにリハビリを行う (自立訓練 (機能訓練))」が 48.6%と最も高く、18-64 歳と比較して高くなっています。





## 【問 28 の手帳種別による集計結果】

年齢別にみると、身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者では「(22) 緊急時や相談したい時に支援してくれる（地域定着支援）」が 51.2%、70.7%とそれぞれ最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳所持者では「(14) 働き続けられるよう支援してくれる（就労定着支援）」が 63.0%と最も高くなっています。

	件数	(1) 自宅にヘルパーを派遣してくれる(居宅介護)	(2) 重度の障害のある方の自宅にヘルパーを派遣してく(重度訪問介護)	(3) 外出時に同行してくれる(同行援護・行動援護・移動支援)	(4) 多くの種類の支援が必要な人に対しサービスを切れ目なく提供する(重度障害者等包括支援)	(5) 入院しながら食事や医療行為の支援が受けられる(療養介護)	(6) 施設に通いながら日常生活上の支援が受けられる(生活介護)	(7) 介護者が不在の際に短期間施設に入所し介護が受けられる(短期入所)	
	割合(%)								
全体	486	160	141	164	140	156	168	189	
	100.0	32.9	29.0	33.7	28.8	32.1	34.6	38.9	
身体障害者手帳	365	123	107	117	107	117	119	141	
	100.0	33.7	29.3	32.1	29.3	32.1	32.6	38.6	
療育手帳	58	25	18	34	21	22	31	35	
	100.0	43.1	31.0	58.6	36.2	37.9	53.4	60.3	
精神障害者保健福祉手帳	73	16	19	21	18	23	26	22	
	100.0	21.9	26.0	28.8	24.7	31.5	35.6	30.1	
		(8) 施設に住んで夜間の支援を受ける(施設入所支援)	(9) 身体の維持や回復のためにリハビリを行う(自立訓練(機能訓練))	(10) 社会で生活するための能力を向上させる(自立訓練(生活訓練・宿泊型))	(11) 働くための能力や知識が得られる(就労移行支援)	(12) 働く経験ができる(就労継続支援A型)	(13) 働くための訓練ができる(就労継続支援B型)	(14) 働き続けられるよう支援してくれる(就労定着支援)	(15) ひとり暮らし希望者に対し、定期的に必要な助言などを行う(自立生活援助)
全体	129	232	181	125	98	105	121	155	
	26.5	47.7	37.2	25.7	20.2	21.6	24.9	31.9	
身体障害者手帳	91	185	120	61	49	52	57	101	
	24.9	50.7	32.9	16.7	13.4	14.2	15.6	27.7	
療育手帳	29	25	34	25	17	19	22	28	
	50.0	43.1	58.6	43.1	29.3	32.8	37.9	48.3	
精神障害者保健福祉手帳	17	30	36	42	34	37	46	33	
	23.3	41.1	49.3	57.5	46.6	50.7	63.0	45.2	
		(16) 障害のある方同士で生活できる(共同生活援助)	(17) 日中に短期間過ごせる(日中一時支援)	(18) 考えていることを伝える手伝いをしてくれる(意思疎通支援)	(19) 生活しやすくする道具を支給してくれる(日常生活用具・補装具)	(20) サービス等利用の計画づくりを支援してくれる(計画相談支援)	(21) 地域での生活に慣れるための支援をしてくれる(地域移行支援)	(22) 緊急時や相談したいときに支援してくれる(地域定着支援)	(23) その他
全体	82	153	130	203	206	150	262	18	
	16.9	31.5	26.7	41.8	42.4	30.9	53.9	3.7	
身体障害者手帳	44	106	82	158	145	99	187	15	
	12.1	29.0	22.5	43.3	39.7	27.1	51.2	4.1	
療育手帳	25	28	30	28	35	31	41	3	
	43.1	48.3	51.7	48.3	60.3	53.4	70.7	5.2	
精神障害者保健福祉手帳	18	28	25	22	40	29	45	1	
	24.7	38.4	34.2	30.1	54.8	39.7	61.6	1.4	

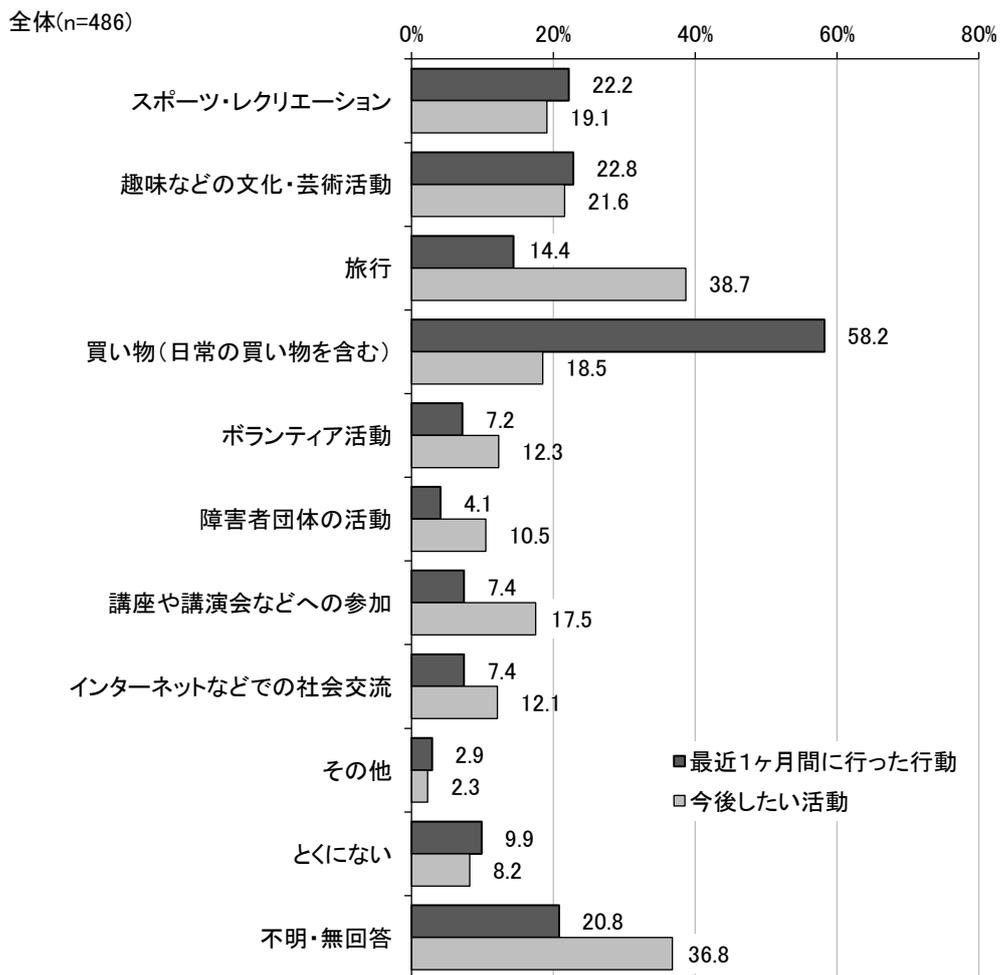
## (6) 社会参加について

問 29① あなたは最近1ヶ月間にどのような活動をされていますか。「最近1ヶ月間に行った行動」についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

問 29② 今後どのような活動をしたいと思われませんか。(あてはまるものすべてに○)

①では、「買い物(日常の買い物を含む)」が58.2%と最も高く、次いで「趣味などの文化・芸術活動」が22.8%、「スポーツ・レクリエーション」が22.2%となっています。

②では、「旅行」が38.7%と最も高く、次いで「趣味などの文化・芸術活動」が21.6%、「スポーツ・レクリエーション」が19.1%となっています。



【問 29①の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18-64歳では「買い物（日常の買い物を含む）」が66.3%と最も高く、次いで「趣味などの文化・芸術活動」が29.5%となっています。65歳以上では「買い物（日常の買い物を含む）」が53.9%と最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーション」が21.8%となっています。

	件数 割合(%)	スポーツ・ レクリエー ション	趣味などの 文化・芸術 活動	旅行	買い物(日 常の買い 物を含む)	ボランティ ア活動	障害者団 体の活動	講座や講 演会などへ の参加
全体	486 100.0	108 22.2	111 22.8	70 14.4	283 58.2	35 7.2	20 4.1	36 7.4
18-64歳	166 100.0	39 23.5	49 29.5	22 13.3	110 66.3	8 4.8	10 6.0	11 6.6
65歳以上	317 100.0	69 21.8	61 19.2	48 15.1	171 53.9	27 8.5	10 3.2	25 7.9
	インター ネットな での社会 交流	その他	とくにない	不明・無回 答				
全体	36 7.4	14 2.9	48 9.9	101 20.8				
18-64歳	17 10.2	0 0.0	14 8.4	24 14.5				
65歳以上	18 5.7	14 4.4	34 10.7	76 24.0				

【問 29②の年齢別による集計結果】

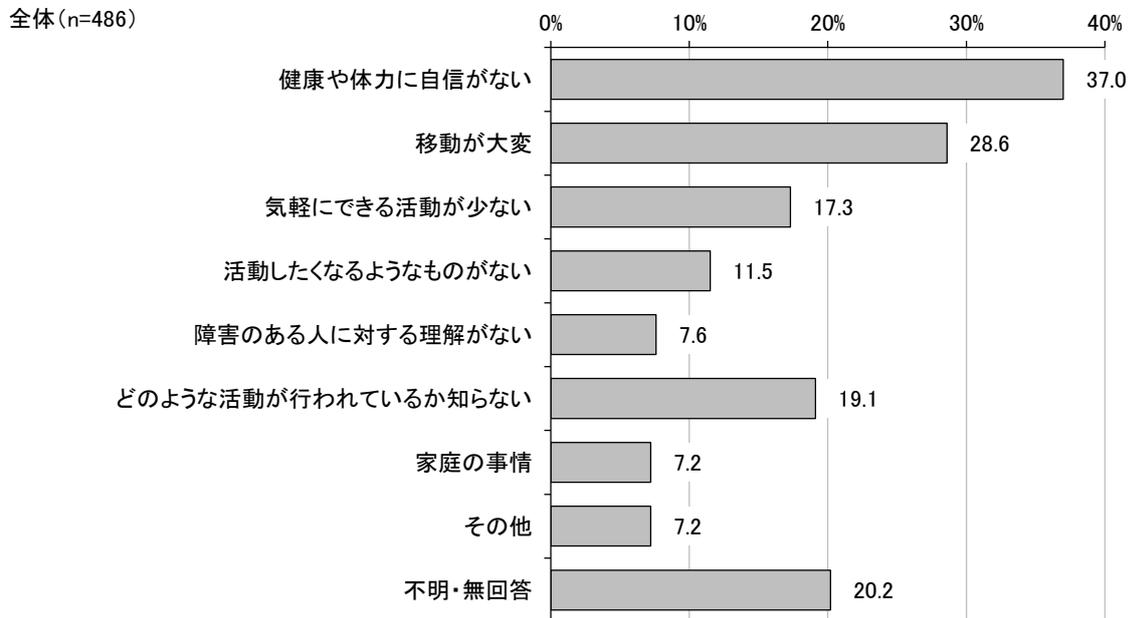
年齢別にみると、18-64歳では「旅行」が47.6%と最も高く、次いで「趣味などの文化・芸術活動」が29.5%となっています。65歳以上では「旅行」が33.8%と最も高く、次いで「趣味などの文化・芸術活動」が17.4%となっています。

	件数 割合(%)	スポーツ・ レクリエー ション	趣味などの 文化・芸術 活動	旅行	買い物(日 常の買い 物を含む)	ボランティ ア活動	障害者団 体の活動	講座や講 演会などへ の参加
全体	486 100.0	93 19.1	105 21.6	188 38.7	90 18.5	60 12.3	51 10.5	85 17.5
18-64歳	166 100.0	40 24.1	49 29.5	79 47.6	40 24.1	31 18.7	28 16.9	34 20.5
65歳以上	317 100.0	53 16.7	55 17.4	107 33.8	50 15.8	29 9.1	23 7.3	50 15.8
	インター ネットな での社会 交流	その他	とくにない	不明・無回 答				
全体	59 12.1	11 2.3	40 8.2	179 36.8				
18-64歳	31 18.7	3 1.8	10 6.0	43 25.9				
65歳以上	28 8.8	8 2.5	30 9.5	135 42.6				

問 30 あなたが問 29 のような活動を行う場合、問題となることは何ですか。

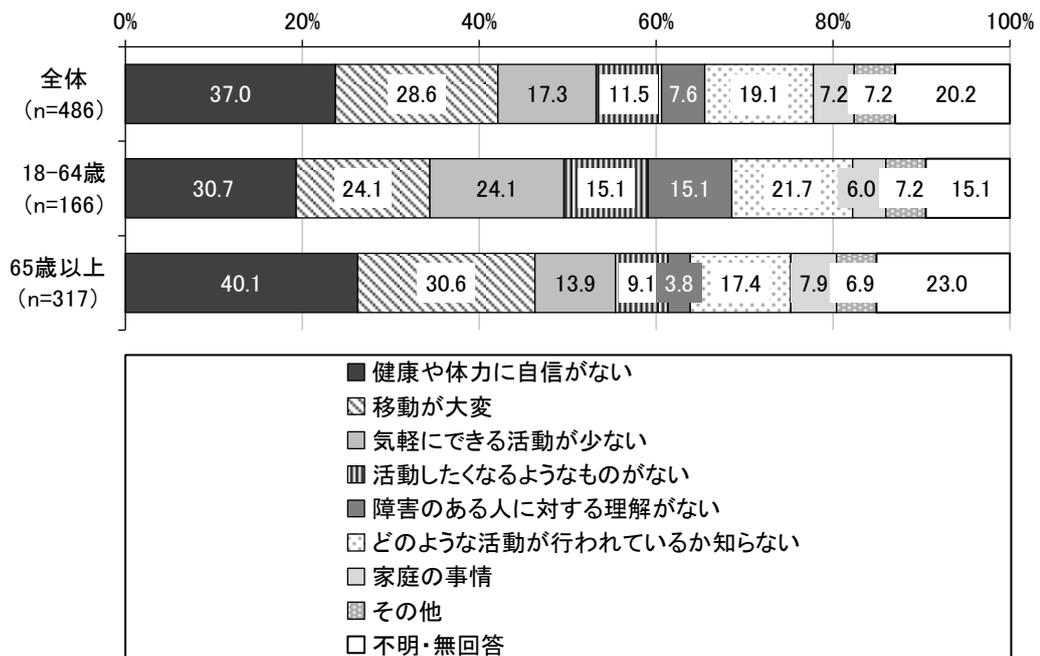
(あてはまるもの3つまで○)

全体では、「健康や体力に自信がない」が 37.0%と最も高く、次いで「移動が大変」が 28.6%、「どのような活動が行われているか知らない」が 19.1%となっています。



【問 30 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18-64 歳では「健康や体力に自信がない」が 30.7%と最も高く、次いで「移動が大変」「気軽にできる活動が少ない」が 24.1%となっています。65 歳以上では「健康や体力に自信がない」が 40.1%と最も高く、次いで「移動が大変」が 30.6%となっています。



【問 30 の手帳種別による集計結果】

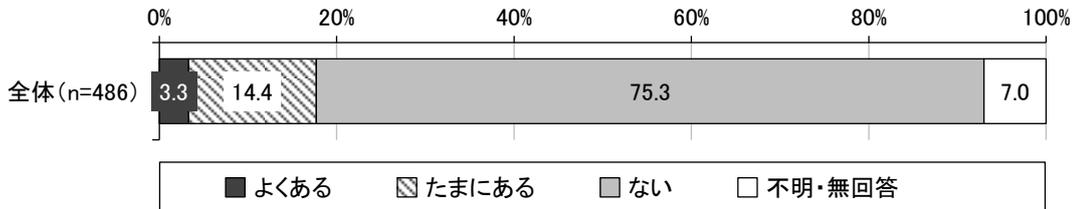
手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「健康や体力に自信がない」が最も高く、療育手帳所持者では「移動が大変」「気軽にできる活動が少ない」が最も高くなっています。

	件数	健康や体力に自信がない	移動が大変	気軽にできる活動が少ない	活動したくなるようなものがない	障害のある人に対する理解がない	どのような活動が行われているか知らない	家庭の事情
	割合(%)							
全体	486	180	139	84	56	37	93	35
	100.0	37.0	28.6	17.3	11.5	7.6	19.1	7.2
身体障害者手帳	365	150	111	47	33	17	67	27
	100.0	41.1	30.4	12.9	9.0	4.7	18.4	7.4
療育手帳	58	8	16	16	9	8	10	5
	100.0	13.8	27.6	27.6	15.5	13.8	17.2	8.6
精神障害者保健福祉手帳	73	27	17	26	19	12	19	4
	100.0	37.0	23.3	35.6	26.0	16.4	26.0	5.5
	その他	不明・無回答						
全体	35	98						
	7.2	20.2						
身体障害者手帳	25	76						
	6.8	20.8						
療育手帳	4	11						
	6.9	19.0						
精神障害者保健福祉手帳	5	9						
	6.8	12.3						

## (7) 一人ひとりの権利を守る取り組みについて

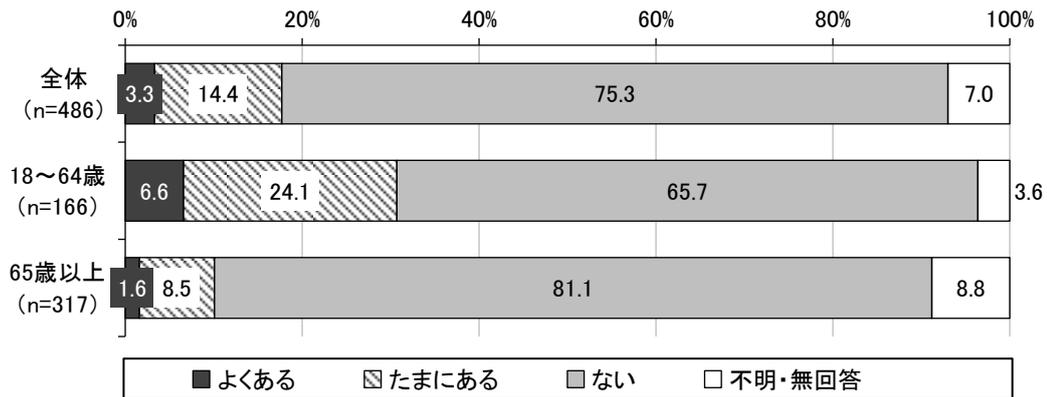
問 31 あなたは日常生活において、障害があるために差別や偏見を受けたり、嫌がらせをされたり、仲間はずれにされたと感じることがありますか。(〇は1つ)

全体では、「ない」が75.3%と最も高く、次いで「たまにある」が14.4%、「よくある」が3.3%となっています。



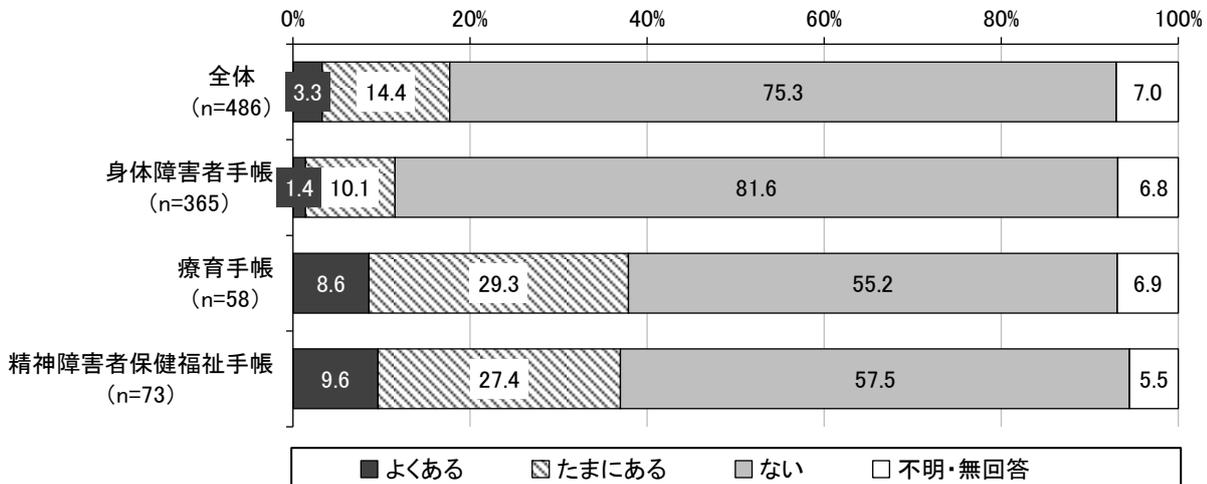
### 【問 31 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18-64歳では「ない」が65.7%と最も高く、次いで「たまにある」が24.1%となっています。65歳以上では「ない」が81.1%と最も高く、次いで「たまにある」が8.5%となっています。



### 【問 31 の手帳種別による集計結果】

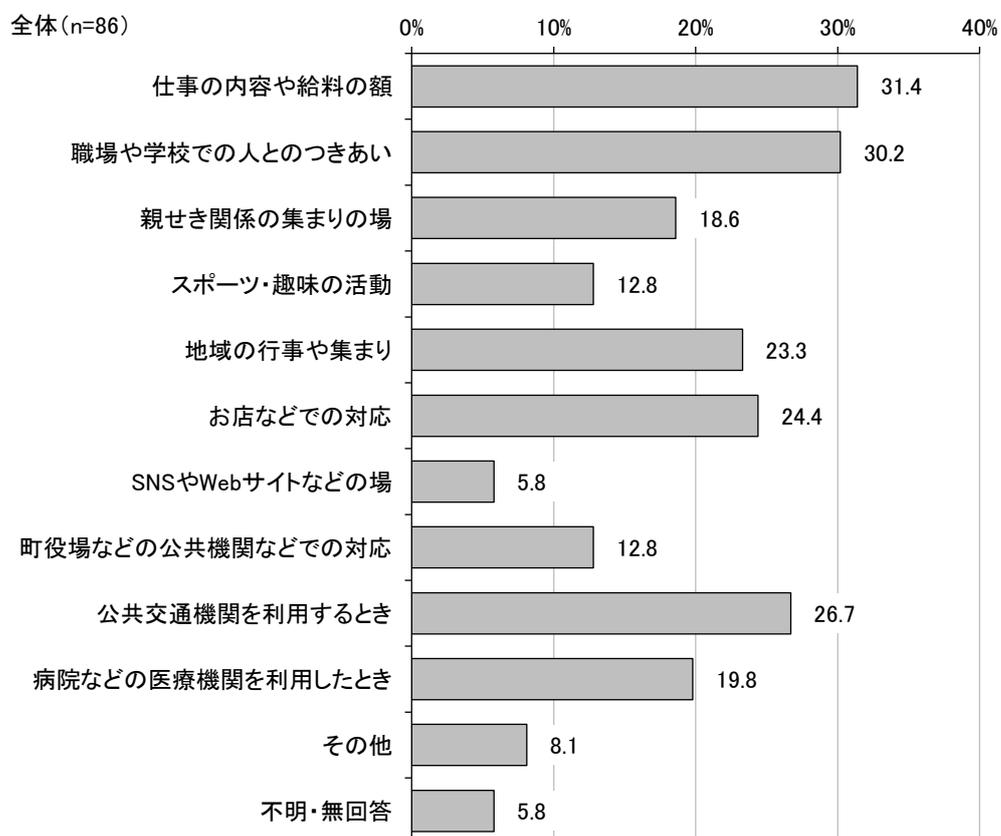
手帳種別にみると、いずれの手帳所持者も「ない」が最も高くなっています。



問31で「よくある」「たまにある」を選んだ方

問32 どのようなときにそれを感じましたか（あてはまるものすべてに○）

全体では、「仕事の内容や給料の額」が31.4%と最も高く、次いで「職場や学校での人とのつきあい」が30.2%、「公共交通機関を利用するとき」が26.7%となっています。



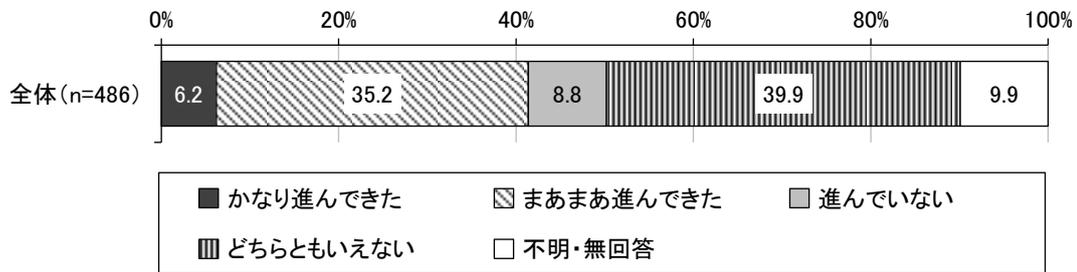
### 【問 32 の手帳種別による集計結果】

手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者では「お店などでの対応」「公共交通機関を利用するとき」が 31.0%と最も高く、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「仕事の内容や給料の額」が 50.0%、59.3%とそれぞれ最も高くなっています。

	件数	仕事の内容や給料の額	職場や学校での人とのつきあい	親せき関係の集まりの場	スポーツ・趣味の活動	地域の行事や集まり	お店などでの対応	SNSやWebサイトなどの場
	割合(%)							
全体	86	27	26	16	11	20	21	5
	100.0	31.4	30.2	18.6	12.8	23.3	24.4	5.8
身体障害者手帳	42	2	7	7	4	11	13	1
	100.0	4.8	16.7	16.7	9.5	26.2	31.0	2.4
療育手帳	22	11	8	4	4	3	5	1
	100.0	50.0	36.4	18.2	18.2	13.6	22.7	4.5
精神障害者保健福祉手帳	27	16	13	8	3	6	4	3
	100.0	59.3	48.1	29.6	11.1	22.2	14.8	11.1
	町役場などの公共機関などでの対応	公共交通機関を利用するとき	病院などの医療機関を利用したとき	その他	不明・無回答			
全体	11	23	17	7	5			
	12.8	26.7	19.8	8.1	5.8			
身体障害者手帳	4	13	8	3	3			
	9.5	31.0	19.0	7.1	7.1			
療育手帳	2	8	4	1	1			
	9.1	36.4	18.2	4.5	4.5			
精神障害者保健福祉手帳	5	5	5	3	1			
	18.5	18.5	18.5	11.1	3.7			

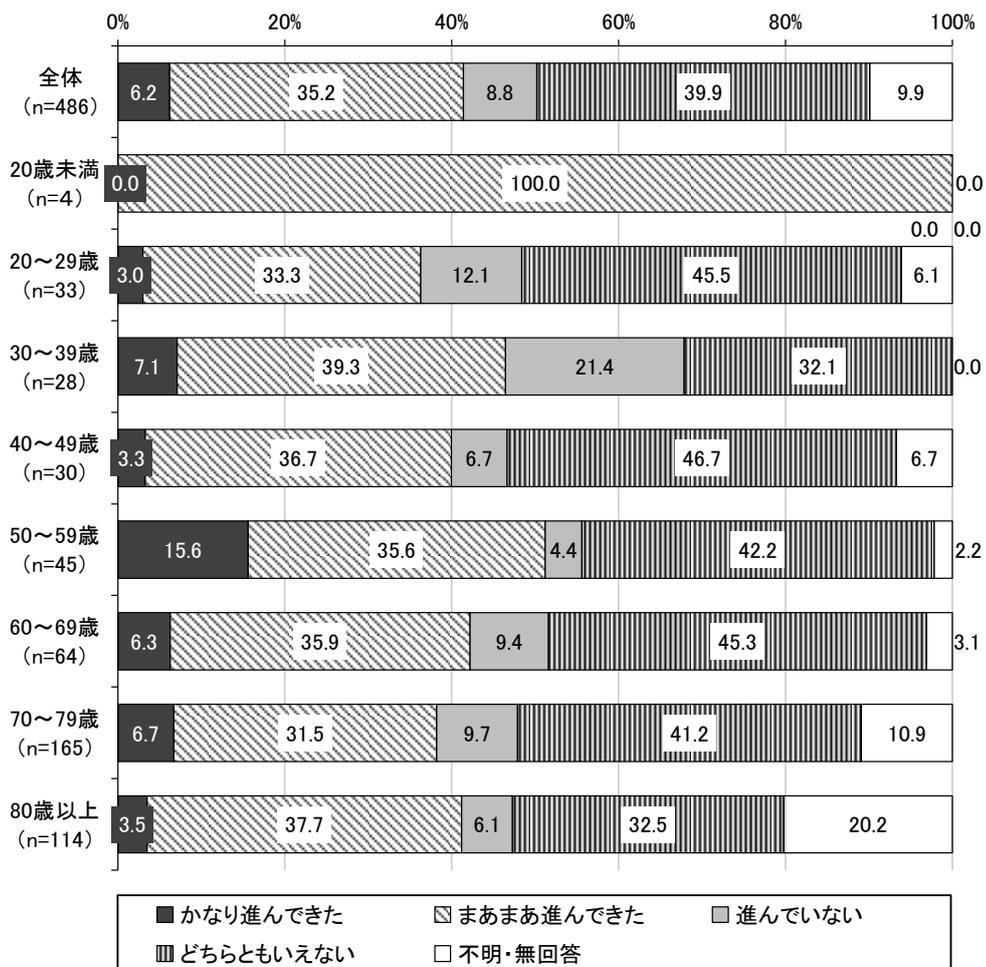
問 33 あなたは、精華町民の障害のある方に対する理解は進んできたと思いますか。(○は1つ)

全体では、「どちらともいえない」が 39.9%と最も高く、次いで「まあまあ進んできた」が 35.2%、「進んでいない」が 8.8%となっています。



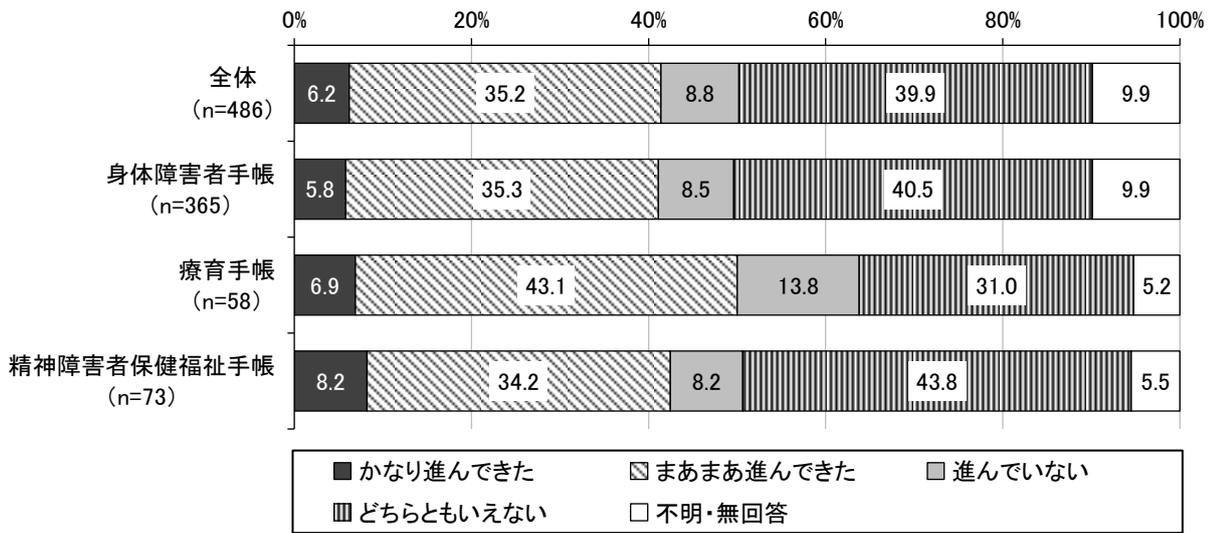
【問 33 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、50～59歳では「かなり進んできた」が 15.6%と他の年齢と比較して、高くなっています。30～39歳では「進んでいない」が 21.4%と他の年齢と比較して、高くなっています。



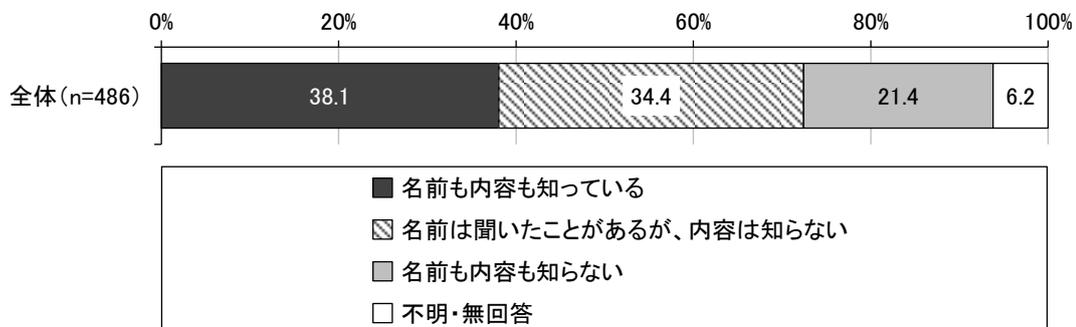
**【問 33 の手帳種別による集計結果】**

手帳種別にみると、療育手帳では「まあまあ進んできた」が 43.1%と他の手帳所持者より高くなっています。一方で「進んでいない」も 13.8%と他の手帳所持者より高くなっています。



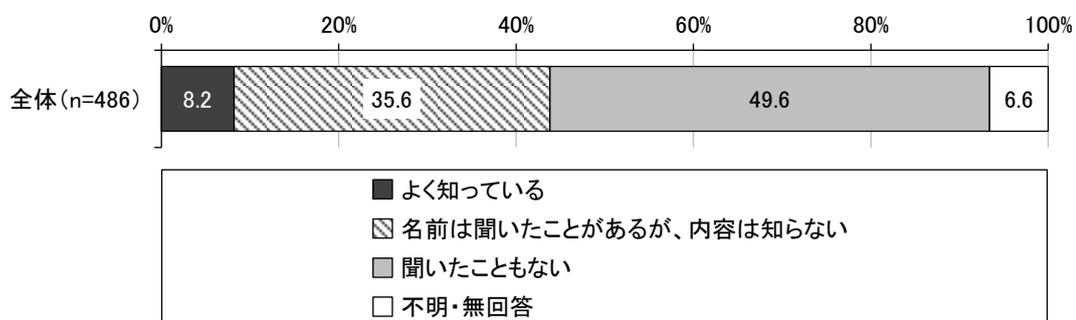
問 34 成年後見制度について知っていますか。(○は1つ)

全体では、「名前も内容も知っている」が 38.1%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 34.4%、「名前も内容も知らない」が 21.4%となっています。



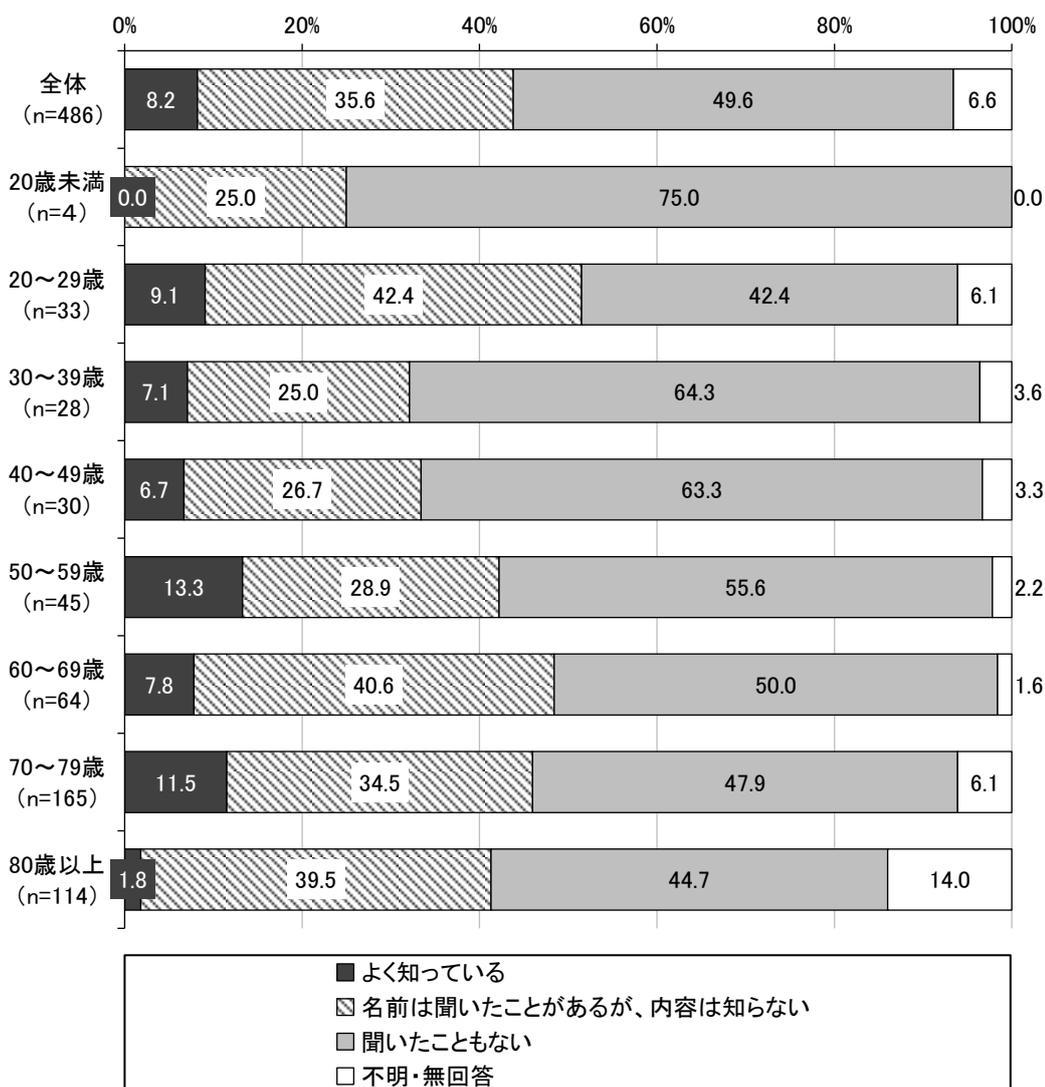
問 35 2016 年に施行された「障害者差別解消法」を知っていますか。(○は1つ)

全体では、「聞いたこともない」が 49.6%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 35.6%、「よく知っている」が 8.2%となっています。



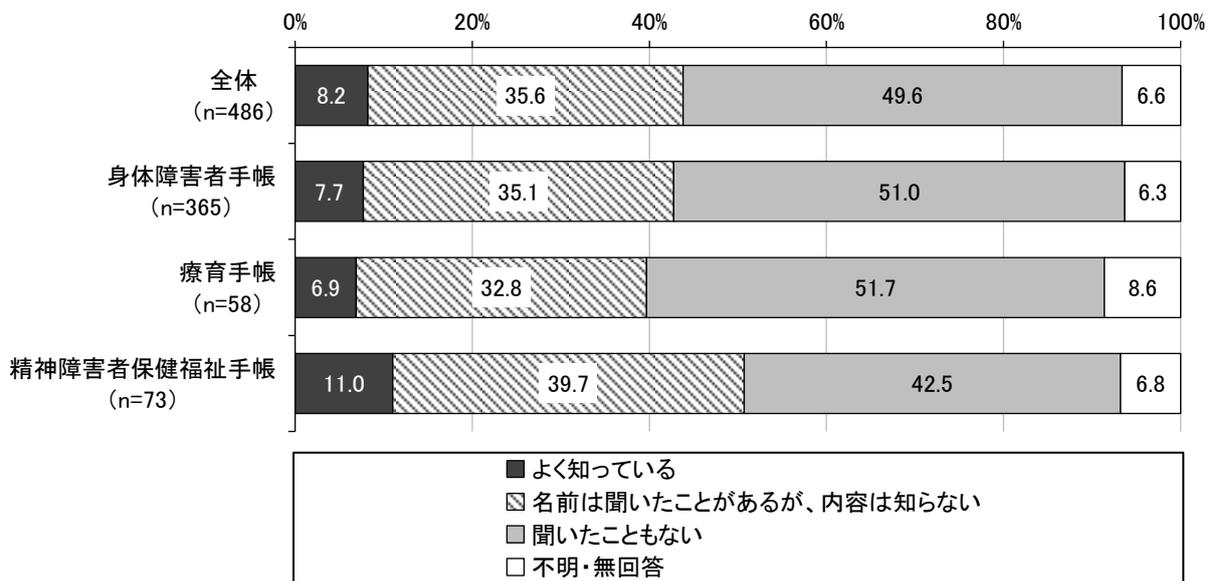
【問 35 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、30～39 歳、40～49 歳で「聞いたこともない」がそれぞれ 64.3%、63.3%と他の年齢より高くなっています。



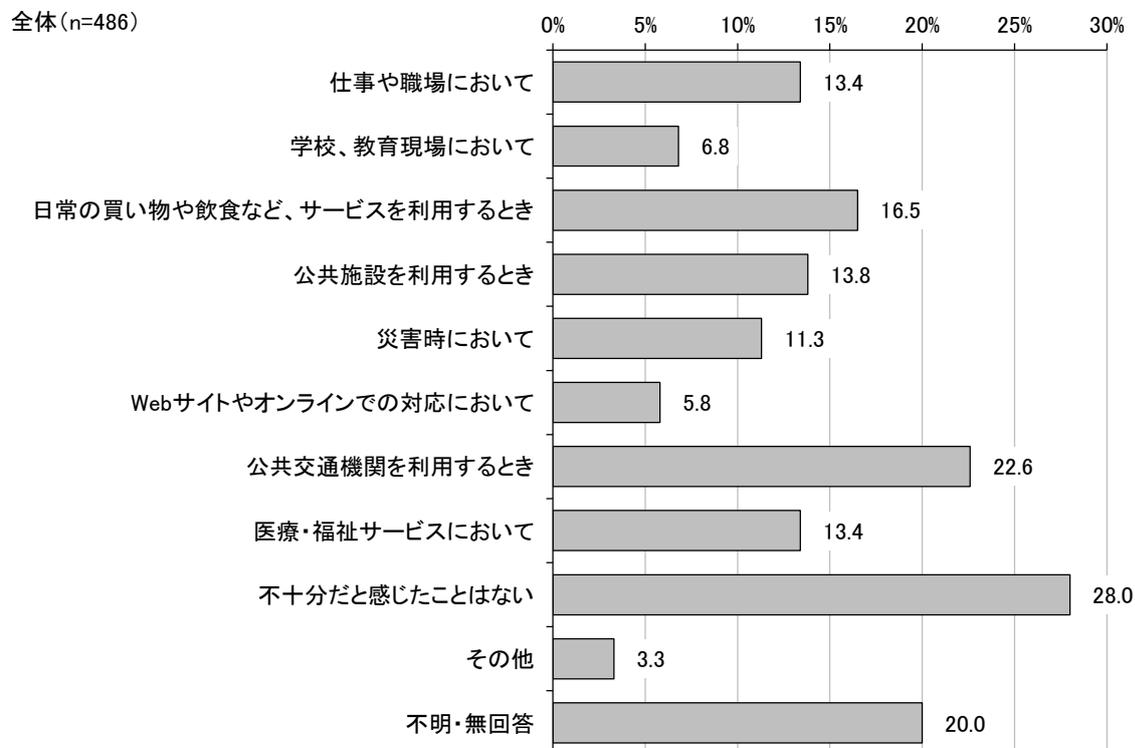
**【問 35 の手帳種別による集計結果】**

手帳種別にみると、精神障害者保健福祉手帳所持者では「よく知っている」が 11.0%と、他の手帳所持者と比較して高くなっています。



問 36 日常生活で合理的配慮が不十分だと思うシーンはありますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「不十分だと感じたことはない」が 28.0%と最も高く、次いで「公共交通機関を利用するとき」が 22.6%、「日常の買い物や飲食など、サービスを利用するとき」が 16.5%となっています。



### 【問 36 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18-64歳では「公共交通機関を利用するとき」が29.5%と最も高く、次いで「仕事や職場において」が27.7%となっています。65歳以上では「不十分だと感じたことはない」が30.9%と最も高く、次いで「公共交通機関を利用するとき」が18.9%となっています。

	件数	仕事や職場において	学校、教育現場において	日常の買い物や飲食など、サービスを利用するとき	公共施設を利用するとき	災害時において	Webサイトやオンラインでの対応において	公共交通機関を利用するとき
	割合(%)							
全体	486	65	33	80	67	55	28	110
	100.0	13.4	6.8	16.5	13.8	11.3	5.8	22.6
18-64歳	166	46	23	32	27	23	9	49
	100.0	27.7	13.9	19.3	16.3	13.9	5.4	29.5
65歳以上	317	16	9	47	40	32	19	60
	100.0	5.0	2.8	14.8	12.6	10.1	6.0	18.9
	医療・福祉サービスにおいて	不十分だと感じたことはない	その他	不明・無回答				
全体	65	136	16	97				
	13.4	28.0	3.3	20.0				
18-64歳	29	38	7	18				
	17.5	22.9	4.2	10.8				
65歳以上	36	98	9	79				
	11.4	30.9	2.8	24.9				

### 【問 36 の手帳種別による集計結果】

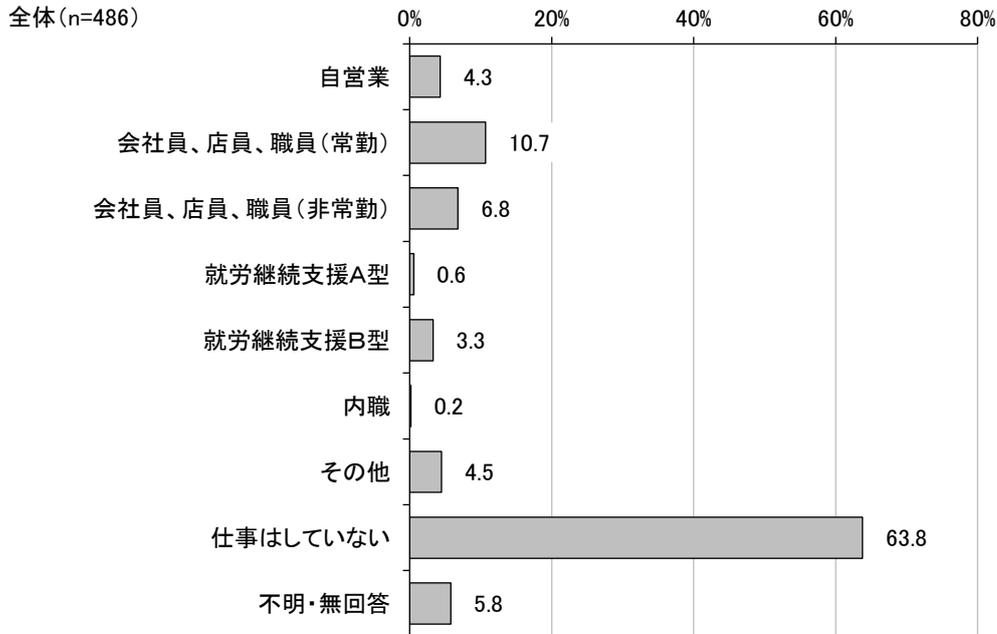
手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者では「不十分だと感じたことはない」が 31.0%、療育手帳所持者では「公共交通機関を利用するとき」が 25.9%、精神障害者保健福祉手帳所持者では「仕事や職場において」が 38.4%とそれぞれ最も高くなっています。

	件数	仕事や職場において	学校、教育現場において	日常の買い物や飲食など、サービスを利用するとき	公共施設を利用するとき	災害時において	Webサイトやオンラインでの対応において	公共交通機関を利用するとき
	割合 (%)							
全体	486	65	33	80	67	55	28	110
	100.0	13.4	6.8	16.5	13.8	11.3	5.8	22.6
身体障害者手帳	365	28	11	60	51	39	21	81
	100.0	7.7	3.0	16.4	14.0	10.7	5.8	22.2
療育手帳	58	10	9	13	10	11	4	15
	100.0	17.2	15.5	22.4	17.2	19.0	6.9	25.9
精神障害者保健福祉手帳	73	28	14	10	8	7	4	19
	100.0	38.4	19.2	13.7	11.0	9.6	5.5	26.0
		医療・福祉サービスにおいて	不十分だと感じたことはない	その他	不明・無回答			
全体	65	136	16	97				
	13.4	28.0	3.3	20.0				
身体障害者手帳	42	113	10	73				
	11.5	31.0	2.7	20.0				
療育手帳	10	12	3	11				
	17.2	20.7	5.2	19.0				
精神障害者保健福祉手帳	15	17	2	11				
	20.5	23.3	2.7	15.1				

## (8) 就労支援について

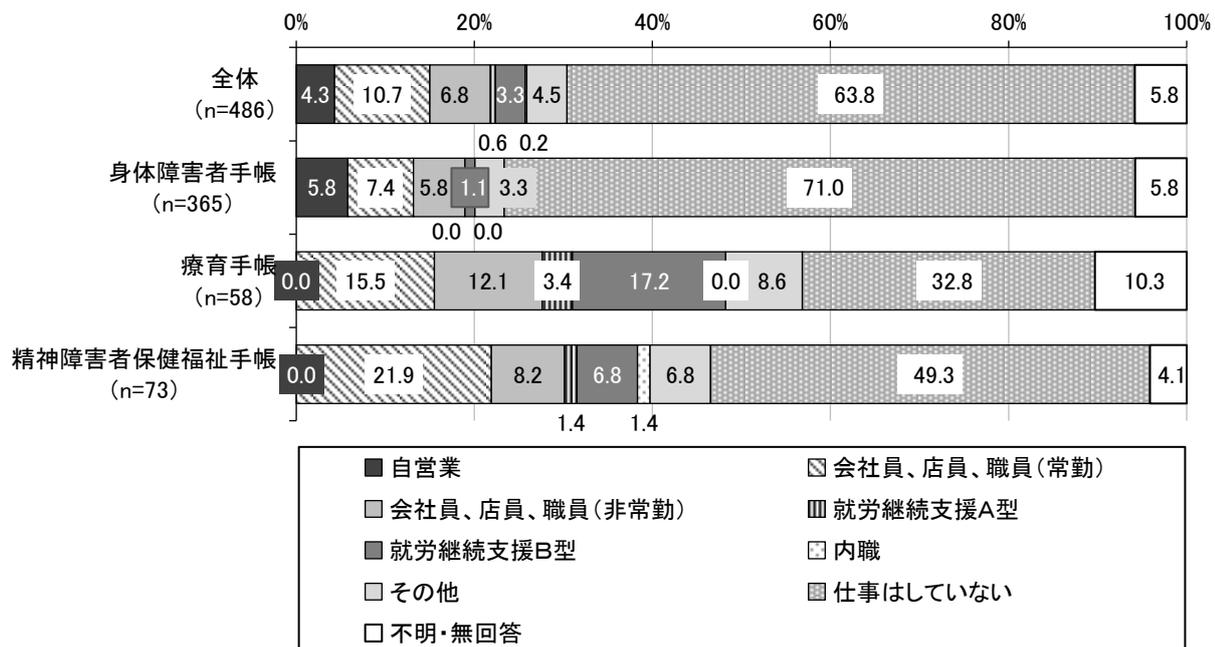
問 37 あなたは、主にどのような仕事をしていますか。(〇は1つ)

全体では、「仕事はしていない」が 63.8%と最も高く、次いで「会社員、店員、職員(常勤)」が 10.7%、「会社員、店員、職員(非常勤)」が 6.8%となっています。



### 【問 37 の手帳種別による集計結果】

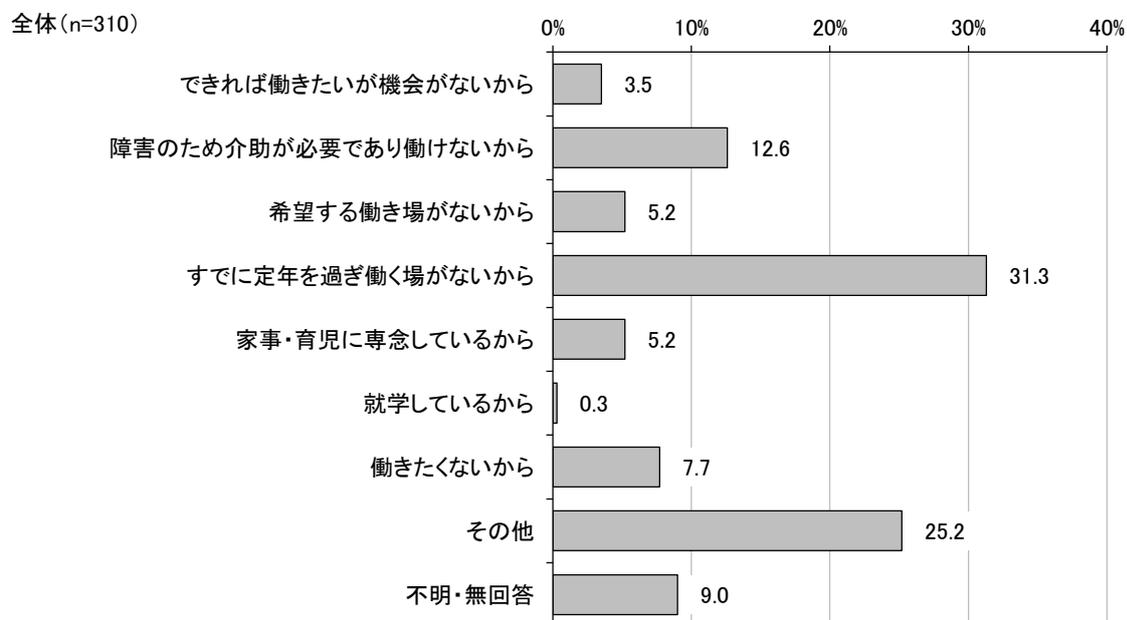
手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者では「仕事はしていない」が 71.0%と、他の手帳所持者と比較して高くなっています。療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では何らかの仕事をしている方が、身体障害者手帳所持者と比較して高くなっています。



問 37 で「仕事はしていない」を選んだ方

問 38 あなたが、仕事をしていない理由について教えてください。(〇は1つ)

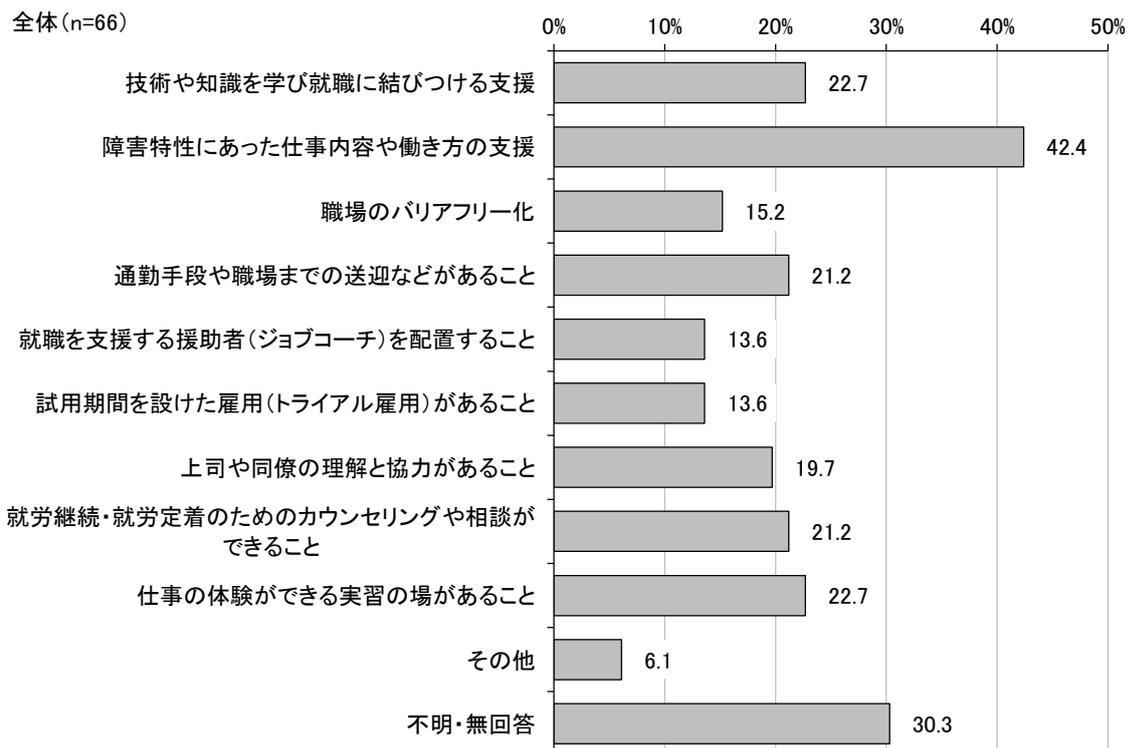
全体では、「すでに定年を過ぎ働く場がないから」が 31.3%と最も高く、次いで「その他」が 25.2%、「障害のため介助が必要であり働けないから」が 12.6%となっています。



問 38 で「できれば働きたいが機会がないから」「障害のために介助が必要であり働けないから」「希望する働き場がないから」を選んだ方

問 39 あなたが働くために、どのような支援を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「障害特性にあった仕事内容や働き方の支援」が 42.4%と最も高く、次いで「技術や知識を学び就職に結びつける支援」「仕事の体験ができる実習の場があること」が 22.7%、「通勤手段や職場までの送迎などがあること」「就労継続・就労定着のためのカウンセリングや相談ができること」が 21.2%となっています。



### 【問 39 の手帳種別による集計結果】

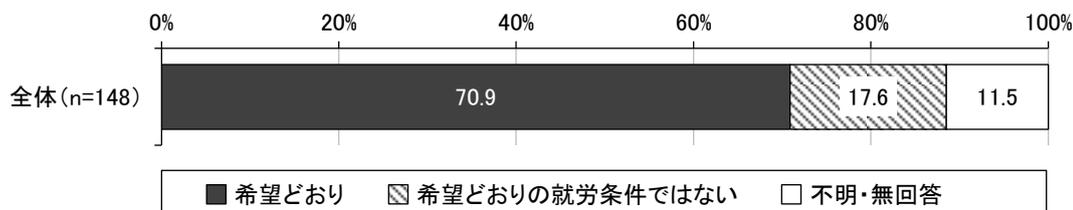
手帳種別にみると、いずれの手帳所持者も「障害特性にあった仕事内容や働き方の支援」が 38.8%、75.0%、58.3%と最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳所持者では、「就労継続・就労定着のためのカウンセリングや相談ができること」が最も高くなっています。

	件数	技術や知識を学び就職に結びつける支援	障害特性にあった仕事内容や働き方の支援	職場のバリアフリー化	通勤手段や職場までの送迎などがあること	就職を支援する援助者(ジョブコーチ)を配置すること	試用期間を設けた雇用(トライアル雇用)があること	上司や同僚の理解と協力があること
	割合(%)							
全体	66	15	28	10	14	9	9	13
	100.0	22.7	42.4	15.2	21.2	13.6	13.6	19.7
身体障害者手帳	49	9	19	9	10	5	4	6
	100.0	18.4	38.8	18.4	20.4	10.2	8.2	12.2
療育手帳	8	3	6	3	4	1	0	3
	100.0	37.5	75.0	37.5	50.0	12.5	0.0	37.5
精神障害者保健福祉手帳	12	6	7	1	2	4	5	6
	100.0	50.0	58.3	8.3	16.7	33.3	41.7	50.0
	就労継続・就労定着のためのカウンセリングや相談ができること	仕事の体験ができる実習があること	その他	不明・無回答				
全体	14	15	4	20				
	21.2	22.7	6.1	30.3				
身体障害者手帳	8	8	4	16				
	16.3	16.3	8.2	32.7				
療育手帳	1	3	0	2				
	12.5	37.5	0.0	25.0				
精神障害者保健福祉手帳	7	6	0	1				
	58.3	50.0	0.0	8.3				

問 37 で「仕事はしていない」以外の選択肢を選んだ（何らかの仕事をしている）方

問 40 あなたの現在の仕事のしかたは希望どおりですか。（○は1つ）

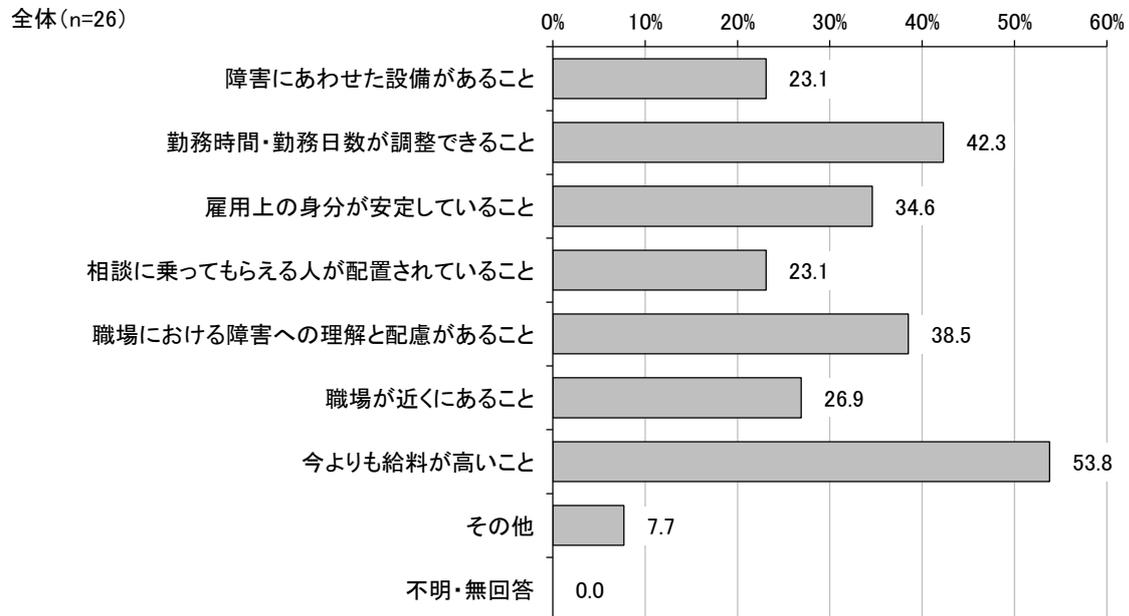
全体では、「希望どおり」が 70.9%、「希望どおりの就労条件ではない」が 17.6%となっています。



問 40 で「希望どおりの就労条件ではない」を選んだ方

問 41 あなたは、どのような就労条件を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

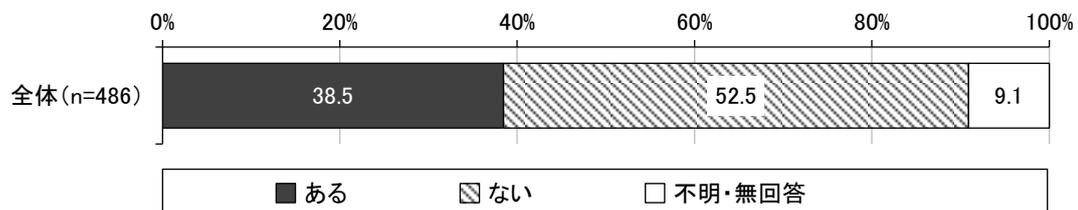
全体では、「今よりも給料が高いこと」が 53.8%と最も高く、次いで「勤務時間・勤務日数が調整できること」が 42.3%、「職場における障害への理解と配慮があること」が 38.5%となっています。



(9) 医療について

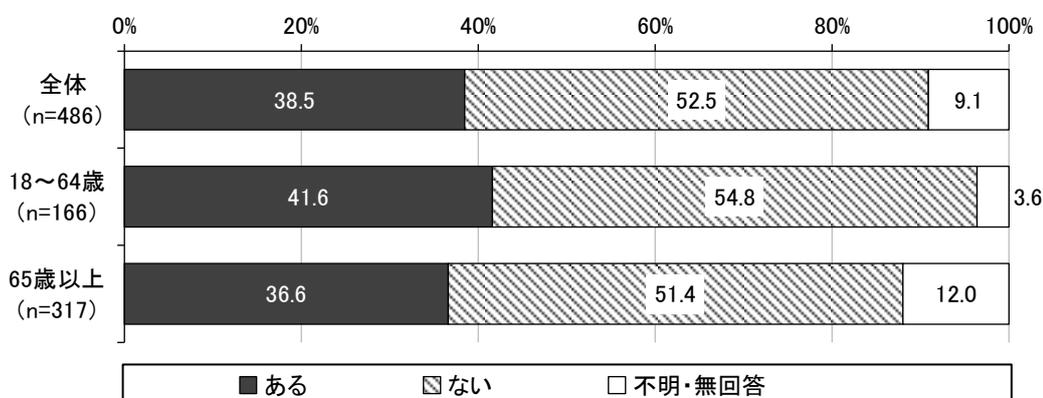
問 42 病院に行ったり、医療を受けるときに、困っていることはありますか。(○は1つ)

全体では、「ない」が 52.5%と、「ある」の 38.5%を上回っています。



### 【問 42 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18-64歳では「ない」が54.8%、「ある」が41.6%となっています。65歳以上では「ない」が51.4%と最も高く、次いで「ある」が36.6%となっています。

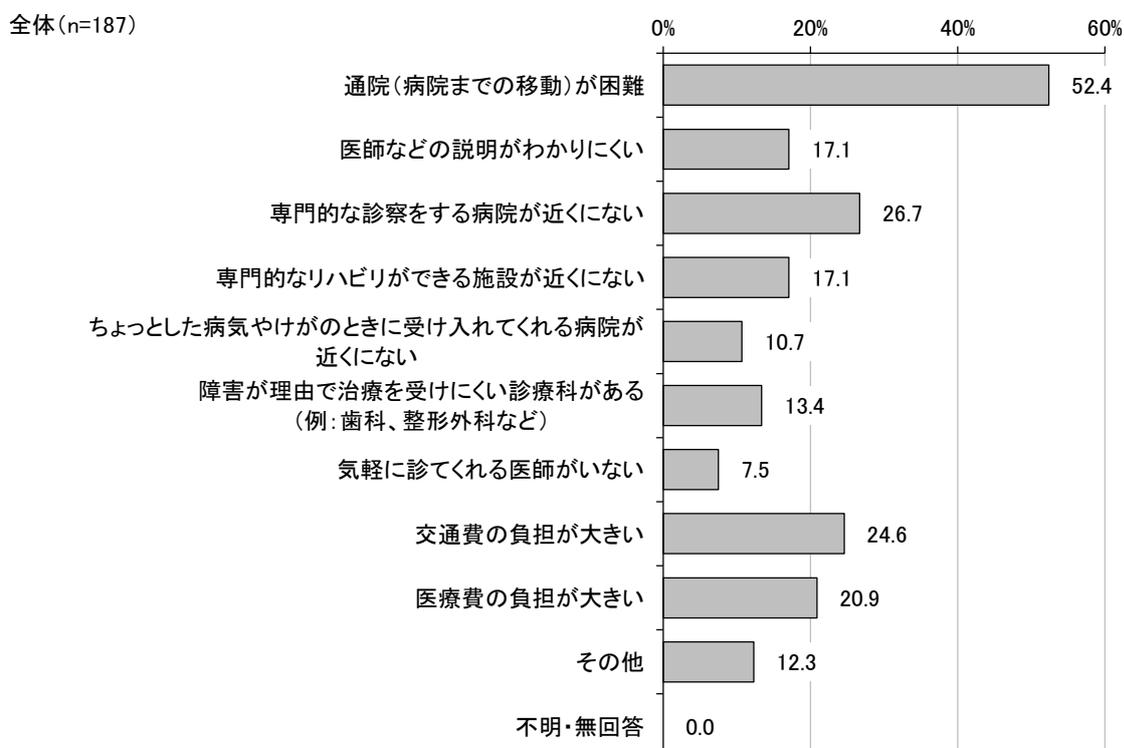


### 問 42 で「ある」を選んだ方

問 43 病院に行ったり、医療を受ける際の困りごとについて、具体的に教えてください。

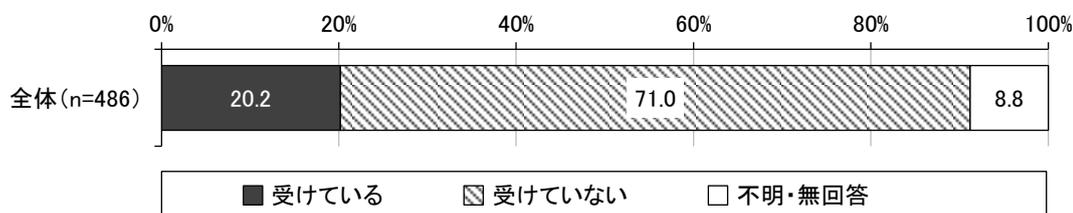
(あてはまるものすべてに○)

全体では、「通院（病院までの移動）が困難」が52.4%と最も高く、次いで「専門的な診察をする病院が近くにない」が26.7%、「交通費の負担が大きい」が24.6%となっています。



問 44 あなたは現在、医療的ケアを受けていますか。(○は1つ)

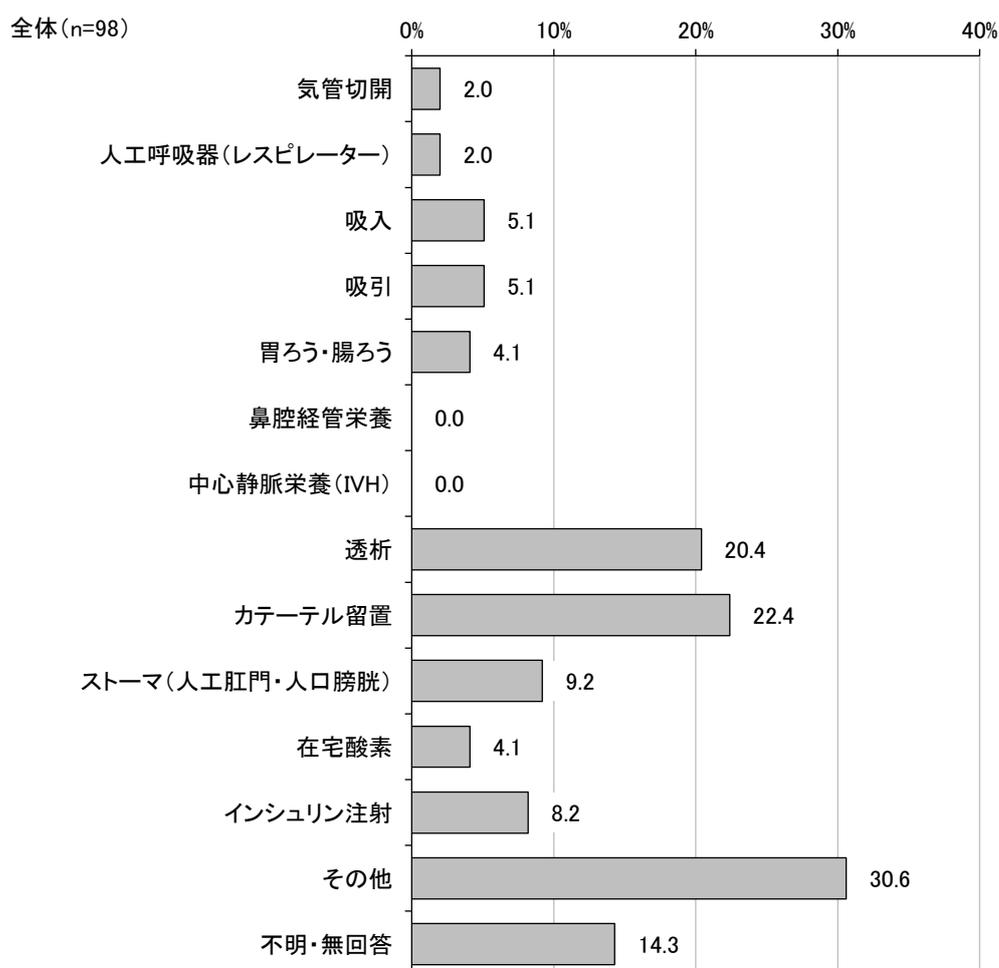
全体では、「受けていない」が71.0%と、「受けている」の20.2%を上回っています。



問 44 で「受けている」を選んだ方

問 45 あなたは現在、どのような医療的ケアを受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

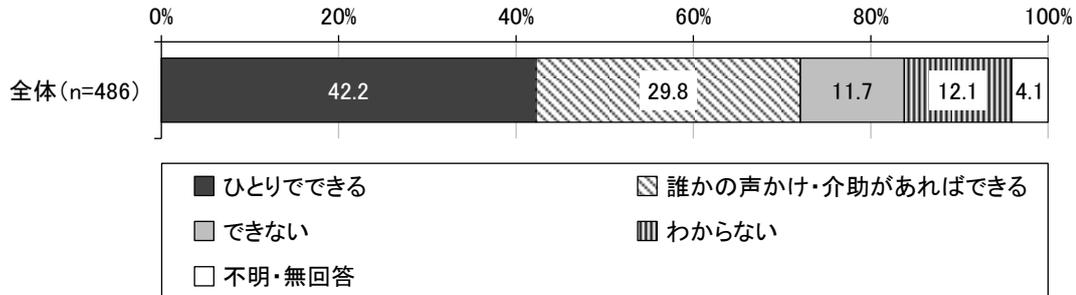
全体では、「その他」が30.6%と最も高く、次いで「カテーテル留置」が22.4%、「透析」が20.4%となっています。



## (10) 緊急時の対応について

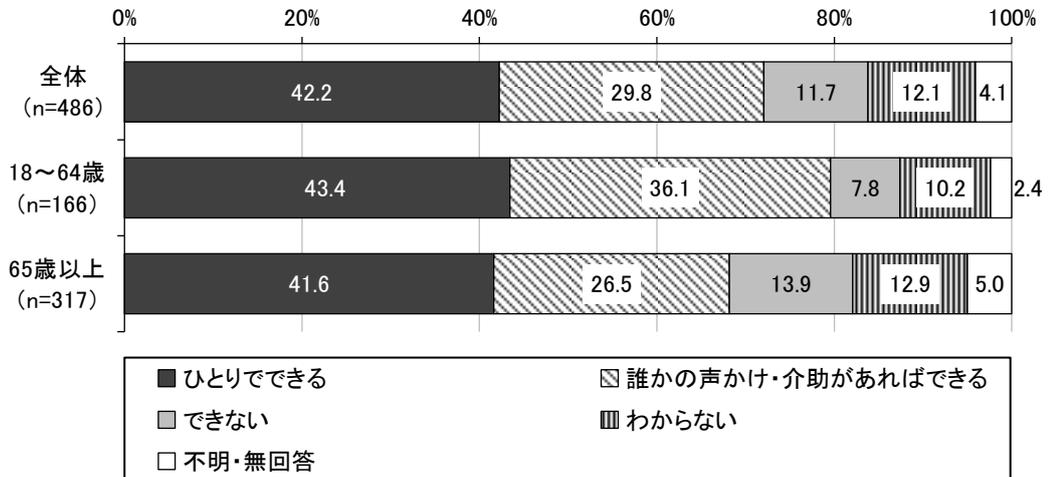
問 46 あなたは、火事や台風、地震などの災害時に避難できますか。(○は1つ)

全体では、「ひとりでできる」が42.2%と最も高く、次いで「誰かの声かけ・介助があればできる」が29.8%、「わからない」が12.1%となっています。



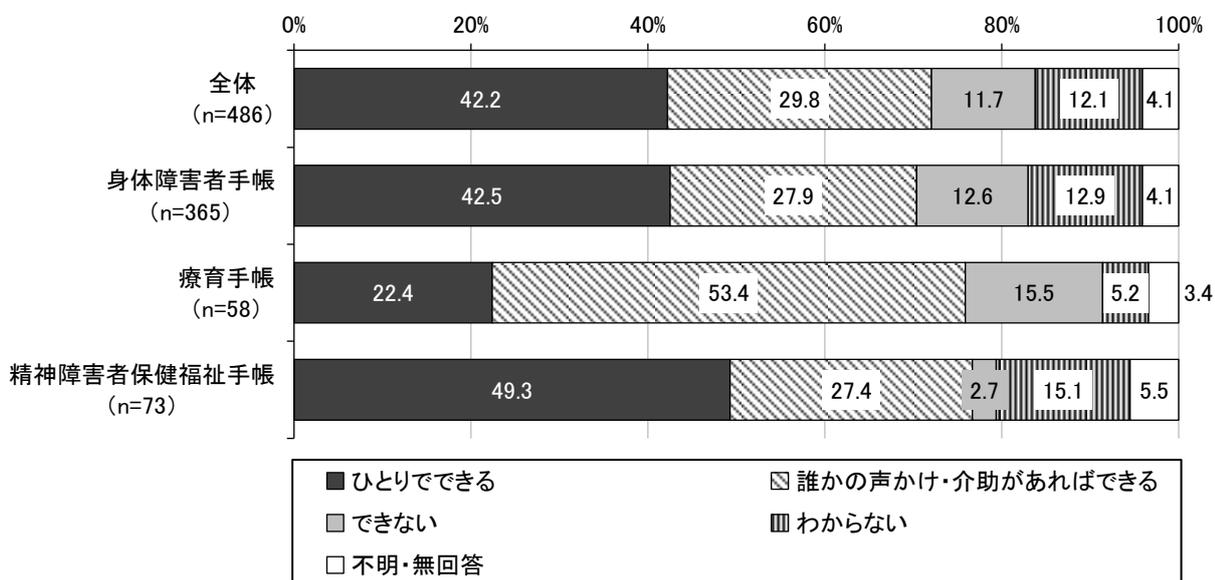
### 【問 46 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18-64歳では「ひとりでできる」が43.4%と最も高く、次いで「誰かの声かけ・介助があればできる」が36.1%となっています。65歳以上では「ひとりでできる」が41.6%と最も高く、次いで「誰かの声かけ・介助があればできる」が26.5%となっています。



### 【問 46 の手帳種別による集計結果】

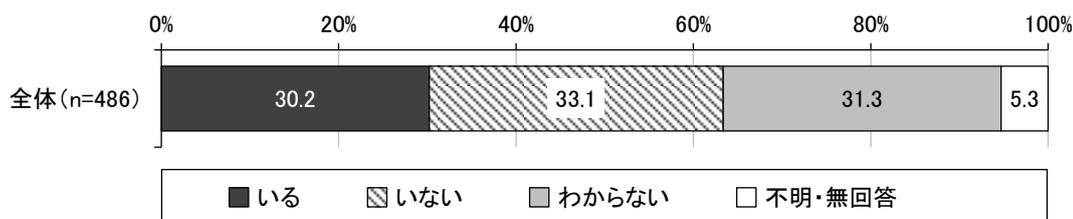
手帳種別にみると、療育手帳所持者では「ひとりでできる」が 22.4%と、他の手帳所持者と比較して低くなっています。また、「誰かの声かけ・介助があればできる」と回答される方が 53.4%と他の手帳所持者と比較して高くなっています。



問 47 家族が不在の場合やひとり暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。

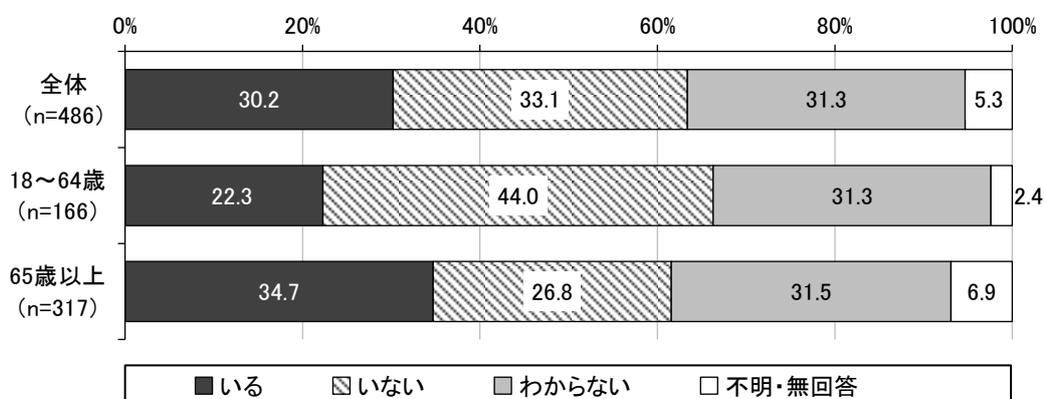
(○は1つ)

全体では、「いない」が 33.1%と最も高く、次いで「わからない」が 31.3%、「いる」が 30.2%となっています。



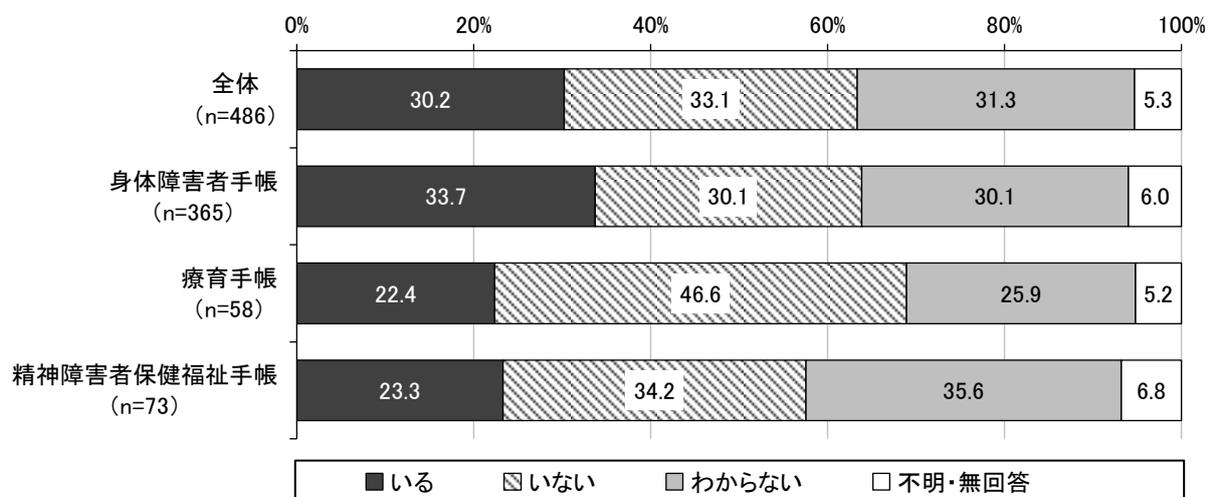
### 【問 47 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18-64歳では「いない」が44.0%と最も高く、次いで「わからない」が31.3%となっています。65歳以上では「いる」が34.7%と最も高く、次いで「わからない」が31.5%となっています。



### 【問 47 の手帳種別による集計結果】

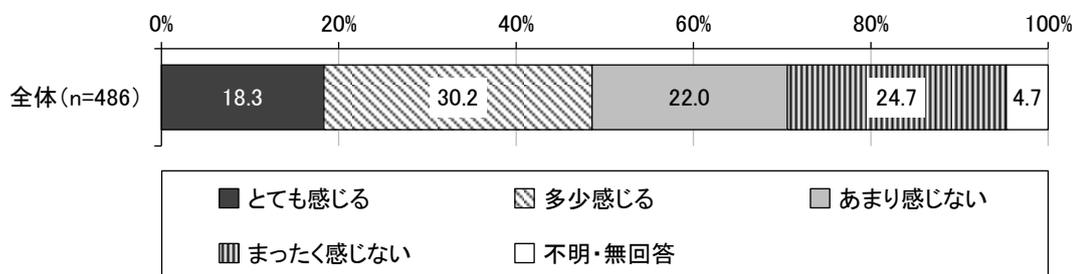
手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者では「いる」が33.7%と他の手帳所持者と比較して高くなっています。療育手帳所持者では「いない」が他の手帳所持者と比較して高くなっています。



問 48 あなたは、自身の障害を理由として、避難所へ避難することにためらいを感じますか。

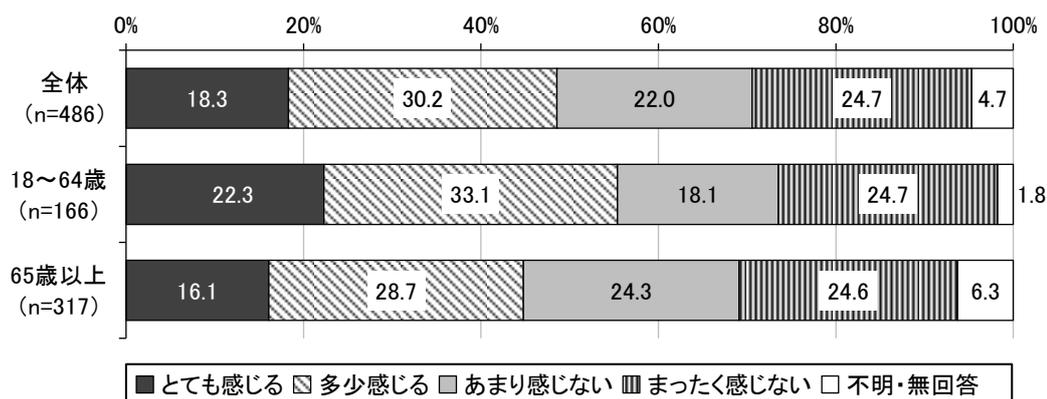
(○は1つ)

全体では、「多少感じる」が30.2%と最も高く、次いで「まったく感じない」が24.7%、「あまり感じない」が22.0%となっています。



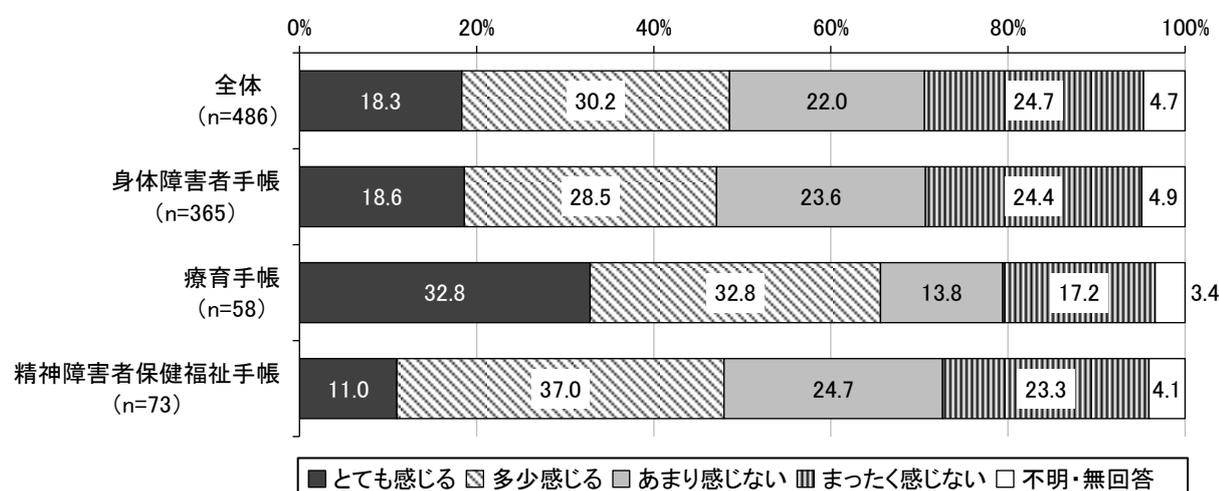
### 【問 48 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18-64歳では「多少感じる」が33.1%と最も高く、次いで「まったく感じない」が24.7%となっています。65歳以上では「多少感じる」が28.7%と最も高く、次いで「まったく感じない」が24.6%となっています。



### 【問 48 の手帳種別による集計結果】

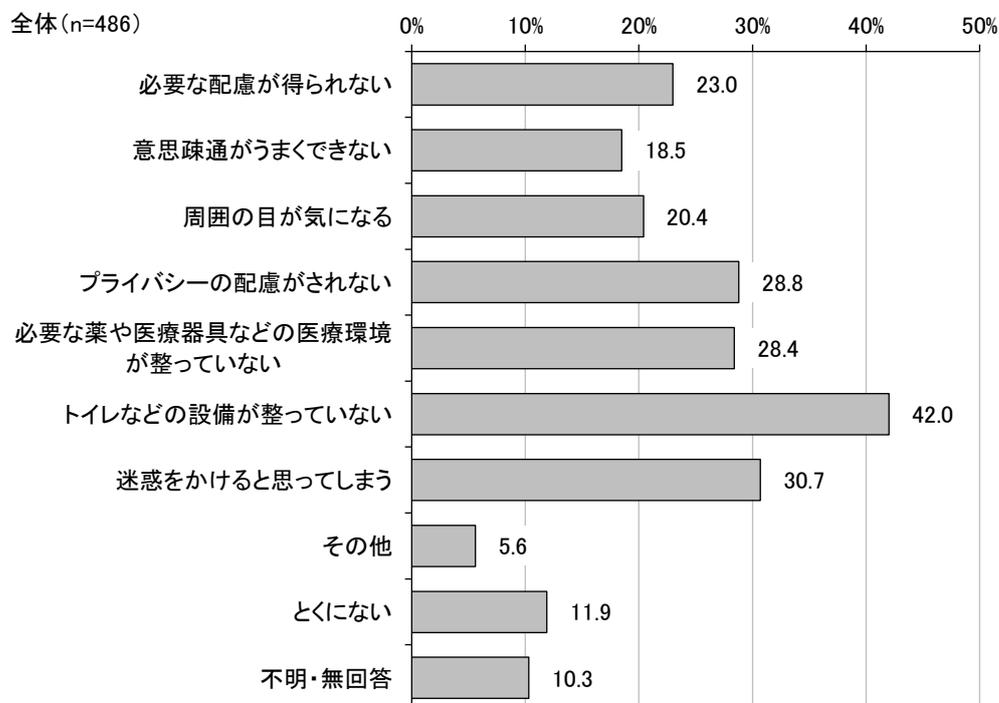
手帳種別にみると、療育手帳所持者では「とても感じる」が32.8%と他の手帳所持者と比較して高くなっています。



問 49 あなたが、避難所で過ごす場合に不安に感じることについて教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

全体では、「トイレなどの設備が整っていない」が 42.0%と最も高く、次いで「迷惑をかけると思ってしまう」が 30.7%、「プライバシーの配慮がされない」が 28.8%となっています。



【問 49 の手帳種別による集計結果】

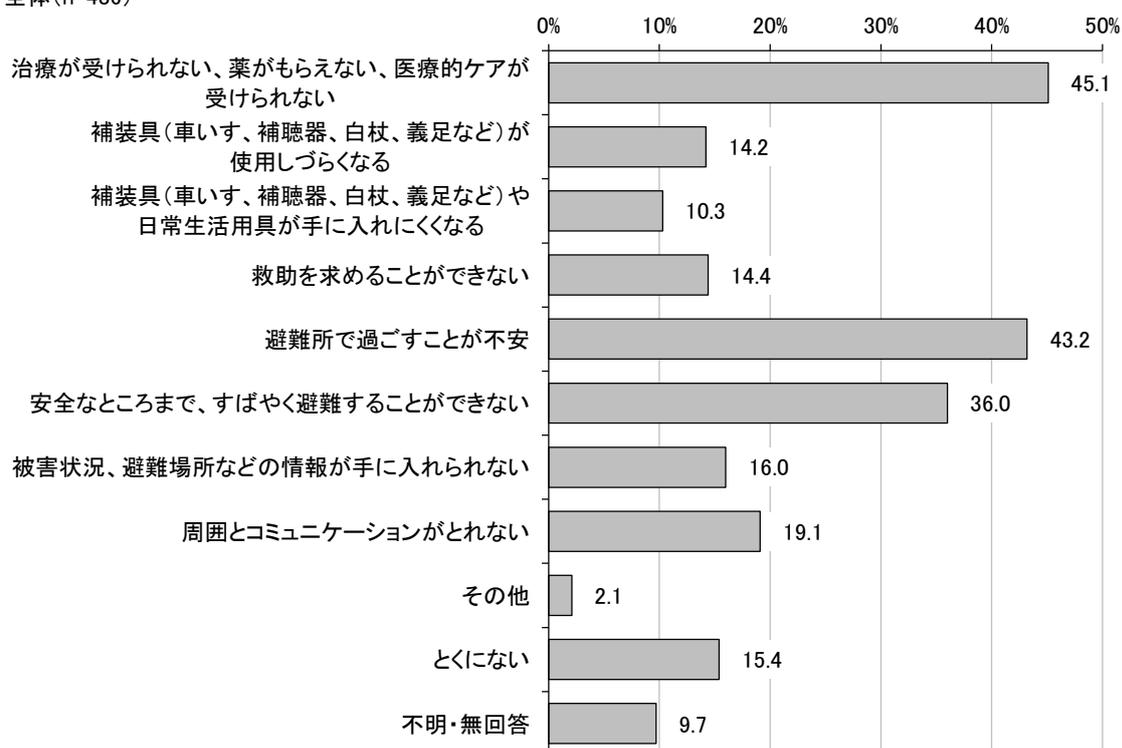
手帳種別にみると、療育手帳所持者では「意思疎通がうまくできない」「迷惑をかけると思ってしまう」が他の手帳所持者と比較して高くなっています。

	件数	必要な配慮が得られない	意思疎通がうまくできない	周囲の目が気になる	プライバシーの配慮がされない	必要な薬や医療器具などの医療環境が整っていない	トイレなどの設備が整っていない	迷惑をかけると思ってしまう
	割合 (%)							
全体	486	112	90	99	140	138	204	149
	100.0	23.0	18.5	20.4	28.8	28.4	42.0	30.7
身体障害者手帳	365	79	45	60	100	105	167	109
	100.0	21.6	12.3	16.4	27.4	28.8	45.8	29.9
療育手帳	58	22	33	19	16	11	16	29
	100.0	37.9	56.9	32.8	27.6	19.0	27.6	50.0
精神障害者保健福祉手帳	73	15	16	24	26	21	19	17
	100.0	20.5	21.9	32.9	35.6	28.8	26.0	23.3
	その他	とくにない	不明・無回答					
全体	27	58	50					
	5.6	11.9	10.3					
身体障害者手帳	21	43	41					
	5.8	11.8	11.2					
療育手帳	4	7	2					
	6.9	12.1	3.4					
精神障害者保健福祉手帳	3	9	8					
	4.1	12.3	11.0					

問 50 火事や台風、地震などが起こったとき、障害があることで困ること、心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない」が 45.1%と最も高く、次いで「避難所で過ごすことが不安」が 43.2%、「安全なところまで、すばやく避難することができない」が 36.0%となっています。

全体 (n=486)



### 【問 50 の手帳種別による集計結果】

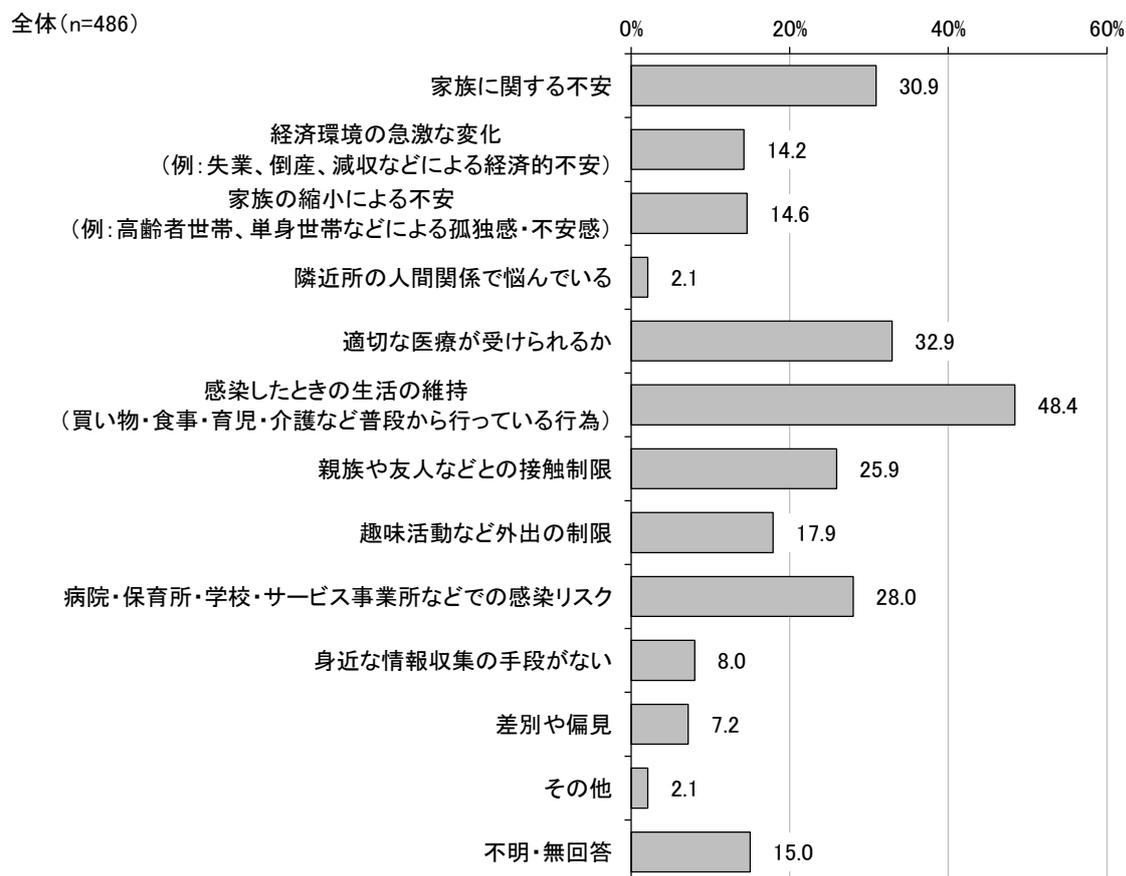
手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない」が 45.8%、45.2%とそれぞれ最も高く、療育手帳所持者では「避難所で過ごすことが不安」が 62.1%と最も高くなっています。

	件数	治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない	補装具(車いす、補聴器、白杖、義足など)が使用しづらくなる	補装具(車いす、補聴器、白杖、義足など)や日常生活用具が手に入りにくくなる	救助を求めることができない	避難所で過ごすことが不安	安全なところまで、すばやく避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が手に入れない
	割合(%)							
全体	486	219	69	50	70	210	175	78
	100.0	45.1	14.2	10.3	14.4	43.2	36.0	16.0
身体障害者手帳	365	167	63	46	47	150	146	58
	100.0	45.8	17.3	12.6	12.9	41.1	40.0	15.9
療育手帳	58	22	5	2	23	36	26	13
	100.0	37.9	8.6	3.4	39.7	62.1	44.8	22.4
精神障害者保健福祉手帳	73	33	2	1	7	31	9	9
	100.0	45.2	2.7	1.4	9.6	42.5	12.3	12.3
	周囲とコミュニケーションがとれない	その他	とくにない	不明・無回答				
全体	93	10	75	47				
	19.1	2.1	15.4	9.7				
身体障害者手帳	49	3	55	40				
	13.4	0.8	15.1	11.0				
療育手帳	31	3	7	2				
	53.4	5.2	12.1	3.4				
精神障害者保健福祉手帳	19	5	14	4				
	26.0	6.8	19.2	5.5				

問 51 新型コロナウイルスの影響によって、あなたが生活のなかで不安に感じることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

全体では、「感染したときの生活の維持（買い物・食事・育児・介護など普段から行っている行為）」が48.4%と最も高く、次いで「適切な医療が受けられるか」が32.9%、「家族に関する不安」が30.9%となっています。

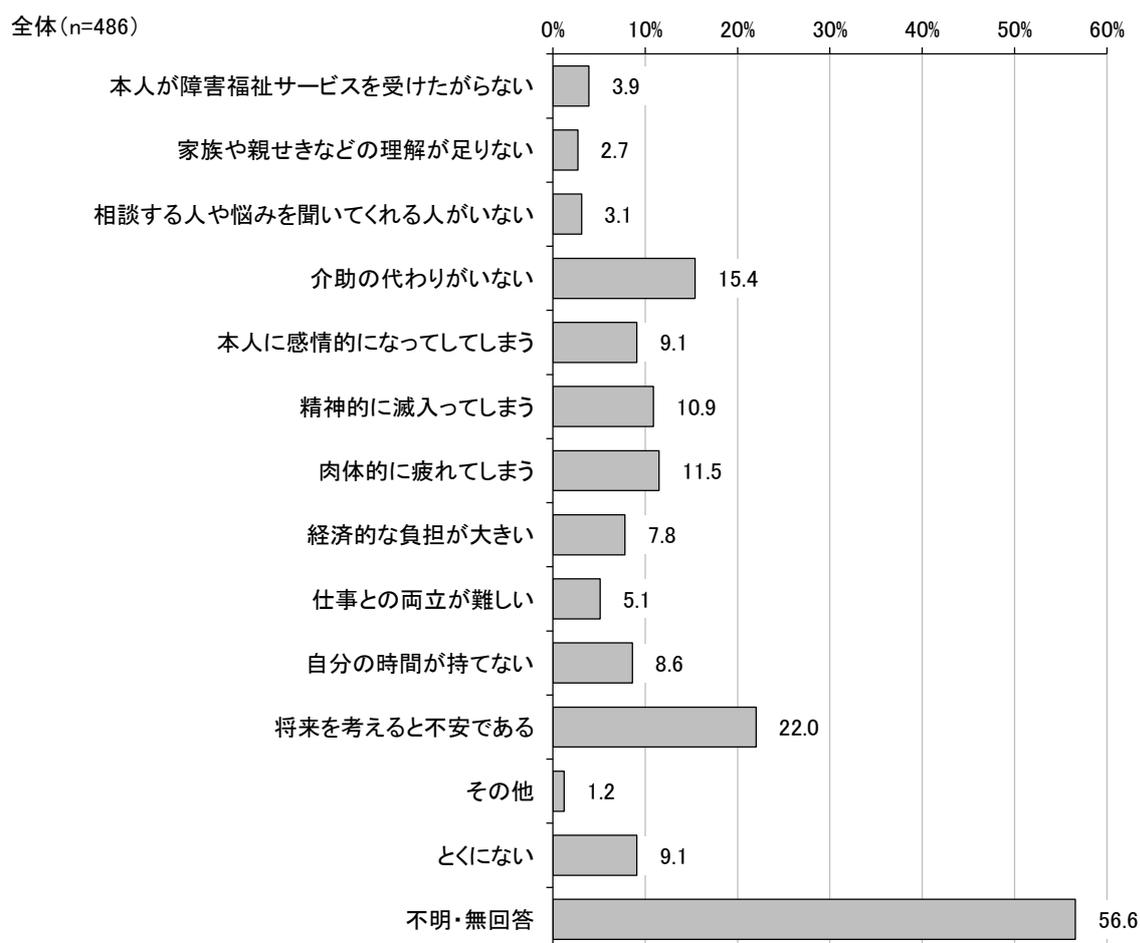


## (11) 障害のある方を「主に介助する人」について

問 52 「主に介助する人」が、困っていることについて教えてください。

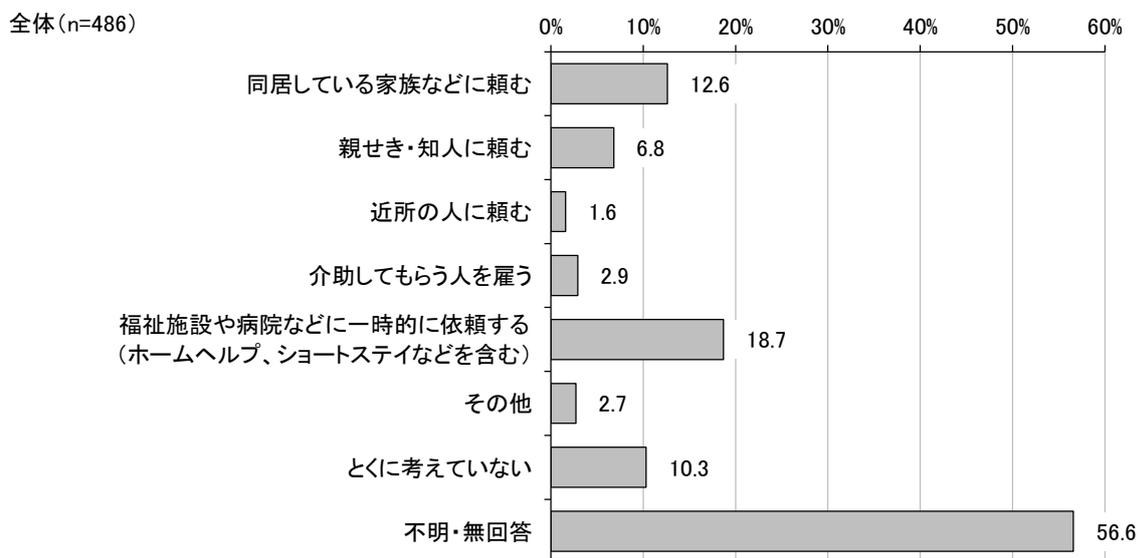
(あてはまるものすべてに○)

全体では、「将来を考えると不安である」が 22.0%と最も高く、次いで「介助の代わりにがない」が 15.4%、「肉体的に疲れてしまう」が 11.5%となっています。



問 53 「主に介助する人」が、急病・出産・冠婚葬祭などのため一時的に介助ができなくなった場合、どうすることになっていますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「福祉施設や病院などに一時的に依頼する（ホームヘルプ、ショートステイなどを含む）」が 18.7%と最も高く、次いで「同居している家族などに頼む」が 12.6%、「とくに考えていない」が 10.3%となっています。



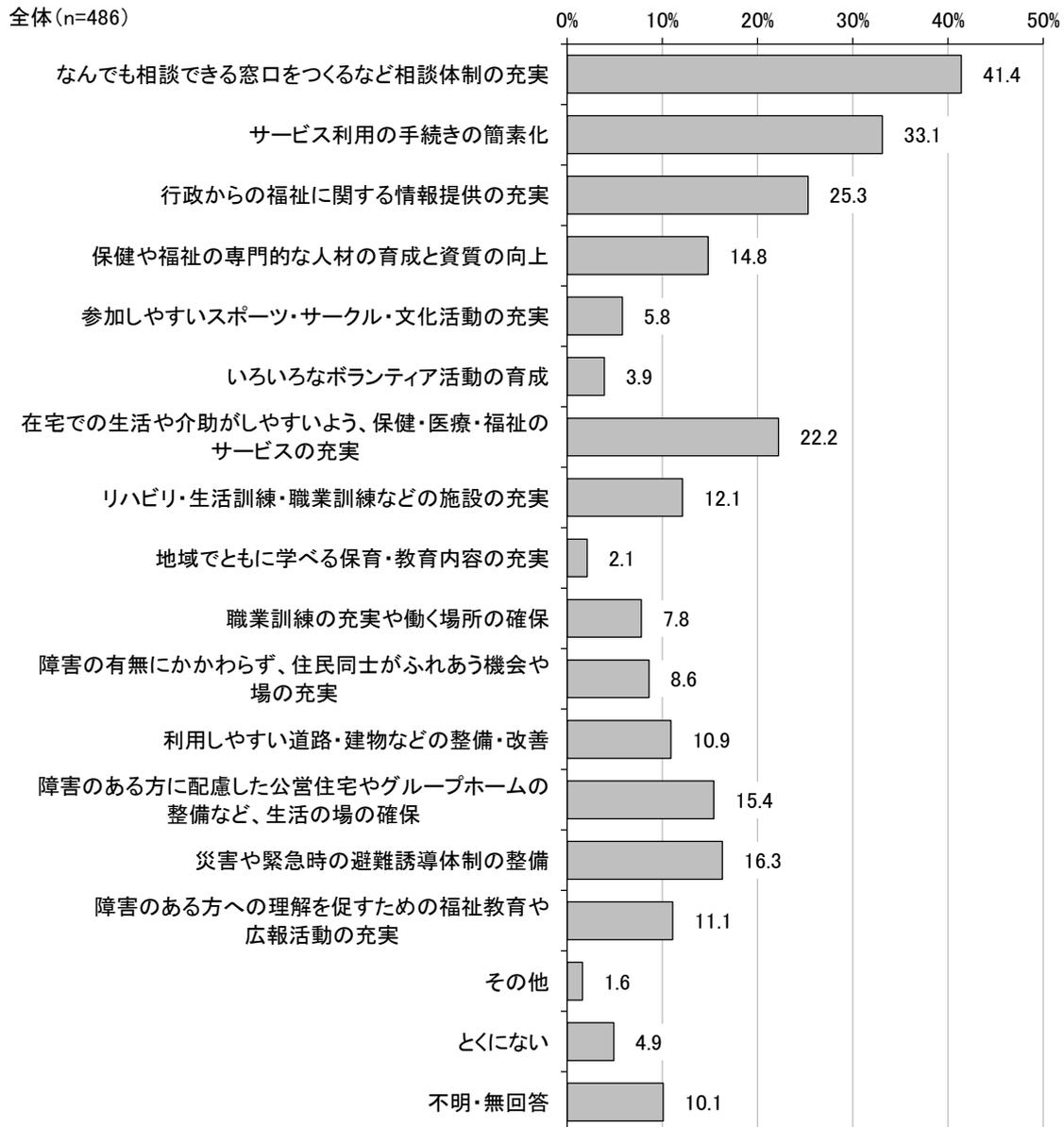
問 54 障害福祉サービスや行政の取り組みについて、主に介助する人から何かご意見がありましたら、下の枠内に具体的にお書きください。

※自由回答の為、省略。

## (12) 障害福祉施策全般について

問 55 今後の障害福祉施策を進めるために、とくに力を入れるべきことは何だと思えますか。(〇は3つまで)

全体では、「なんでも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が41.4%と最も高く、次いで「サービス利用の手続きの簡素化」が33.1%、「行政からの福祉に関する情報提供の充実」が25.3%となっています。



【問 55 の年齢別による集計結果】

年齢別にみると、18-64歳では「なんでも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が39.2%と最も高く、次いで「サービス利用の手続きの簡素化」が33.1%となっています。65歳以上では「なんでも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が42.6%と最も高く、次いで「サービス利用の手続きの簡素化」が32.8%となっています。

	件数	なんでも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実	サービス利用の手続きの簡素化	行政からの福祉に関する情報提供の充実	保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上	参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実	いろいろなボランティア活動の育成	在宅での生活や介助がしやすいよう、保健・医療・福祉のサービスの充実
	割合 (%)							
全体	486	201	161	123	72	28	19	108
	100.0	41.4	33.1	25.3	14.8	5.8	3.9	22.2
18-64歳	166	65	55	48	30	14	6	18
	100.0	39.2	33.1	28.9	18.1	8.4	3.6	10.8
65歳以上	317	135	104	74	42	14	13	88
	100.0	42.6	32.8	23.3	13.2	4.4	4.1	27.8
	リハビリ・生活訓練・職業訓練などの施設の充実	地域でともに学べる保育・教育内容の充実	職業訓練の充実や働く場所の確保	障害の有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実	利用しやすい道路・建物などの整備・改善	障害のある方に配慮した公営住宅やグループホームの整備など、生活の場の確保	災害や緊急時の避難誘導體制の整備	障害のある方への理解を促すための福祉教育や広報活動の充実
	全体	59	10	38	42	53	75	79
	12.1	2.1	7.8	8.6	10.9	15.4	16.3	11.1
18-64歳	21	7	31	12	15	33	16	28
	12.7	4.2	18.7	7.2	9.0	19.9	9.6	16.9
65歳以上	38	3	6	30	38	41	63	25
	12.0	0.9	1.9	9.5	12.0	12.9	19.9	7.9
	その他	とくにない	不明・無回答					
	全体	8	24	49				
	1.6	4.9	10.1					
18-64歳	5	9	13					
	3.0	5.4	7.8					
65歳以上	3	15	36					
	0.9	4.7	11.4					

## 【問 55 の手帳種別による集計結果】

手帳種別でみると、いずれの手帳所持者も「なんでも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が最も高くなっています。身体障害者手帳所持者では次いで「サービス利用の手続きの簡素化」、療育手帳所持者では次いで「障害のある方に配慮した公営住宅やグループホームの整備など、生活の場の確保」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「行政からの福祉に関する情報提供の充実」となっています。

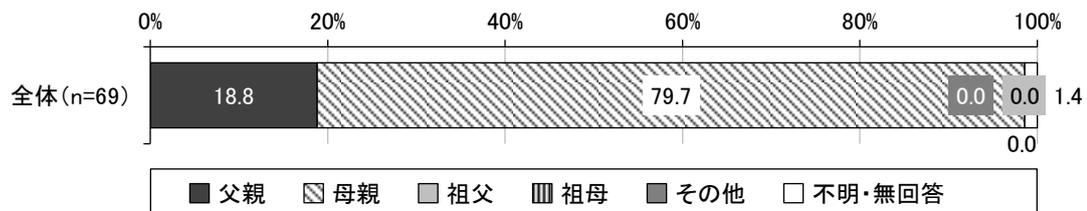
	件数	なんでも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実	サービス利用の手続きの簡素化	行政からの福祉に関する情報提供の充実	保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上	参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実	いろいろなボランティア活動の育成	在宅での生活や介助がしやすいよう、保健・医療・福祉のサービスの充実	
	割合(%)								
全体	486	201	161	123	72	28	19	108	
	100.0	41.4	33.1	25.3	14.8	5.8	3.9	22.2	
身体障害者手帳	365	147	128	87	51	18	13	92	
	100.0	40.3	35.1	23.8	14.0	4.9	3.6	25.2	
療育手帳	58	26	18	17	9	3	2	8	
	100.0	44.8	31.0	29.3	15.5	5.2	3.4	13.8	
精神障害者保健福祉手帳	73	34	25	26	14	7	3	5	
	100.0	46.6	34.2	35.6	19.2	9.6	4.1	6.8	
		リハビリ・生活訓練・職業訓練などの施設の充実	地域でともに学べる保育・教育内容の充実	職業訓練の充実や働く場所の確保	障害の有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実	利用しやすい道路・建物などの整備・改善	障害のある方に配慮した公営住宅やグループホームの整備など、生活の場の確保	災害や緊急時の避難誘導体制の整備	障害のある方への理解を促すための福祉教育や広報活動の充実
全体	59	10	38	42	53	75	79	54	
	12.1	2.1	7.8	8.6	10.9	15.4	16.3	11.1	
身体障害者手帳	43	5	10	33	42	49	66	32	
	11.8	1.4	2.7	9.0	11.5	13.4	18.1	8.8	
療育手帳	5	4	6	4	9	22	7	12	
	8.6	6.9	10.3	6.9	15.5	37.9	12.1	20.7	
精神障害者保健福祉手帳	10	1	22	8	6	7	2	13	
	13.7	1.4	30.1	11.0	8.2	9.6	2.7	17.8	
	その他	とくにない	不明・無回答						
全体	8	24	49						
	1.6	4.9	10.1						
身体障害者手帳	4	17	37						
	1.1	4.7	10.1						
療育手帳	0	2	6						
	0.0	3.4	10.3						
精神障害者保健福祉手帳	3	3	5						
	4.1	4.1	6.8						

## IV 18歳未満のお子さまの保護者対象のアンケート調査結果

### あなた自身について

回答者 今回、アンケートにお答えいただくのは、どなたですか。(〇は1つ)

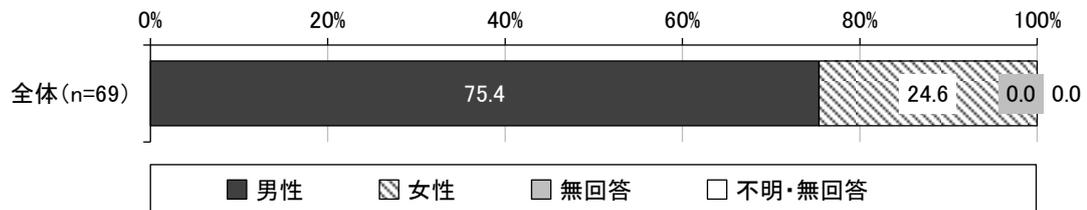
全体では、「母親」が79.7%と最も高く、次いで「父親」が18.8%となっています。



### (1) お子さまの状況について

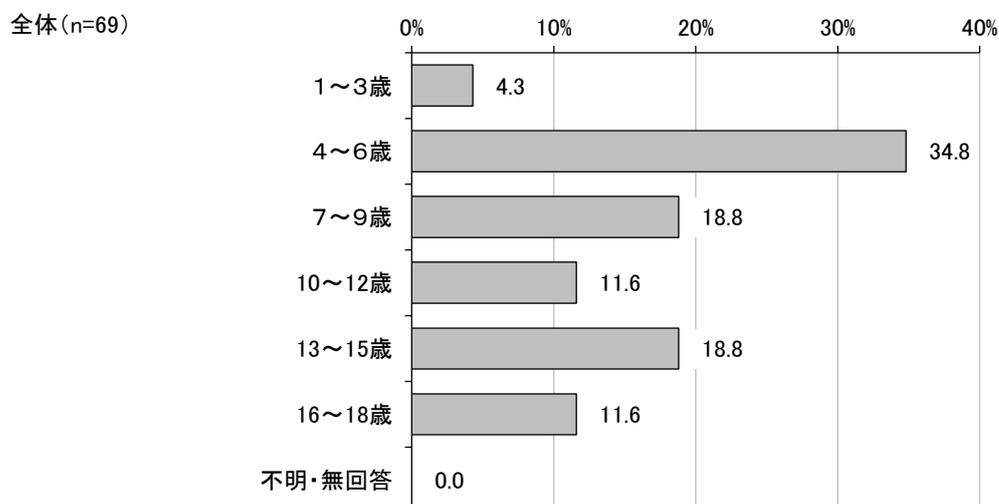
問1 お子さまの性別を教えてください。(〇は1つ)

全体では、「男性」が75.4%と最も高く、次いで「女性」が24.6%となっています。



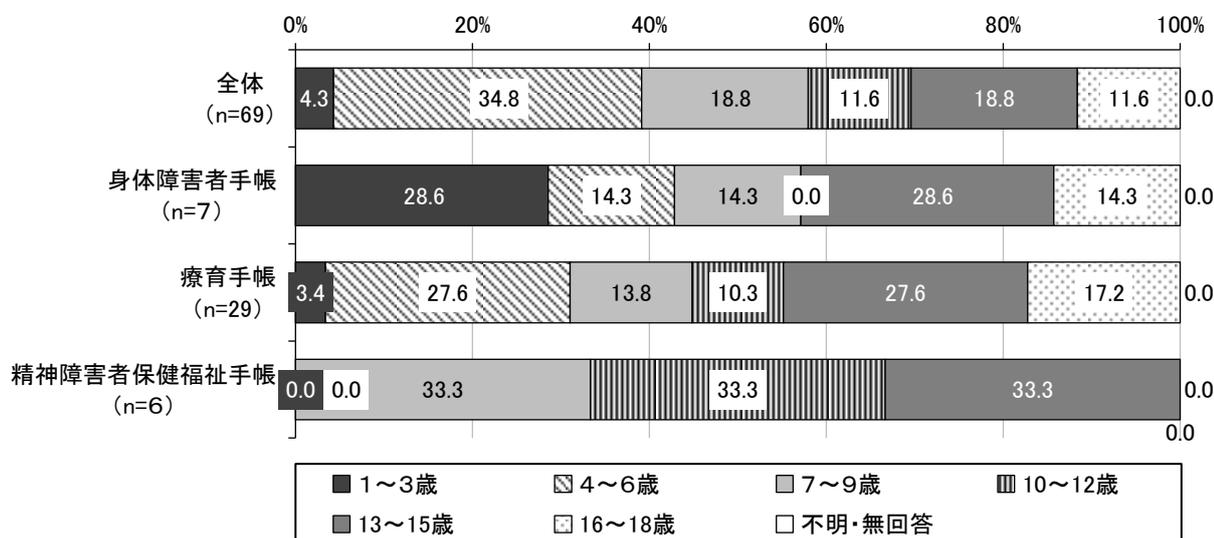
問2 令和4年11月1日現在のお子さまの年齢を教えてください。

全体では、「4～6歳」が34.8%と最も高く、次いで「7～9歳」「13～15歳」が18.8%、「10～12歳」「16～18歳」が11.6%となっています。



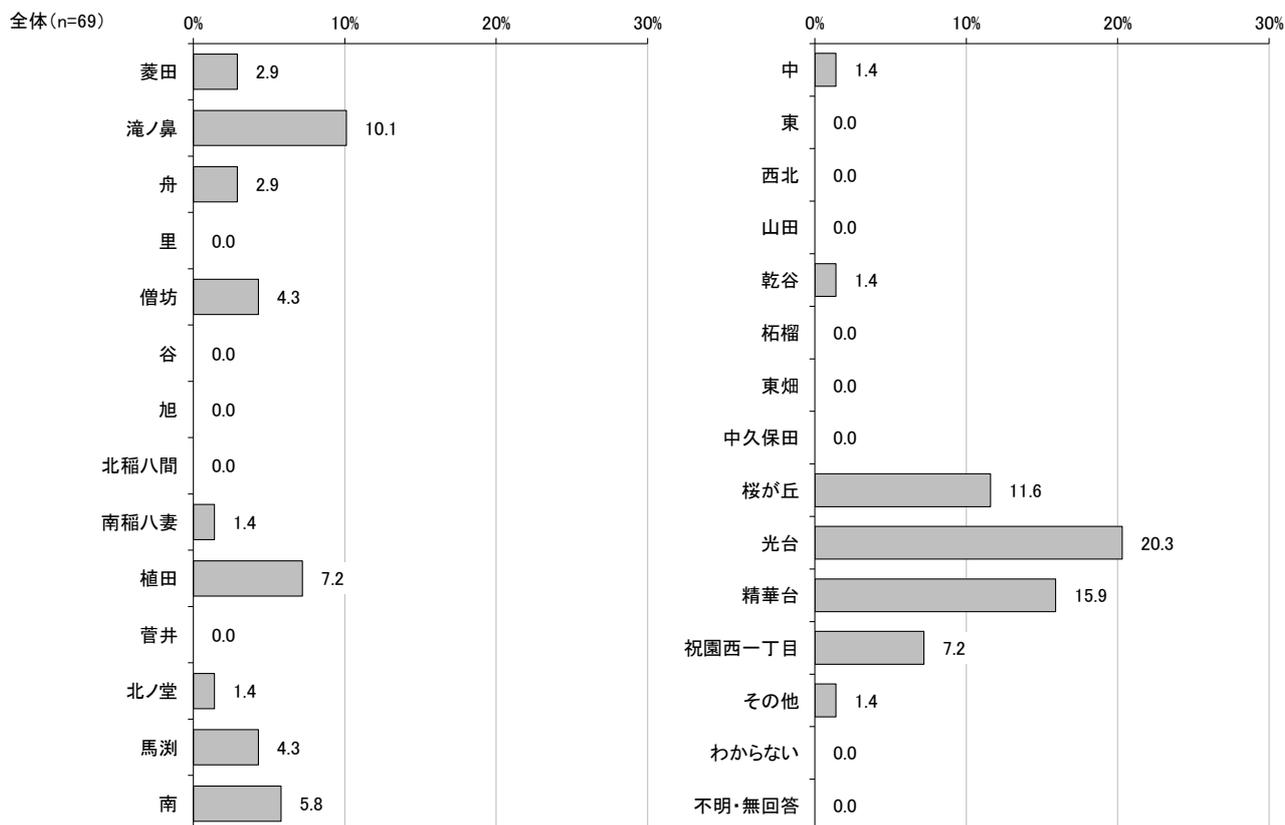
### 【問2の手帳種別による集計結果】

手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者では「1～3歳」「13～15歳」が28.6%と最も高くなっています。療育手帳所持者では「4～6歳」「13～15歳」が27.6%と最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳所持者では「7～9歳」「10～12歳」「13～15歳」が33.3%と最も高くなっています。



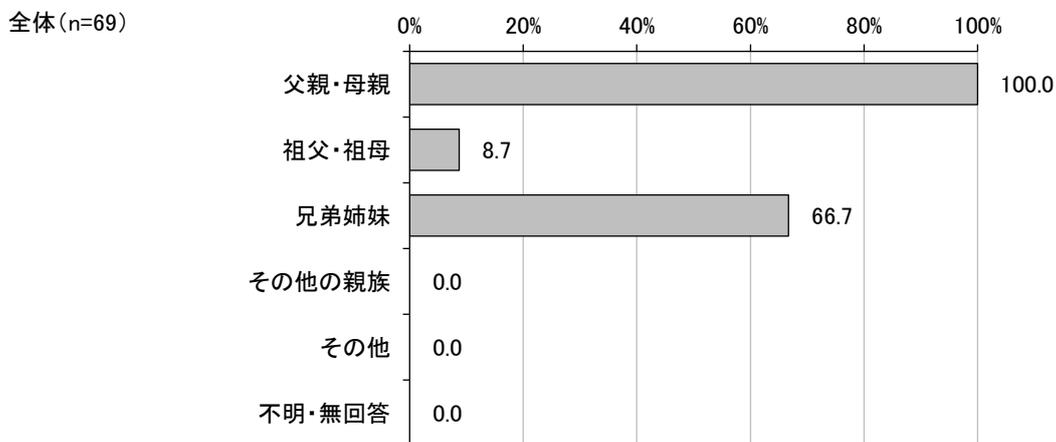
### 問3 お子さまが、お住まいの地区はどちらですか。(○は1つ)

全体では、「光台」が20.3%と最も高く、次いで「精華台」が15.9%、「桜が丘」が11.6%となっています。



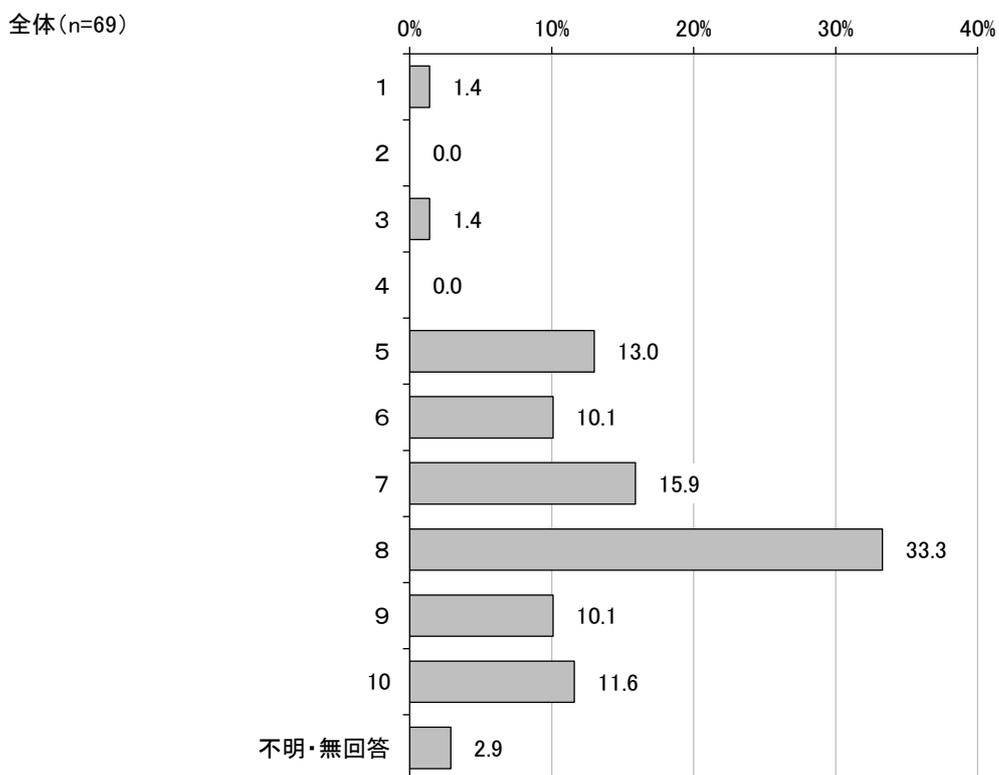
問4 お子さまは、現在どなたといっしょに暮らしていますか。お子さまからみた関係性でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「父親・母親」が100.0%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」が66.7%、「祖父・祖母」が8.7%となっています。



問5 お子さまは、現在の生活についてどの程度、満足していると思われますか。1（不満）から10（満足）の10段階でお答えください。(あてはまる数字1つに○)

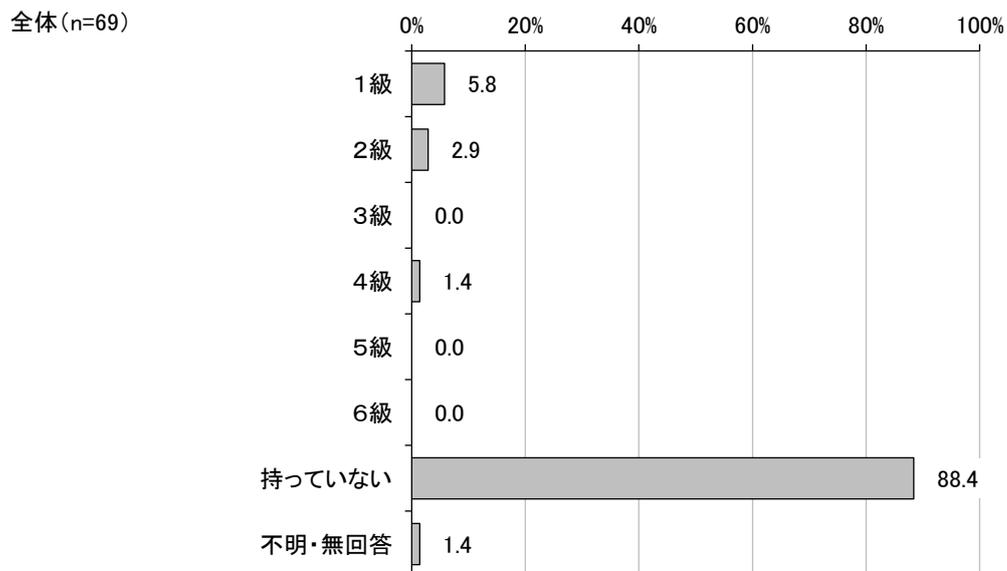
全体では、「8」が33.3%と最も高く、次いで「7」が15.9%、「5」が13.0%となっています。



## (2) お子さまの障害について

問6 お子さまは身体障害者手帳をお持ちですか。お持ちの場合、手帳の程度を教えてください。  
(〇は1つ)

全体では、「持っていない」が88.4%と最も高く、次いで「1級」が5.8%、「2級」が2.9%となっています。

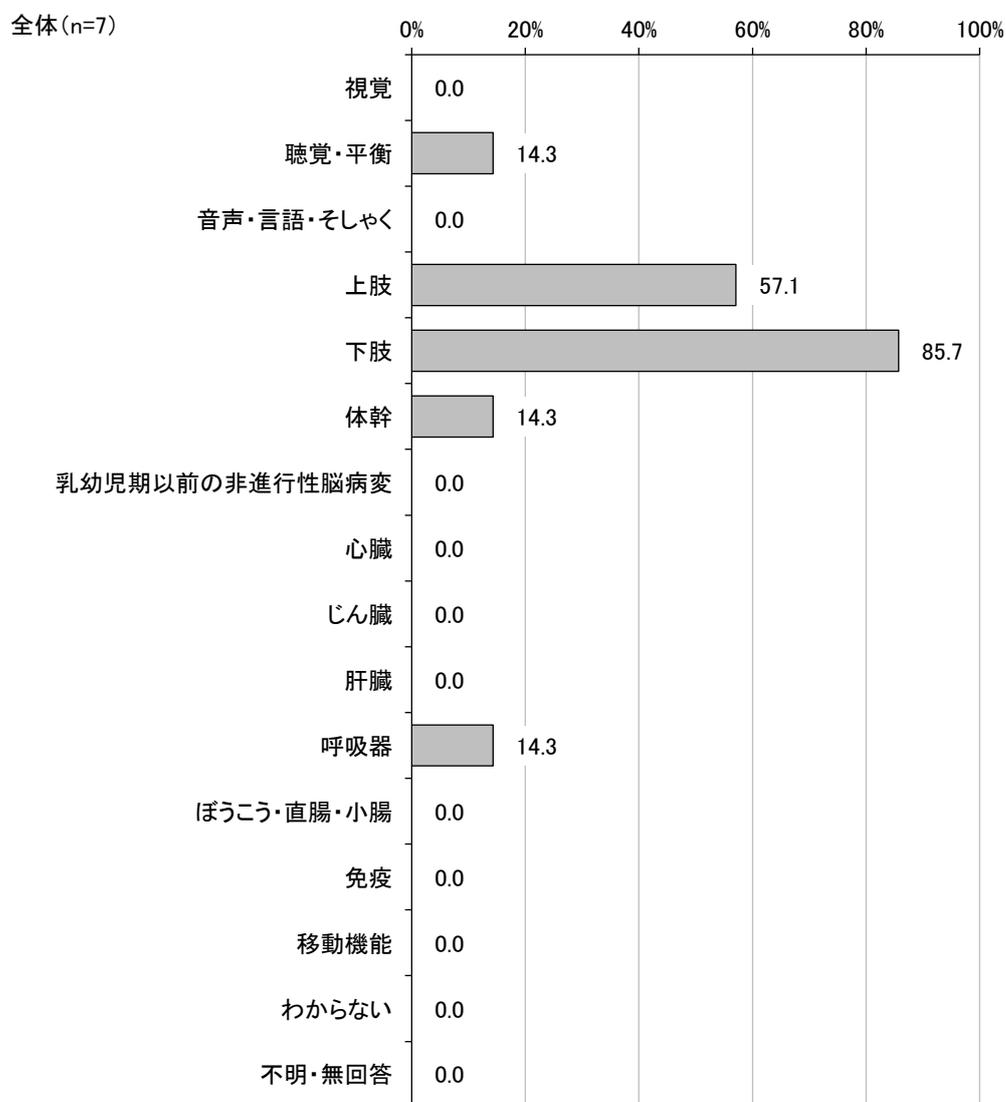


問6で、お子さまがいずれかの手帳をお持ちの方

問7 身体障害者手帳に記載されている障害の部位をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

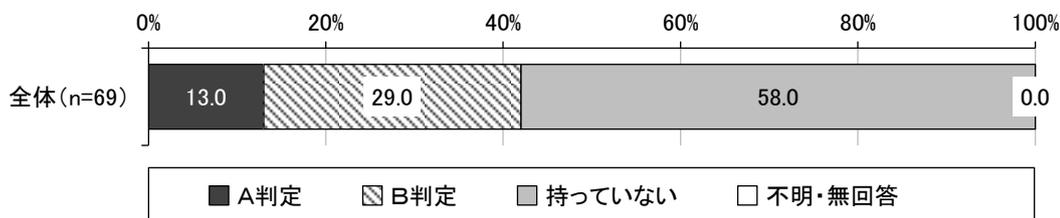
全体では、「下肢」が85.7%、「上肢」が57.1%、「聴覚・平衡」「体幹」「呼吸器」が14.3%となっています。



問8 お子さまは療育手帳をお持ちですか。お持ちの場合、手帳の程度を教えてください。

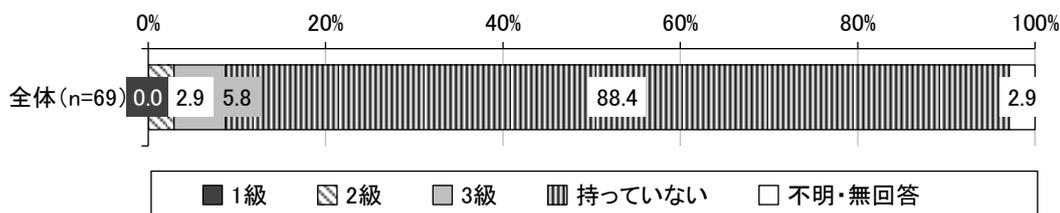
(○は1つ)

全体では、「持っていない」が58.0%と最も高く、次いで「B判定」が29.0%、「A判定」が13.0%となっています。



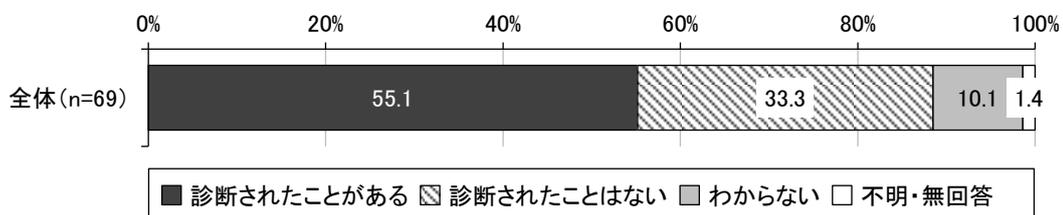
問9 お子さまは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。お持ちの場合、手帳の程度を教えてください。(○は1つ)

全体では、「持っていない」が88.4%と最も高く、次いで「3級」が5.8%、「2級」が2.9%となっています。



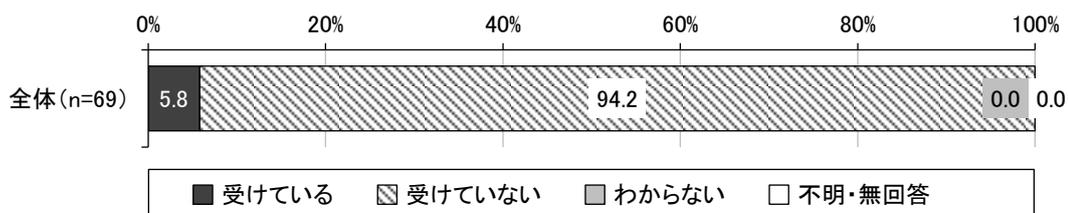
問10 お子さまは発達障害として診断されたことがありますか。(〇は1つ)

全体では、「診断されたことがある」が55.1%と最も高く、次いで「診断されたことはない」が33.3%、「わからない」が10.1%となっています。



問11 お子さまは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。(〇は1つ)

全体では、「受けていない」が94.2%と最も高く、次いで「受けている」が5.8%となっています。

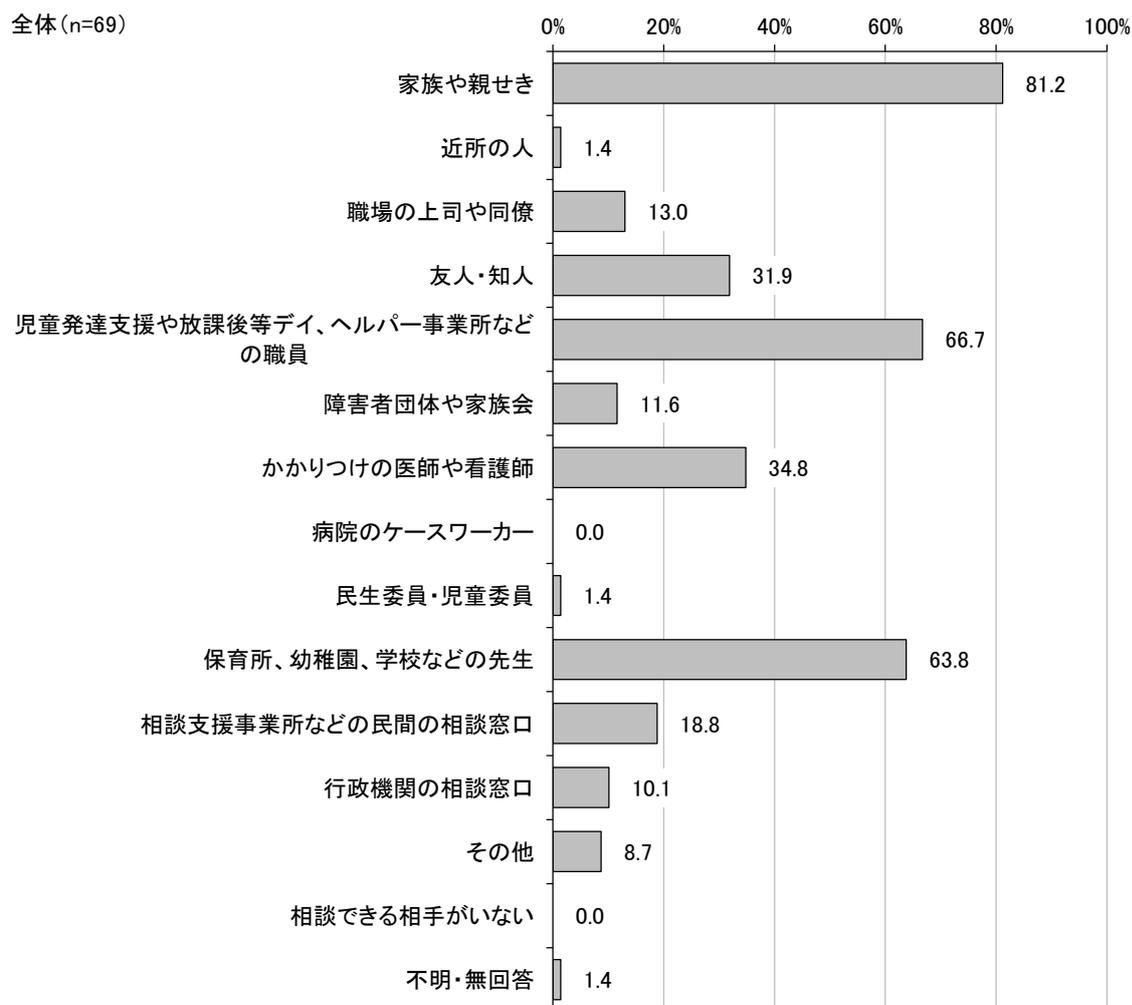


### (3) お子さまの相談について

問 12 あなたやお子さまが困ったときに、誰に相談しますか（しましたか）。

（あてはまるものすべてに○）

全体では、「家族や親せき」が 81.2%と最も高く、次いで「児童発達支援や放課後等デイ、ヘルパー事業所などの職員」が 66.7%、「保育所、幼稚園、学校などの先生」が 63.8%となっています。



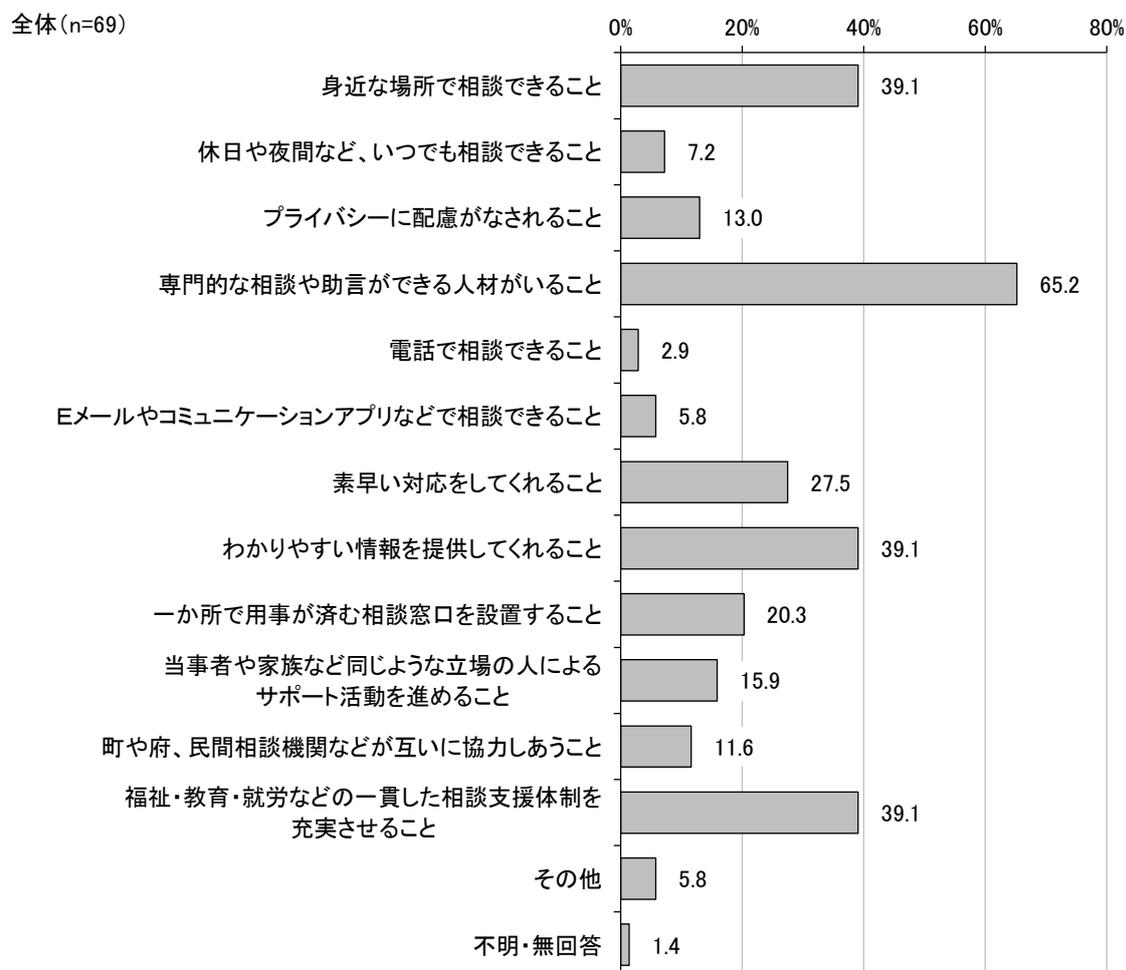
【問 12 の手帳所持別による集計結果】

手帳所持別にみると、どちらも「家族や親せき」が 74.4%、90.0%とそれぞれ最も高く、持っているでは次いで「児童発達支援や放課後等デイ、ヘルパー事業所などの職員」が 61.5%、持っていないでは「保育所、幼稚園、学校などの先生」が 76.7%と高くなっています。

	件数	家族や親せき	近所の人	職場の上司や同僚	友人・知人	児童発達支援や放課後等デイ、ヘルパー事業所などの職員	障害者団体や家族会	かかりつけの医師や看護師
	割合(%)							
全体	69	56	1	9	22	46	8	24
	100.0	81.2	1.4	13.0	31.9	66.7	11.6	34.8
持っている	39	29	0	2	9	24	5	17
	100.0	74.4	0.0	5.1	23.1	61.5	12.8	43.6
持っていない	30	27	1	7	13	22	3	7
	100.0	90.0	3.3	23.3	43.3	73.3	10.0	23.3
	病院のケースワーカー	民生委員・児童委員	保育所、幼稚園、学校などの先生	相談支援事業所などの民間の相談窓口	行政機関の相談窓口	その他	相談できる相手がない	不明・無回答
全体	0	1	44	13	7	6	0	1
	0.0	1.4	63.8	18.8	10.1	8.7	0.0	1.4
持っている	0	1	21	7	4	5	0	1
	0.0	2.6	53.8	17.9	10.3	12.8	0.0	2.6
持っていない	0	0	23	6	3	1	0	0
	0.0	0.0	76.7	20.0	10.0	3.3	0.0	0.0

問 13 障害のある方やご家族への相談支援を充実させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

全体では、「専門的な相談や助言ができる人材がいること」が 65.2%と最も高く、次いで「身近な場所で相談できること」「わかりやすい情報を提供してくれること」「福祉・教育・就労などの一貫した相談支援体制を充実させること」が 39.1%、「素早い対応をしてくれること」が 27.5%となっています。



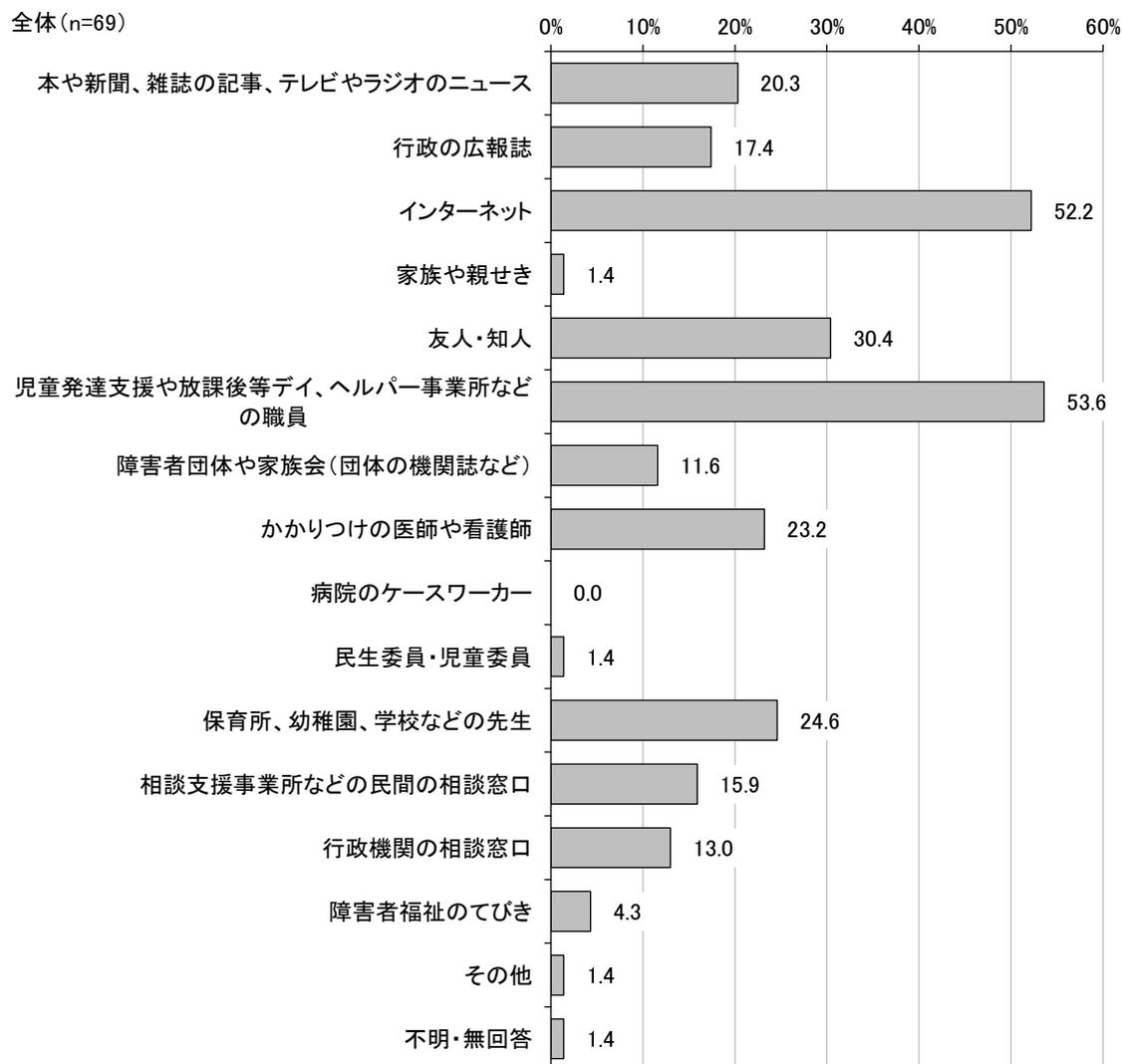
【問 13 の手帳所持別による集計結果】

手帳所持別にみると、どちらも「専門的な相談や助言ができる人材がいること」が 59.0%、73.3%とそれぞれ最も高くなっており、持っているでは、次いで「福祉・教育・就労などの一貫した相談支援体制の充実させること」が 46.2%、持っていないでは「身近な場所で相談できること」「素早い対応をしてくれること」「わかりやすい情報を提供してくれること」が 33.3%と高くなっています。

	件数	身近な場所 で相談 できること	休日や夜 間など、い つでも相談 できること	プライバ シーに配慮 がなされる こと	専門的な 相談や助 言ができる 人材がいる こと	電話で相 談できるこ と	Eメールや コミュニ ケーション アプリなど で相談でき ること	素早い対 応をしてく れること
	割合(%)							
全体	69	27	5	9	45	2	4	19
	100.0	39.1	7.2	13.0	65.2	2.9	5.8	27.5
持っている	39	17	3	4	23	1	0	9
	100.0	43.6	7.7	10.3	59.0	2.6	0.0	23.1
持っていない	30	10	2	5	22	1	4	10
	100.0	33.3	6.7	16.7	73.3	3.3	13.3	33.3
	わかりやす い情報を提 供してくれ ること	一か所で 用事が済 む相談窓 口を設置す ること	当事者や 家族など同 じような立 場の人によ るサポート 活動を進め ること	町や府、民 間相談機 関などが互 いに協力し あうこと	福祉・教 育・就労な どの一貫し た相談支 援体制を充 実させるこ と	その他	不明・無回 答	
全体	27	14	11	8	27	4	1	
	39.1	20.3	15.9	11.6	39.1	5.8	1.4	
持っている	17	10	9	5	18	3	1	
	43.6	25.6	23.1	12.8	46.2	7.7	2.6	
持っていない	10	4	2	3	9	1	0	
	33.3	13.3	6.7	10.0	30.0	3.3	0.0	

問 14 あなたは、障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「児童発達支援や放課後等デイ、ヘルパー事業所などの職員」が 53.6%と最も高く、次いで「インターネット」が 52.2%、「友人・知人」が 30.4%となっています。



【問 14 の手帳所持別による集計結果】

手帳所持別にみると、持っているでは「インターネット」が 59.0%と最も高く、持っていないでは「児童発達支援や放課後等デイ、ヘルパー事業所などの職員」が 70.0%と最も高くなっています。

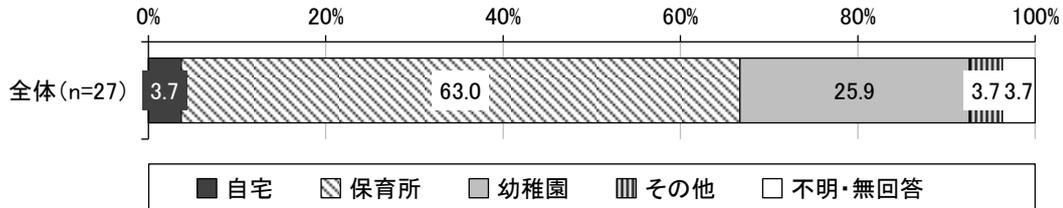
	件数	本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	行政の広報誌	インターネット	家族や親せき	友人・知人	児童発達支援や放課後等デイ、ヘルパー事業所などの職員	障害者団体や家族会(団体の機関誌など)
	割合(%)							
全体	69	14	12	36	1	21	37	8
	100.0	20.3	17.4	52.2	1.4	30.4	53.6	11.6
持っている	39	9	7	23	1	12	16	6
	100.0	23.1	17.9	59.0	2.6	30.8	41.0	15.4
持っていない	30	5	5	13	0	9	21	2
	100.0	16.7	16.7	43.3	0.0	30.0	70.0	6.7
	かかりつけの医師や看護師	病院のケースワーカー	民生委員・児童委員	保育所、幼稚園、学校などの先生	相談支援事業所などの民間の相談窓口	行政機関の相談窓口	障害者福祉のてびき	その他
全体	16	0	1	17	11	9	3	1
	23.2	0.0	1.4	24.6	15.9	13.0	4.3	1.4
持っている	13	0	0	10	6	5	3	1
	33.3	0.0	0.0	25.6	15.4	12.8	7.7	2.6
持っていない	3	0	1	7	5	4	0	0
	10.0	0.0	3.3	23.3	16.7	13.3	0.0	0.0
	不明・無回答							
全体	1							
	1.4							
持っている	1							
	2.6							
持っていない	0							
	0.0							

## (4) お子さまの保育・教育について

就学前（0～6歳）のお子さまがおられる方

問 15 日中、お子さまは主にどこで過ごされていますか。（〇は1つ）

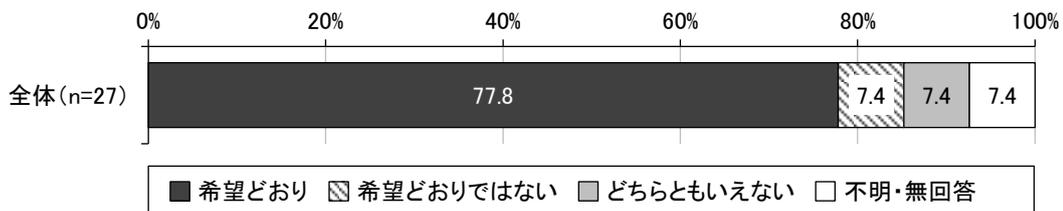
全体では、「保育所」が63.0%と最も高く、次いで「幼稚園」が25.9%、「自宅」「その他」が3.7%となっています。



就学前（0～6歳）のお子さまがおられる方

問 16 お子さまが日中過ごされている場は希望どおり選べましたか。（〇は1つ）

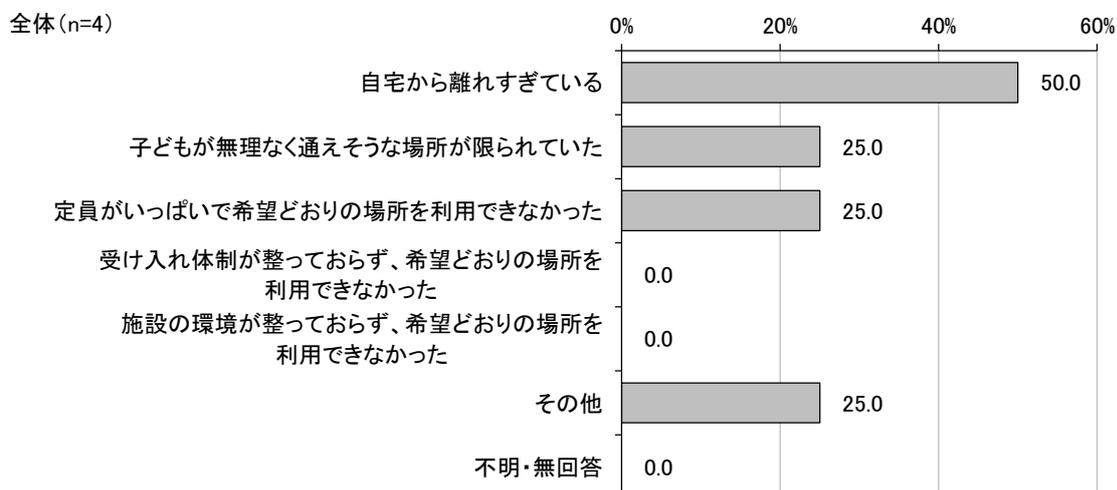
全体では、「希望どおり」が77.8%と最も高く、次いで「希望どおりではない」「どちらともいえない」が7.4%となっています。



就学前（0～6歳）のお子さまがおられる方

問 17 理由について教えてください。（あてはまるものすべてに〇）

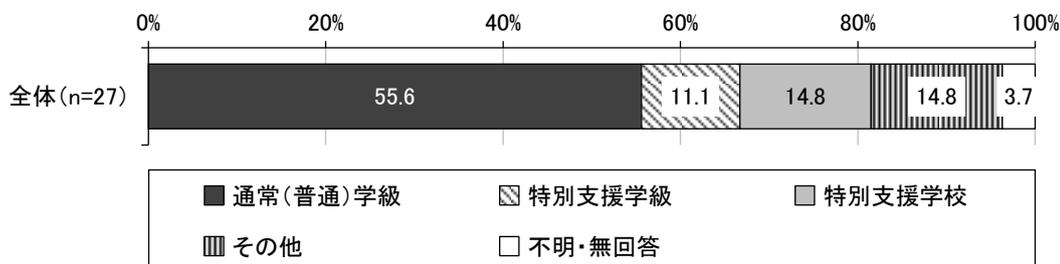
全体では、「自宅から離れすぎている」が50.0%、「子どもが無理なく通えそうな場所が限られていた」「定員がいっぱいで希望どおりの場所を利用できなかった」「その他」が25.0%となっています。



就学前（0～6歳）のお子さまがおられる方

問 18 今後、就学するにあたり、どの学校・学級で教育を受けることを希望しますか。（○は1つ）

全体では、「通常（普通）学級」が55.6%と最も高く、次いで「特別支援学校」「その他」が14.8%、「特別支援学級」が11.1%となっています。

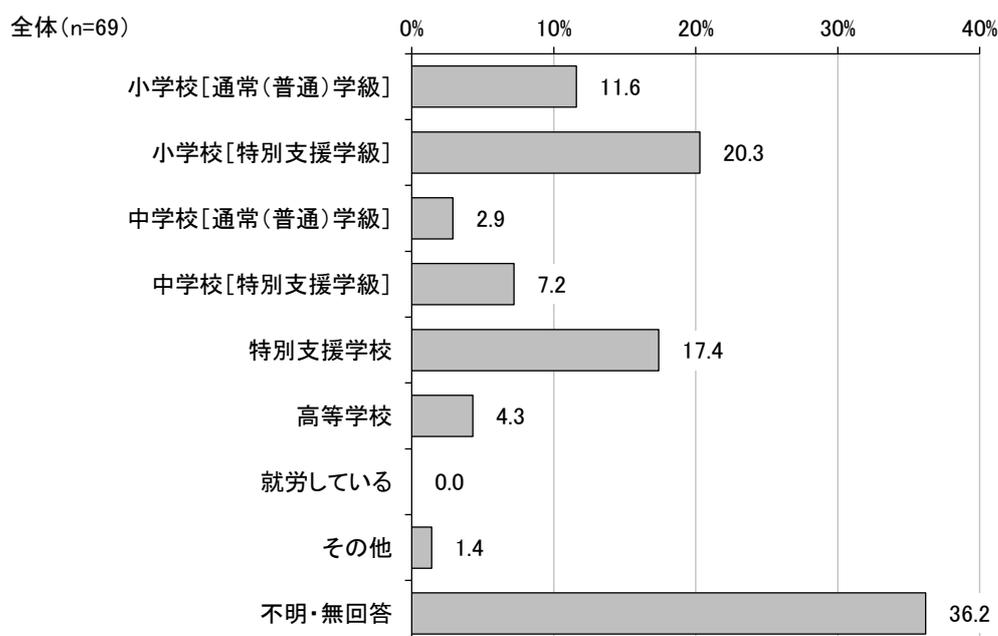


問 19 就学するにあたり、「就学先の学校の支援や環境」について、ご意見・ご要望などがありましたら、下の枠内に具体的にお書きください。

※自由回答の為、省略。

問 20 お子さまは、現在、どの学校・学級で学ばれていますか。（○は2つまで）

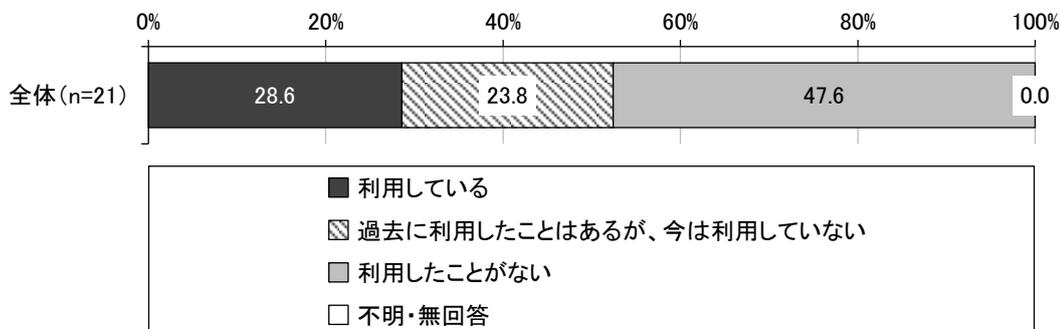
全体では、「小学校 [特別支援学級]」が20.3%と最も高く、次いで「特別支援学校」が17.4%、「小学校 [通常（普通）学級]」が11.6%となっています。



就学しているお子さま（小学生）がおられる方

問 21 放課後（学校が終わった後）、お子さまは学童保育を利用していますか。（○は1つ）

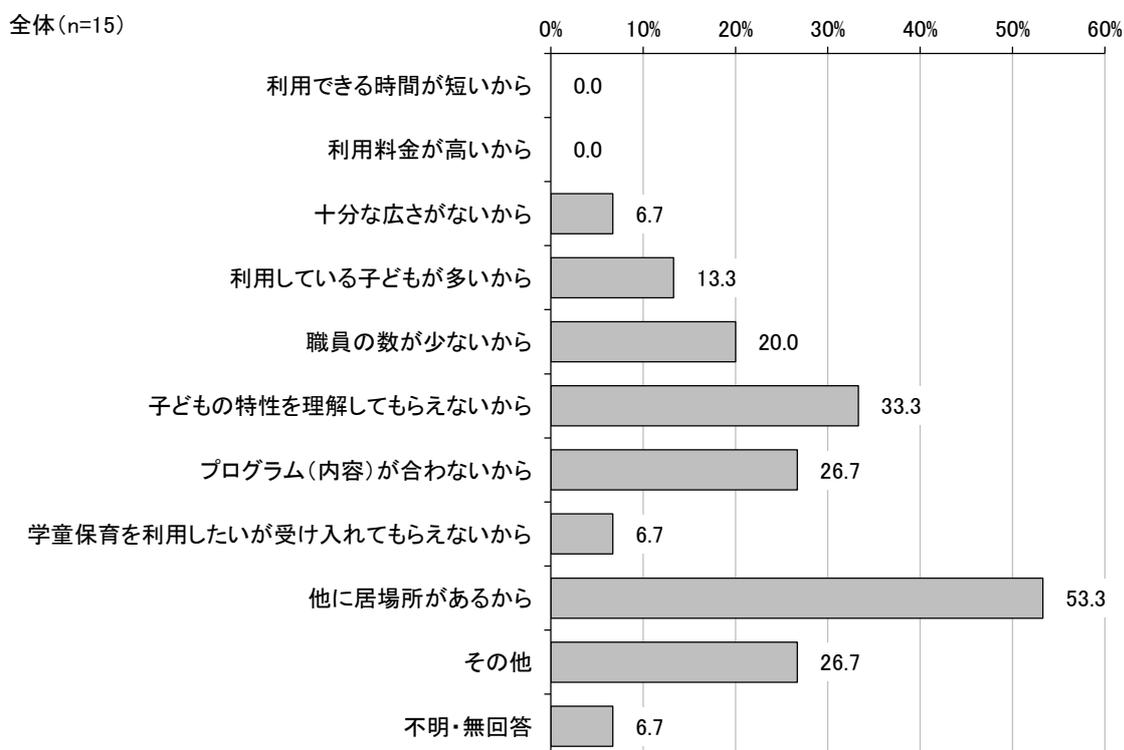
全体では、「利用したことがない」が47.6%と最も高く、次いで「利用している」が28.6%、「過去に利用したことはあるが、今は利用していない」が23.8%となっています。



問 21 で「過去に利用したことはあるが、今は利用していない」「利用したことがない」を選んだ方

問 22 理由について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

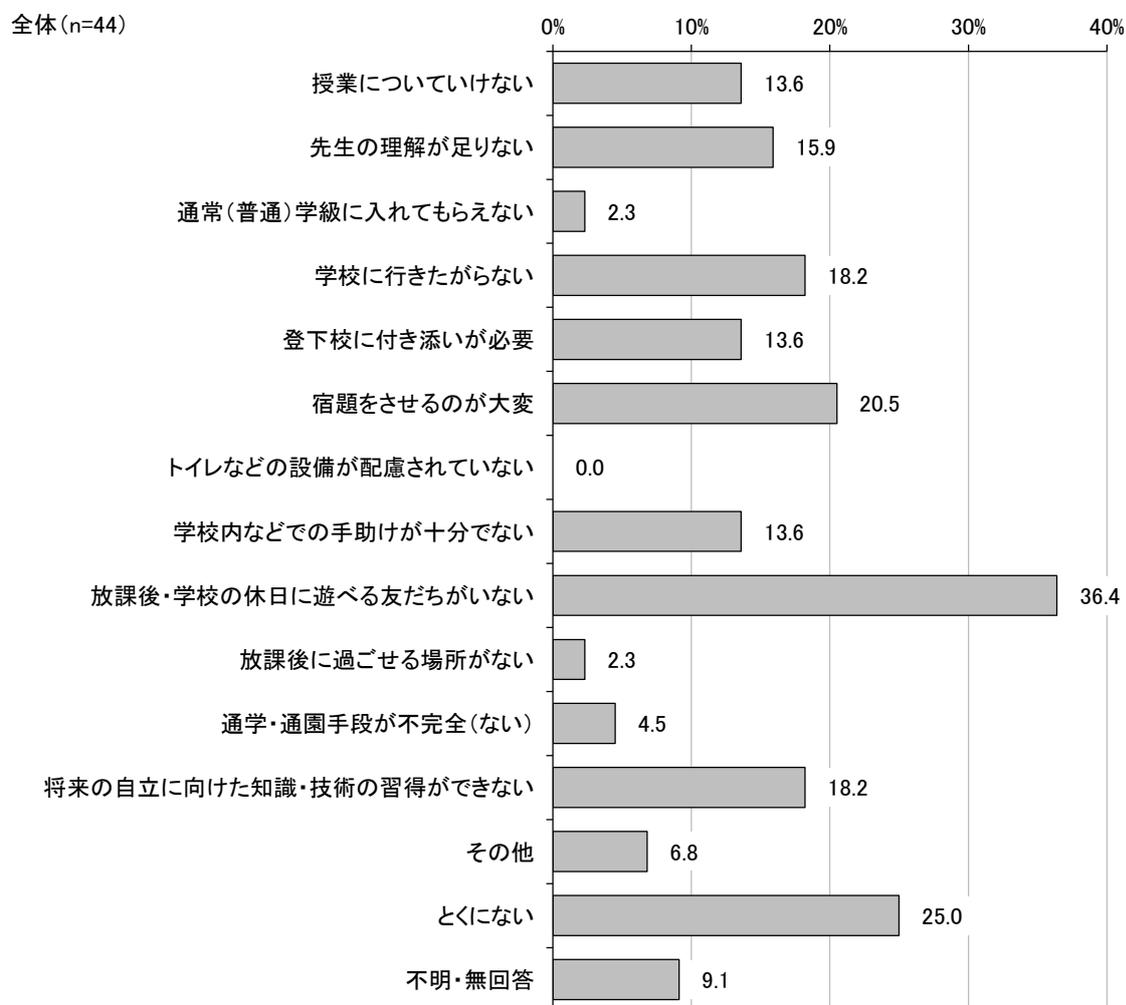
全体では、「他に居場所があるから」が53.3%、「子どもの特性を理解してもらえないから」が33.3%、「プログラム（内容）が合わないから」「その他」が26.7%となっています。



## 就学しているお子さまがおられる方

### 問 23 就学にあたり、現状で困っていることは何かありますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「放課後・学校の休日に遊べる友だちがいない」が 36.4%と最も高く、次いで「とくにな  
い」が 25.0%、「宿題をさせるのが大変」が 20.5%となっています。



【問 23 の学校別による集計結果】

学校別にみると、どちらも「放課後・学校の休日に遊べる友だちがいない」が 34.4%、41.7%とそれぞれ最も高くなっています

	件数	授業についていけない	先生の理解が足りない	通常(普通)学級に入れてもらえない	学校に行きたがらない	登下校に付き添いが必要	宿題をさせるのが大変	トイレなどの設備が配慮されていない
	割合(%)							
全体	44	6	7	1	8	6	9	0
	100.0	13.6	15.9	2.3	18.2	13.6	20.5	0.0
普通学校	32	6	5	1	5	4	8	0
	100.0	18.8	15.6	3.1	15.6	12.5	25.0	0.0
特別支援学校	12	0	1	0	2	1	0	0
	100.0	0.0	8.3	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0
	学校内などでの手助けが十分でない	放課後・学校の休日に遊べる友だちがいない	放課後に過ごす場所がない	通学・通園手段が不完全(ない)	将来の自立に向けた知識・技術の習得ができない	その他	とくにない	不明・無回答
全体	6	16	1	2	8	3	11	4
	13.6	36.4	2.3	4.5	18.2	6.8	25.0	9.1
普通学校	4	11	1	2	7	2	8	2
	12.5	34.4	3.1	6.3	21.9	6.3	25.0	6.3
特別支援学校	1	5	0	0	1	1	3	2
	8.3	41.7	0.0	0.0	8.3	8.3	25.0	16.7

就学しているお子さまがおられる方

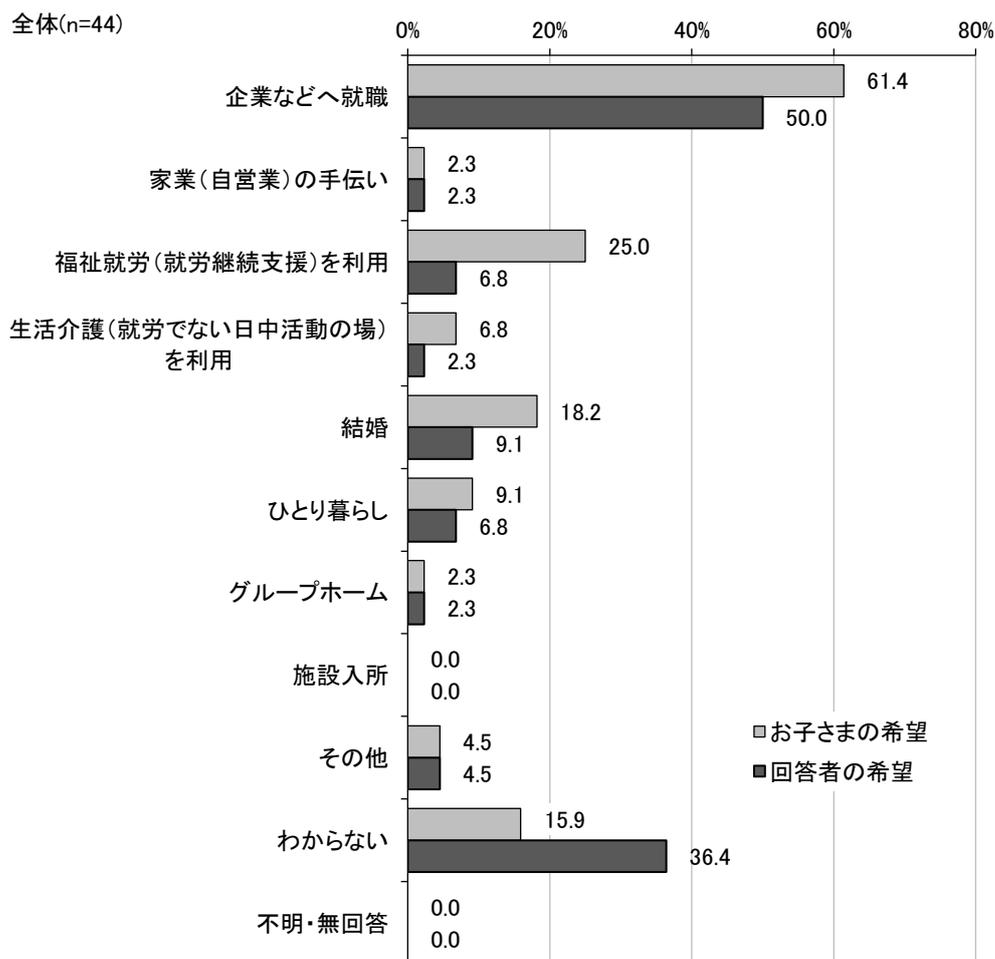
問 24 【お子さま】 学校を卒業したあと、どのような進路や生活を希望していますか。

(○は2つまで)

【あなた】 学校を卒業したあと、どのような進路や生活を希望していますか。

(○は2つまで)

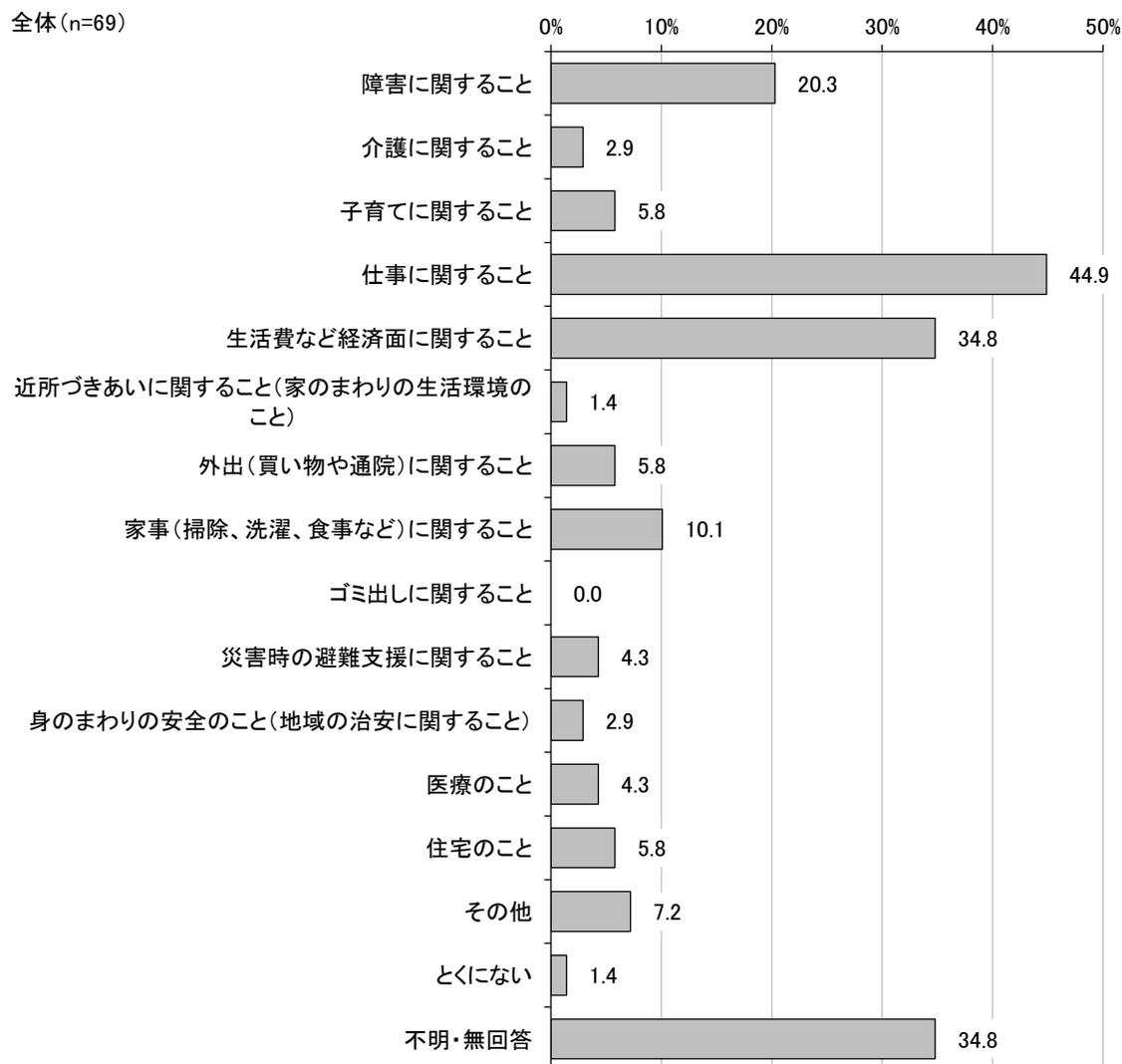
お子さまの希望は「企業などへ就職」が61.4%と最も高く、次いで「福祉就労(就労継続支援)を利用」が25.0%となっています。回答者の希望は「企業などへ就職」が50.0%と最も高く、次いで「わからない」が36.4%となっています。



問 25 お子さまの将来に向けて、あなたがとくに不安に感じていることについて教えてください。

(〇は3つまで)

全体では、「仕事に関すること」が 44.9%と最も高く、次いで「生活費など経済面に関すること」が 34.8%、「障害に関すること」が 20.3%となっています。



## 【問 25 の手帳所持別による集計結果】

手帳所持別にみると、持っているでは「仕事に関すること」「生活費など経済面に関すること」が 43.6%と最も高く、次いで「障害に関すること」が 28.2%となっています。持っていないでは、「仕事に関すること」が 46.7%と最も高く、次いで、「生活費など経済面に関すること」が 23.3%となっています。

	件数	障害に関すること	介護に関すること	子育てに関すること	仕事に関すること	生活費など経済面に関すること	近所づきあいに関すること(家のまわりの生活環境のこと)	外出(買い物や通院)に関すること
	割合(%)							
全体	69	14	2	4	31	24	1	4
	100.0	20.3	2.9	5.8	44.9	34.8	1.4	5.8
持っている	39	11	2	1	17	17	0	4
	100.0	28.2	5.1	2.6	43.6	43.6	0.0	10.3
持っていない	30	3	0	3	14	7	1	0
	100.0	10.0	0.0	10.0	46.7	23.3	3.3	0.0
	家事(掃除、洗濯、食事など)に関すること	ゴミ出しに関すること	災害時の避難支援に関すること	身のまわりの安全のこと(地域の治安に関すること)	医療のこと	住宅のこと	その他	とくにない
全体	7	0	3	2	3	4	5	1
	10.1	0.0	4.3	2.9	4.3	5.8	7.2	1.4
持っている	4	0	3	1	3	4	4	0
	10.3	0.0	7.7	2.6	7.7	10.3	10.3	0.0
持っていない	3	0	0	1	0	0	1	1
	10.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3
	不明・無回答							
全体	24							
	34.8							
持っている	10							
	25.6							
持っていない	14							
	46.7							

### 【問 25 の学校別による集計結果】

学校別にみると、普通学校では「仕事に関すること」が71.9%と最も高く、特別支援学校では「生活費など経済面に関すること」が75.0%と最も高くなっています。

	件数	障害に関すること	介護に関すること	子育てに関すること	仕事に関すること	生活費など経済面に関すること	近所づきあいに関すること(家のまわりの生活環境のこと)	外出(買い物や通院)に関すること
	割合(%)							
全体	69	14	2	4	31	24	1	4
	100.0	20.3	2.9	5.8	44.9	34.8	1.4	5.8
普通学校	32	9	2	3	23	15	1	1
	100.0	28.1	6.3	9.4	71.9	46.9	3.1	3.1
特別支援学校	12	4	0	0	7	9	0	3
	100.0	33.3	0.0	0.0	58.3	75.0	0.0	25.0
	家事(掃除、洗濯、食事など)に関すること	ゴミ出しに関すること	災害時の避難支援に関すること	身のまわりの安全のこと(地域の治安に関すること)	医療のこと	住宅のこと	その他	とくにない
全体	7	0	3	2	3	4	5	1
	10.1	0.0	4.3	2.9	4.3	5.8	7.2	1.4
普通学校	4	0	0	2	2	4	4	1
	12.5	0.0	0.0	6.3	6.3	12.5	12.5	3.1
特別支援学校	3	0	3	0	0	1	0	0
	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
	不明・無回答							
全体	24							
	34.8							
普通学校	1							
	3.1							
特別支援学校	0							
	0.0							

問 26 お子さまが「学校を卒業したあとの過ごし方」について、ご意見・ご要望などがありましたら、下の枠内に具体的にお書きください。

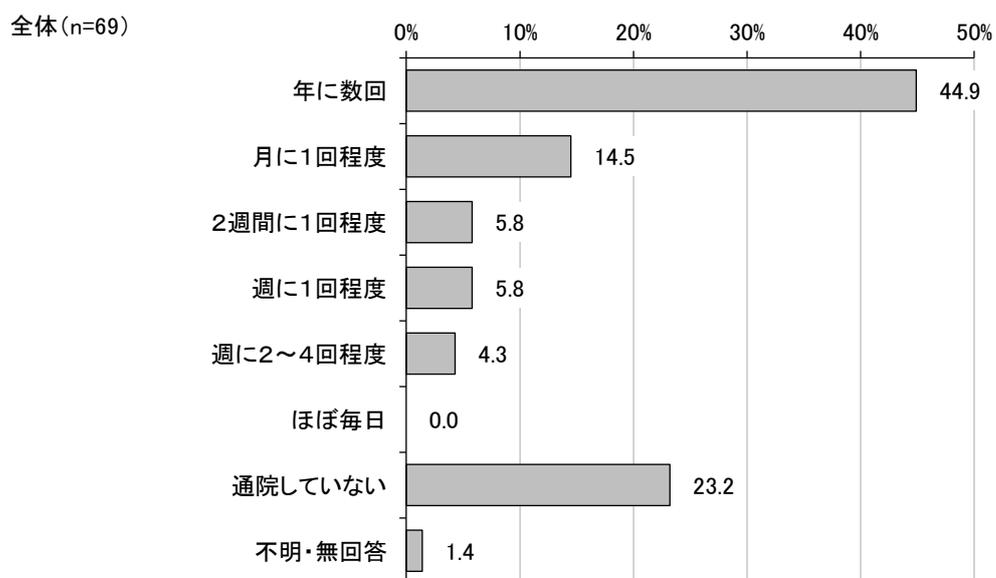
※自由回答の為、省略。

## (5) お子さまの医療について

問 27 お子さまの現在の通院状況（医療機関でのリハビリ含む）について教えてください。

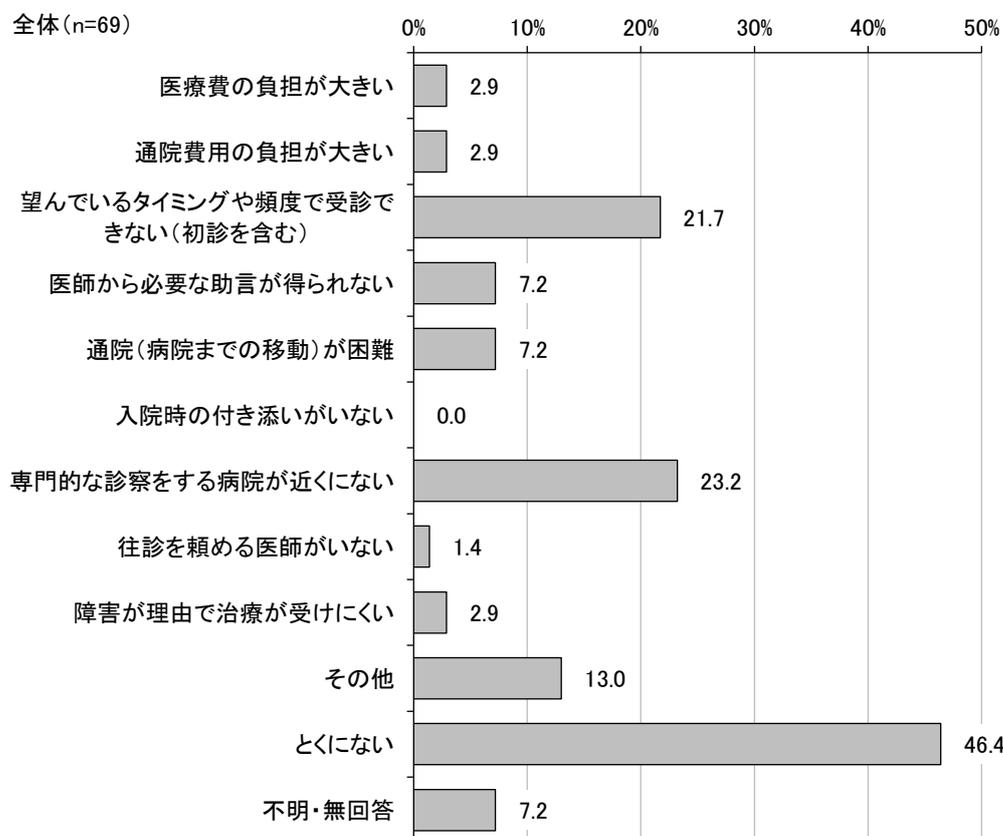
（1つに○）

全体では、「年に数回」が 44.9%と最も高く、次いで「通院していない」が 23.2%、「月に1回程度」が 14.5%となっています。



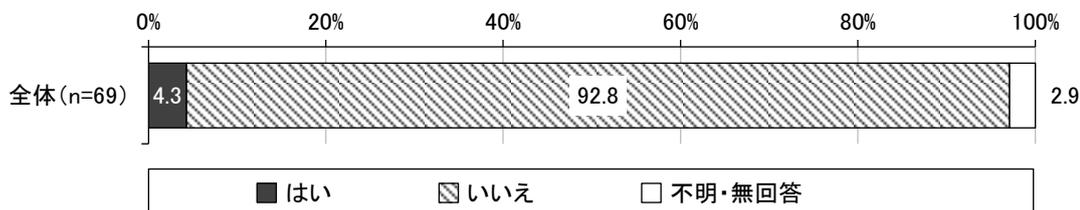
問 28 お子さまが、病院などで医療を受けるうえで困っていることはありますか。(〇は3つまで)

全体では、「とくにない」が 46.4%と最も高く、次いで「専門的な診察をする病院が近くにない」が 23.2%、「望んでいるタイミングや頻度で受診できない(初診を含む)」が 21.7%となっています。



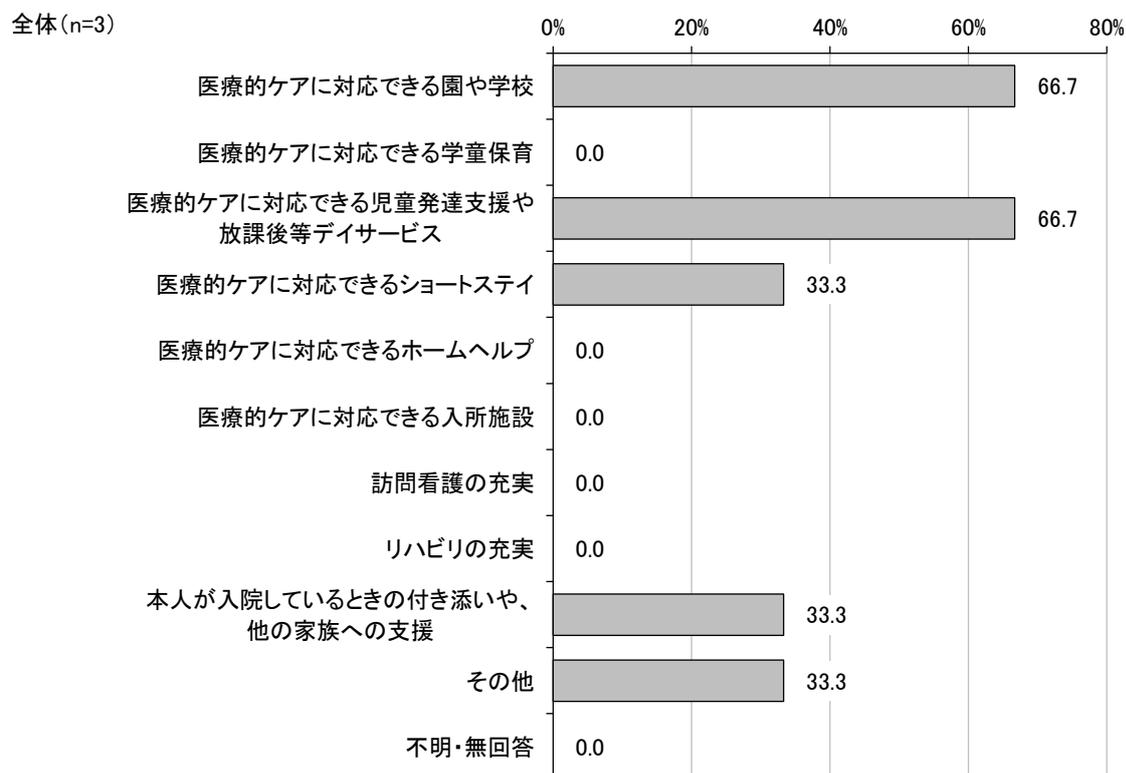
問 29 お子さまは、日常的に医療的ケアを必要としていますか。(1つに〇)

全体では、「いいえ」が 92.8%と、「はい」の 4.3%を上回っています。



問 30 あなたが、医療的ケアを必要とする子どもや家族が安心して生活するために、とくに充実すべきだと思うものは何ですか。(〇は3つまで)

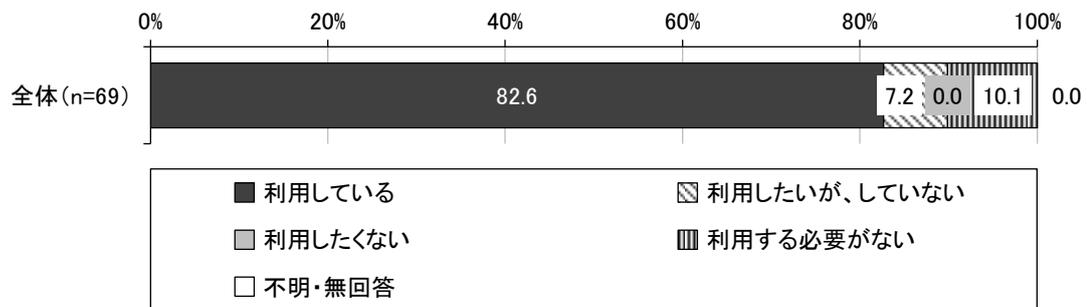
全体では、「医療的ケアに対応できる園や学校」「医療的ケアに対応できる児童発達支援や放課後等デイサービス」が 66.7%、「医療的ケアに対応できるショートステイ」「本人が入院しているときの付き添いや、他の家族への支援」「その他」が 33.3%となっています。



## (6) 障害福祉サービスなどについて

問 31 お子さまは、現在、児童福祉法や障害者総合支援法に定められたサービスを利用していますか。(○は1つ)

全体では、「利用している」が82.6%と最も高く、次いで「利用する必要がない」が10.1%、「利用したいが、していない」が7.2%となっています。



問 31 で「利用したくない」を選んだ方

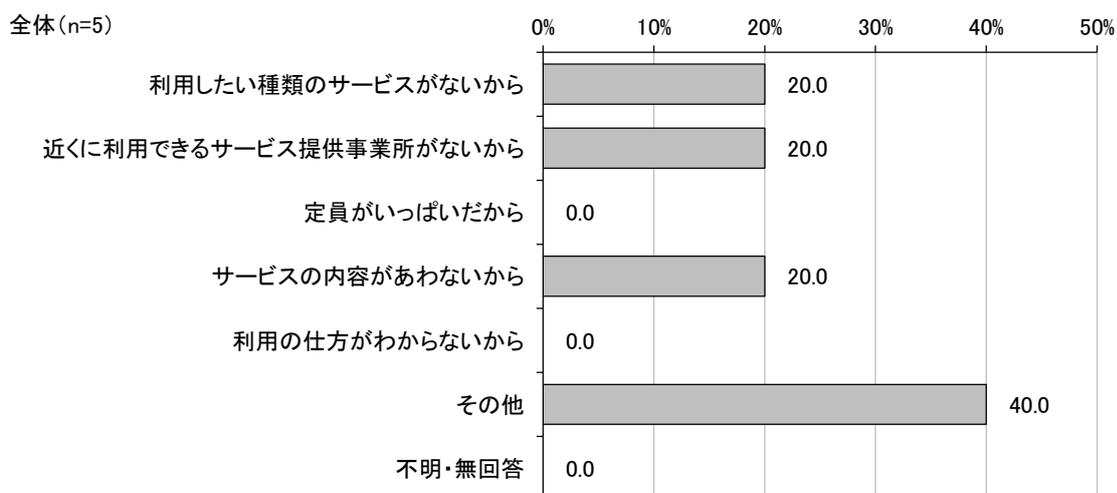
問 32 サービスを利用したくない理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

※回答者0人の為、省略。

問 31 で「利用したいが、していない」を選んだ方

問 33 サービスを利用していない理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「その他」が40.0%、「利用したい種類のサービスがないから」「近くに利用できるサービス提供事業所がないから」「サービスの内容があわないから」が20.0%となっています。



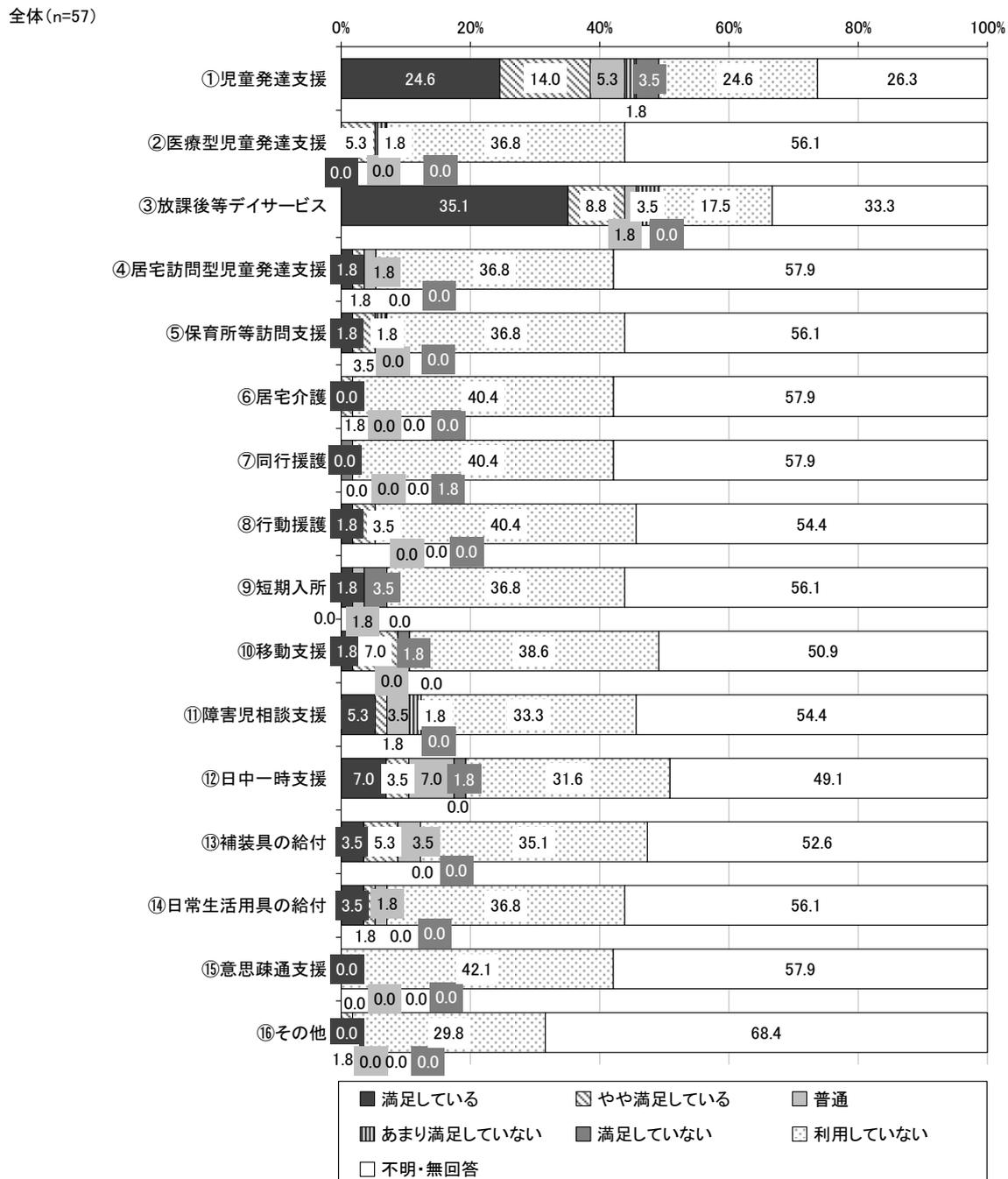
問 31 で「利用している」を選んだ方

問 34 利用しているサービスについて、あなたやお子さまは満足していますか。

(①～⑯それぞれにあてはまるもの1つに○)

利用しているサービスに「満足している」についてみると、「放課後等デイサービス」が 35.1%と最も高く、次いで「児童発達支援」が 24.6%、「日中一時支援」が 7.0%となっています。

利用しているサービスに「満足していない」についてみると、「児童発達支援」「短期入所」が 3.5%と最も高く、次いで「同行援護」「移動支援」「日中一時支援」が 1.8%となっています。



問 34 で「4」「5」に、ひとつでも○をつけた方

問 35 満足していない理由についてお書きください。

※自由回答の為、省略。

問 36 現在は提供されていないが、あるとよいと思うサービスや制度はありますか。「ある」という方は、下の枠内に具体的にお書きください。

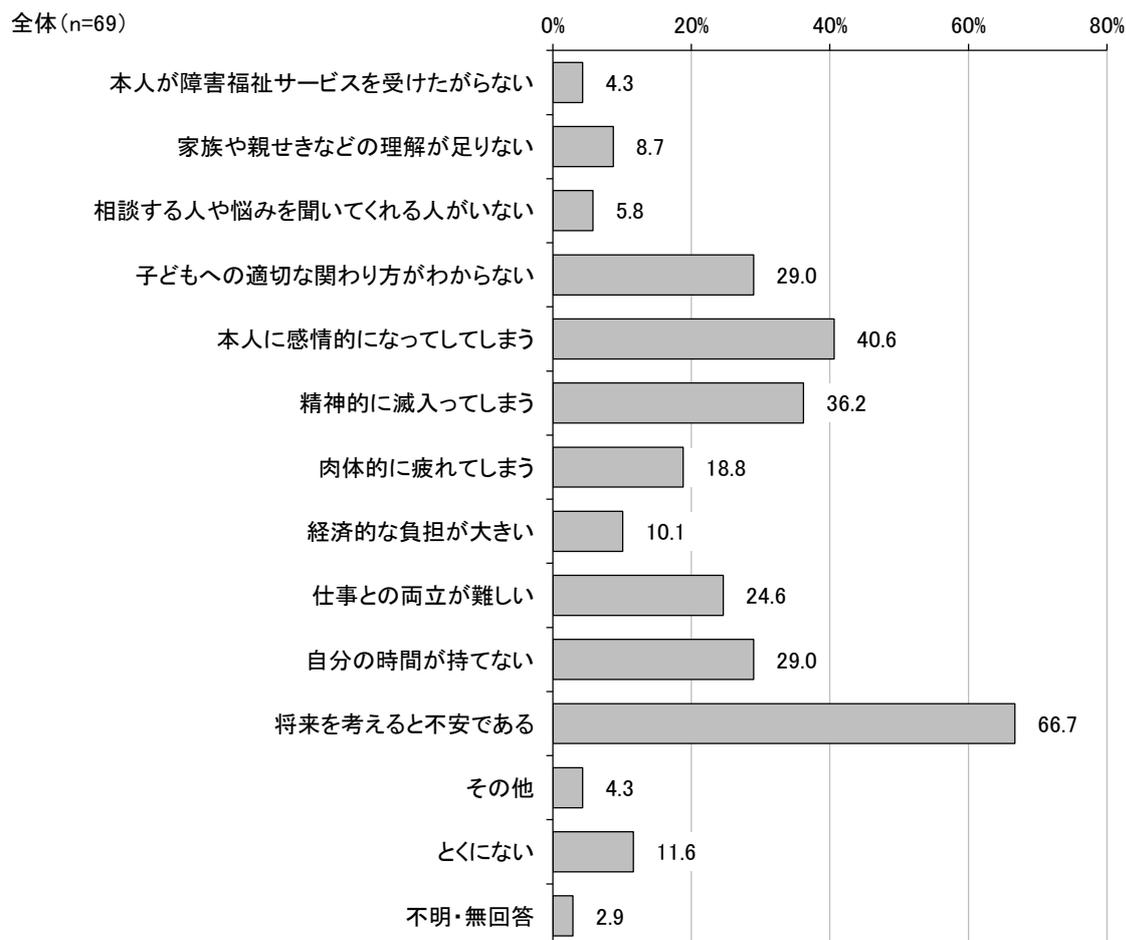
※自由回答の為、省略。

## (7) 子育てについて

問 37 あなたが、子育てにおいて困っていることについて教えてください。

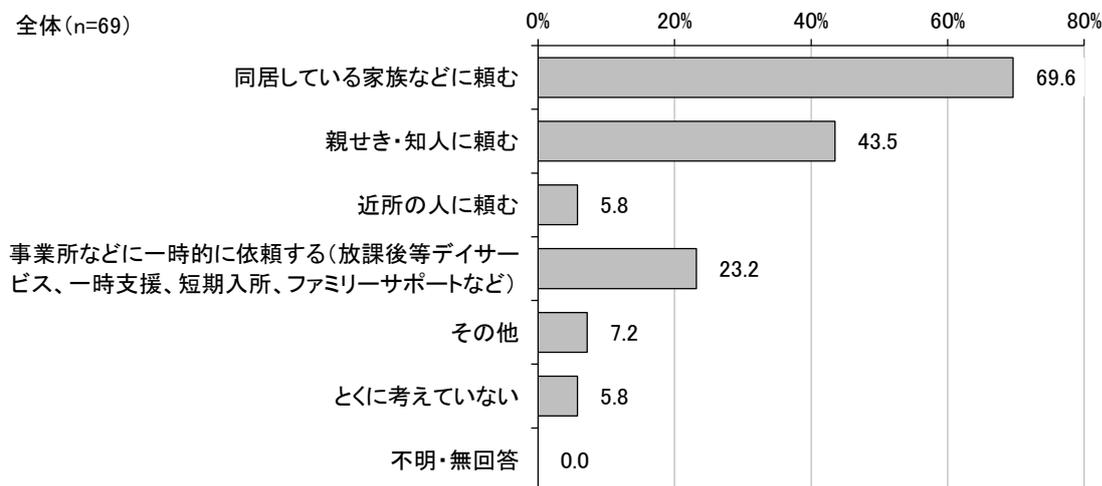
(あてはまるものすべてに○)

全体では、「将来を考えると不安である」が 66.7%と最も高く、次いで「本人に感情的になってしてしまう」が 40.6%、「精神的に滅入ってしまう」が 36.2%となっています。



問 38 あなたが、急病・出産・冠婚葬祭などのため一時的にお子さまをみることができなくなった場合、どうすることになっていますか。(あてはまるものすべてに○)

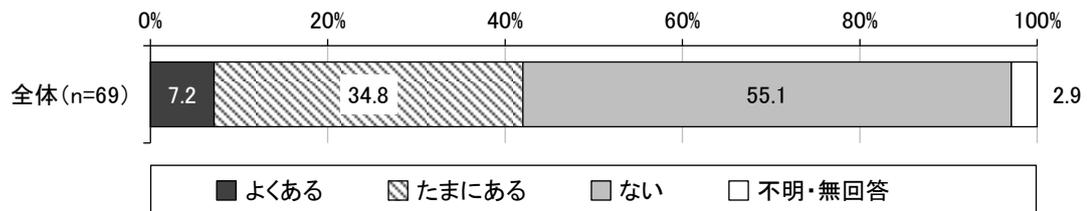
全体では、「同居している家族などに頼む」が 69.6%と最も高く、次いで「親せき・知人に頼む」が 43.5%、「事業所などに一時的に依頼する(放課後等デイサービス、一時支援、短期入所、ファミリーサポートなど)」が 23.2%となっています。



## (8) 一人ひとりの権利を守る取り組みについて

問 39 あなたはお子さまが日常生活において、障害があるために差別や偏見を受けたり、嫌がらせをされたり、仲間はずれにされたと感じることがありますか。(〇は1つ)

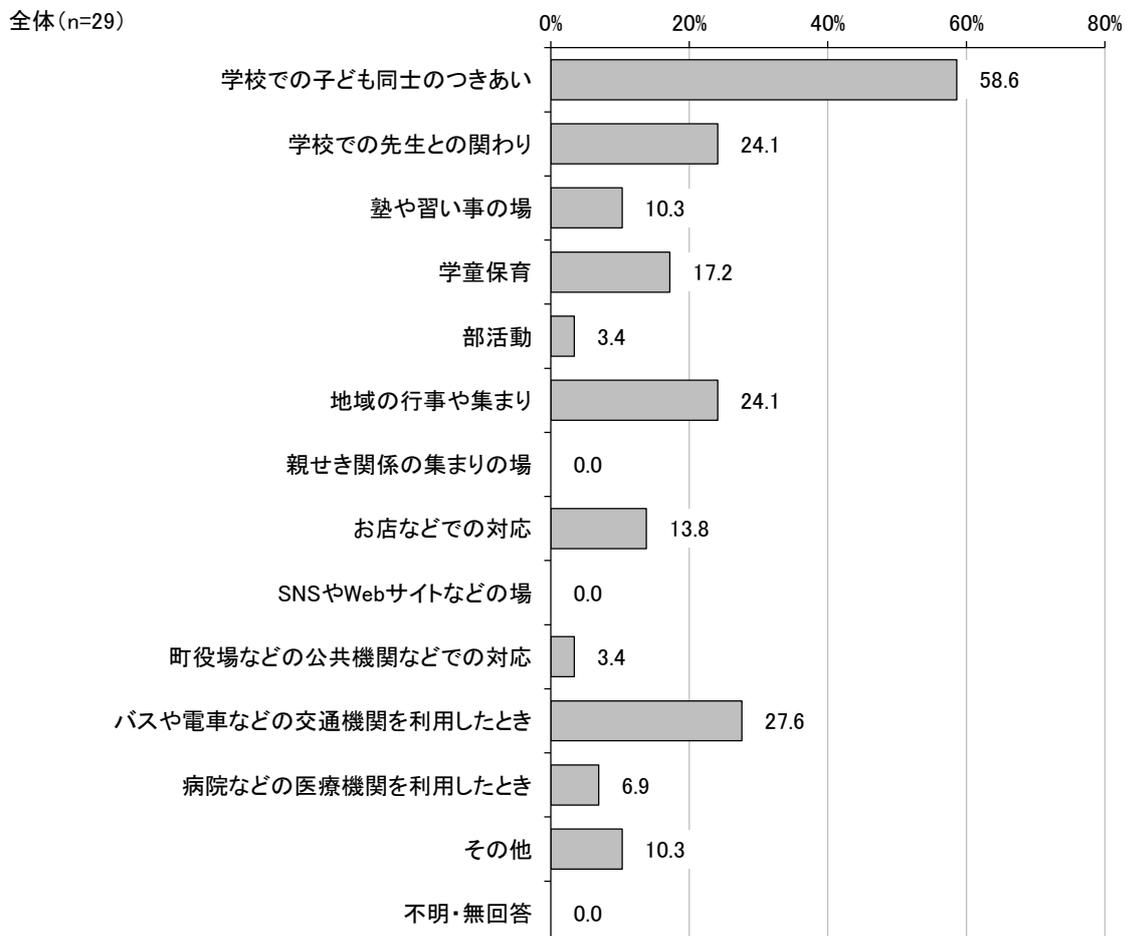
全体では、「ない」が55.1%と最も高く、次いで「たまにある」が34.8%、「よくある」が7.2%となっています。



問 39 で「よくある」「たまにある」を選んだ方

問 40 どのようなときにそれを感じましたか。(あてはまるものすべてに〇)

全体では、「学校での子ども同士のつきあい」が58.6%と最も高く、次いで「バスや電車などの交通機関を利用したとき」が27.6%、「学校での先生との関わり」「地域の行事や集まり」が24.1%となっています。



### 【問 40 の手帳種別による集計結果】

手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者では「学童保育」が50.0%と最も高くなっています。療育手帳所持者では「学校での子ども同士のつきあい」「バスや電車などの交通機関を利用したとき」が50.0%と最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳所持者では「学校での子ども同士のつきあい」「学校での先生との関わり」「地域の行事や集まり」が50.0%と最も高くなっています。

	件数	学校での子ども同士のつきあい	学校での先生との関わり	塾や習い事の間	学童保育	部活動	地域の行事や集まり	親せき関係の集まりの間
	割合(%)							
全体	29	17	7	3	5	1	7	0
	100.0	58.6	24.1	10.3	17.2	3.4	24.1	0.0
身体障害者手帳	4	1	0	1	2	0	1	0
	100.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0
療育手帳	12	6	1	0	0	0	4	0
	100.0	50.0	8.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
精神障害者保健福祉手帳	4	2	2	1	1	0	2	0
	100.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0
	お店などでの対応	SNSやWebサイトなどの場	町役場などの公共機関などでの対応	バスや電車などの交通機関を利用したとき	病院などの医療機関を利用したとき	その他	不明・無回答	
全体	4	0	1	8	2	3	0	
	13.8	0.0	3.4	27.6	6.9	10.3	0.0	
身体障害者手帳	0	0	0	1	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
療育手帳	4	0	1	6	2	2	0	
	33.3	0.0	8.3	50.0	16.7	16.7	0.0	
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	1	0	1	0	
	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	

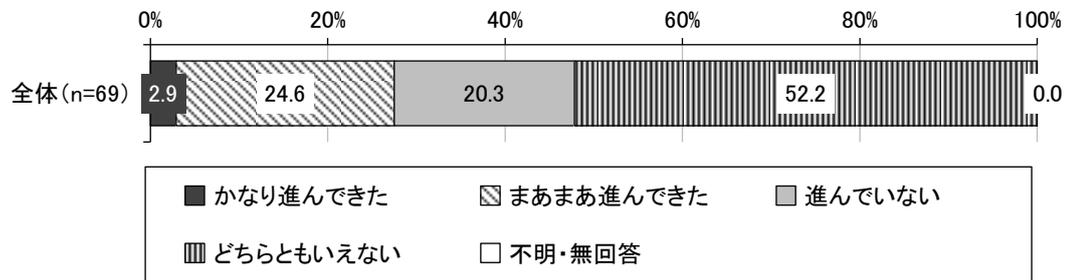
### 【問 40 の学校別による集計結果】

学校別にみると、普通学校では「学校での子ども同士のつきあい」が78.9%と最も高く、特別支援学校では「地域の行事や集まり」「バスや電車などの交通機関を利用したとき」がそれぞれ60.0%と最も高くなっています。

	件数	学校での	学校での	塾や習い	学童保育	部活動	地域の行	親せき関
	割合(%)	子ども同	先生との	事				
		士の	関	の場			まり	りの場
		つき	わり					
		あい						
全体	29	17	7	3	5	1	7	0
	100.0	58.6	24.1	10.3	17.2	3.4	24.1	0.0
普通学校	19	15	7	3	3	1	3	0
	100.0	78.9	36.8	15.8	15.8	5.3	15.8	0.0
特別支援学校	5	1	0	0	0	0	3	0
	100.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0
	お店など	SNSやWeb	町役場な	バスや電	病院など	その他	不明・無	
	での	サイトな	どの公	車など	の医療		回	
	対	どの	共機	の交	機関		答	
	応	の場	関な	通機	を			
			での	関を	利			
			対	用	用			
			応	した	した			
				と	と			
				き	き			
全体	4	0	1	8	2	3	0	
	13.8	0.0	3.4	27.6	6.9	10.3	0.0	
普通学校	1	0	0	3	1	1	0	
	5.3	0.0	0.0	15.8	5.3	5.3	0.0	
特別支援学校	1	0	1	3	1	1	0	
	20.0	0.0	20.0	60.0	20.0	20.0	0.0	

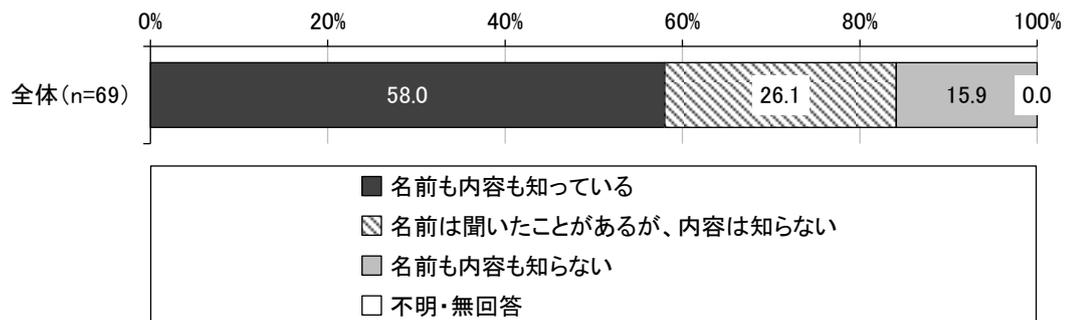
問 41 あなたは、精華町民の障害者（児）に対する理解は進んできたと思いますか。（○は1つ）

全体では、「どちらともいえない」が 52.2%と最も高く、次いで「まあまあ進んできた」が 24.6%、「進んでいない」が 20.3%となっています。



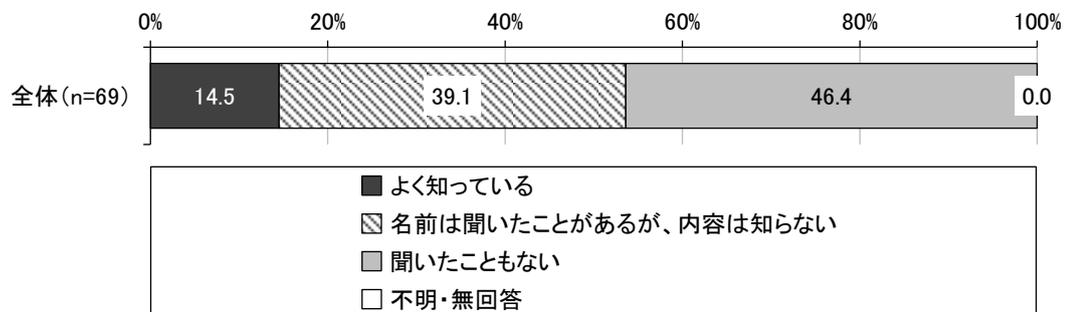
問 42 成年後見制度について知っていますか。（○は1つ）

全体では、「名前も内容も知っている」が 58.0%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 26.1%、「名前も内容も知らない」が 15.9%となっています。



問 43 2016年に施行された「障害者差別解消法」を知っていますか。（○は1つ）

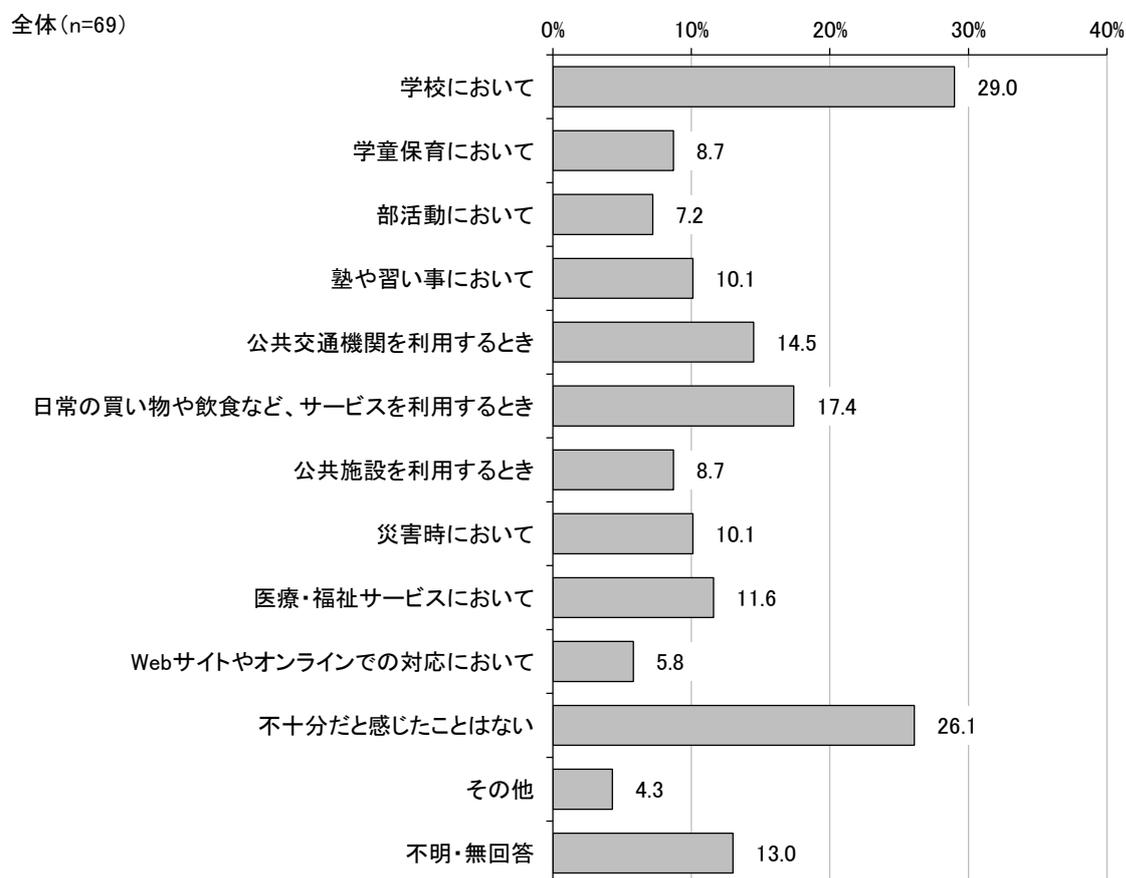
全体では、「聞いたこともない」が 46.4%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 39.1%、「よく知っている」が 14.5%となっています。



問 44 日常生活でお子さまにとって合理的配慮が不十分だと思うシーンはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

全体では、「学校において」が 29.0%と最も高く、次いで「不十分だと感じたことはない」が 26.1%、「日常の買い物や飲食など、サービスを利用するとき」が 17.4%となっています。



### 【問 44 の手帳所持別による集計結果】

手帳所持別にみると、持っているでは「日常の買い物や飲食など、サービスを利用するとき」が30.8%と最も高く、持っていないでは「不十分だと感じたことはない」が40.0%と最も高くなっています。

	件数	学校において	学童保育において	部活動において	塾や習い事において	公共交通機関を利用するとき	日常の買い物や飲食など、サービスを利用するとき	公共施設を利用するとき
	割合(%)							
全体	69	20	6	5	7	10	12	6
	100.0	29.0	8.7	7.2	10.1	14.5	17.4	8.7
持っている	39	11	2	2	6	9	12	6
	100.0	28.2	5.1	5.1	15.4	23.1	30.8	15.4
持っていない	30	9	4	3	1	1	0	0
	100.0	30.0	13.3	10.0	3.3	3.3	0.0	0.0
	災害時において	医療・福祉サービスにおいて	Webサイトやオンラインでの対応において	不十分だと感じたことはない	その他	不明・無回答		
全体	7	8	4	18	3	9		
	10.1	11.6	5.8	26.1	4.3	13.0		
持っている	6	7	4	6	2	5		
	15.4	17.9	10.3	15.4	5.1	12.8		
持っていない	1	1	0	12	1	4		
	3.3	3.3	0.0	40.0	3.3	13.3		

### 【問 44 の学校別による集計結果】

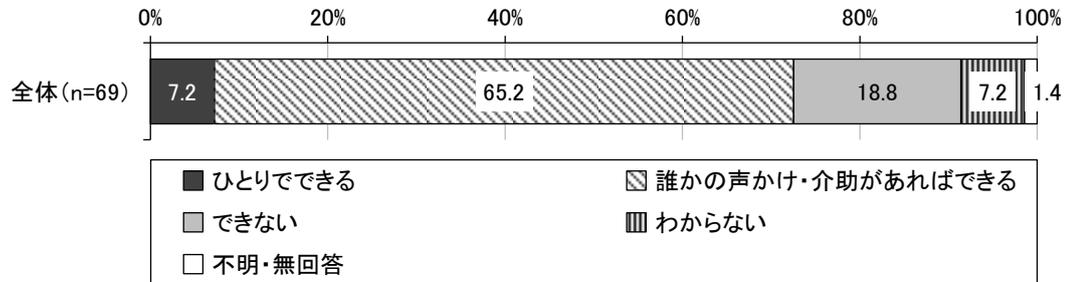
学校別にみると、普通学校では「学校において」が50.0%と最も高く、特別支援学校では「公共交通機関を利用するとき」「災害時において」「不十分だと感じたことはない」がそれぞれ25.0%と最も高くなっています。

	件数	学校において	学童保育において	部活動において	塾や習い事において	公共交通機関を利用するとき	日常の買い物や飲食など、サービスを利用するとき	公共施設を利用するとき
	割合(%)							
全体	69	20	6	5	7	10	12	6
	100.0	29.0	8.7	7.2	10.1	14.5	17.4	8.7
普通学校	32	16	4	4	5	6	6	4
	100.0	50.0	12.5	12.5	15.6	18.8	18.8	12.5
特別支援学校	12	1	0	0	1	3	2	1
	100.0	8.3	0.0	0.0	8.3	25.0	16.7	8.3
	災害時において	医療・福祉サービスにおいて	Webサイトやオンラインでの対応において	不十分だと感じたことはない	その他	不明・無回答		
全体	7	8	4	18	3	9		
	10.1	11.6	5.8	26.1	4.3	13.0		
普通学校	1	5	3	6	1	1		
	3.1	15.6	9.4	18.8	3.1	3.1		
特別支援学校	3	1	1	3	0	2		
	25.0	8.3	8.3	25.0	0.0	16.7		

## (9) 緊急時の対応について

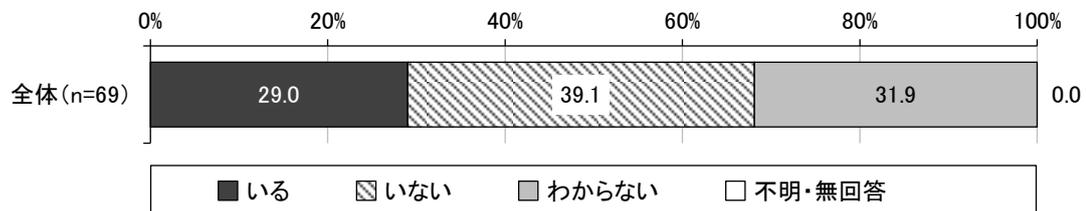
問 45 お子さまは、火事や台風、地震などの災害時に避難できますか。(○は1つ)

全体では、「誰かの声かけ・介助があればできる」が65.2%と最も高く、次いで「できない」が18.8%、「ひとりでできる」「わからない」が7.2%となっています。



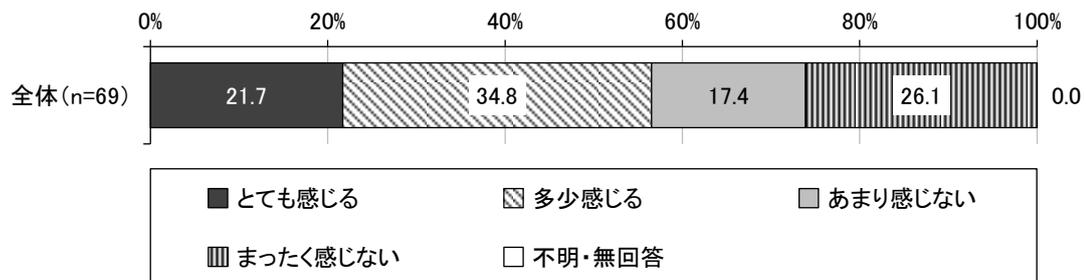
問 46 家族が不在の場合やひとり暮らしの場合、近所にお子さまを助けてくれる人はいますか。(○は1つ)

全体では、「いない」が39.1%と最も高く、次いで「わからない」が31.9%、「いる」が29.0%となっています。



問 47 災害が起きた場合、あなたはお子さまと避難所へ避難することにためらいを感じますか。(○は1つ)

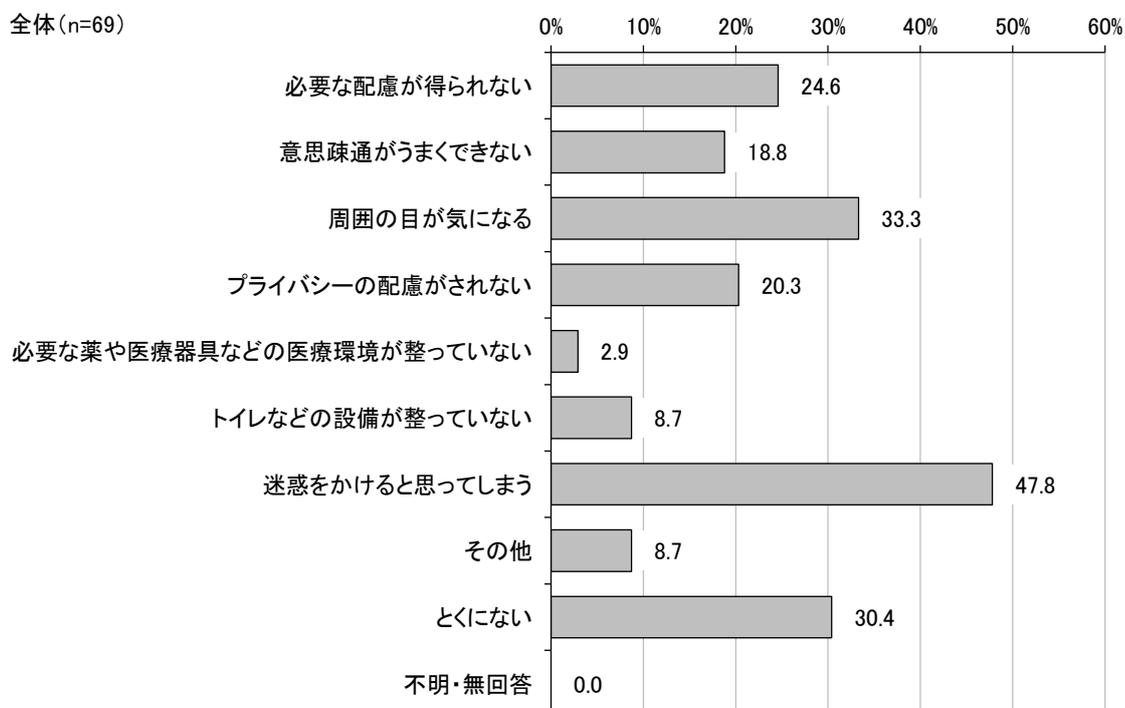
全体では、「多少感じる」が34.8%と最も高く、次いで「まったく感じない」が26.1%、「とても感じる」が21.7%となっています。



問 48 あなたがお子様と避難所で過ごす場合に、不安に感じることについて教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

全体では、「迷惑をかけると思ってしまう」が 47.8%と最も高く、次いで「周囲の目が気になる」が 33.3%、「とくにない」が 30.4%となっています。



### 【問 48 の手帳種別による集計結果】

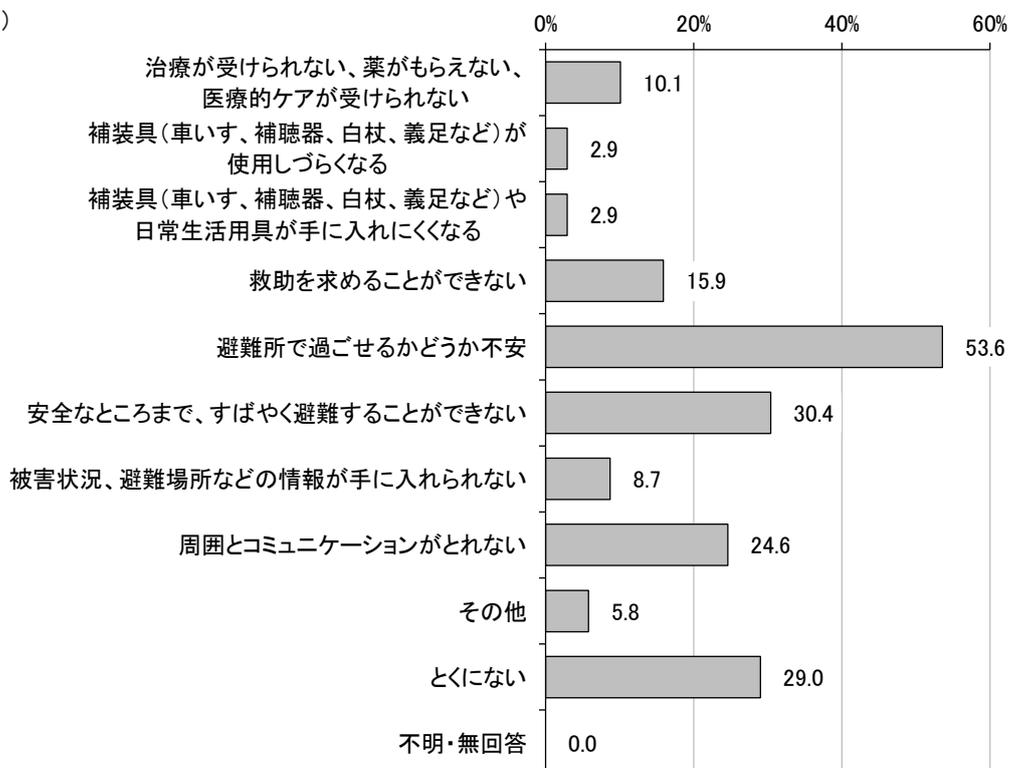
手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者では「必要な配慮が得られない」「迷惑をかけると思ってしまう」が 57.1%と最も高くなっています。療育手帳所持者では「迷惑をかけると思ってしまう」が 51.7%と最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳所持者では「必要な配慮が得られない」が 83.3%と最も高くなっています。持っていないでは「とくにない」が 43.3%と最も高くなっています。

	件数	必要な配慮が得られない	意思疎通がうまくできない	周囲の目が気になる	プライバシーの配慮がされない	必要な薬や医療器具などの医療環境が整っていない	トイレなどの設備が整っていない	迷惑をかけると思ってしまう
	割合(%)							
全体	69	17	13	23	14	2	6	33
	100.0	24.6	18.8	33.3	20.3	2.9	8.7	47.8
身体障害者手帳	7	4	0	1	1	2	1	4
	100.0	57.1	0.0	14.3	14.3	28.6	14.3	57.1
療育手帳	29	7	9	11	6	0	3	15
	100.0	24.1	31.0	37.9	20.7	0.0	10.3	51.7
精神障害者保健福祉手帳	6	5	1	2	1	0	0	4
	100.0	83.3	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	66.7
持っていない	30	2	3	9	6	0	2	12
	100.0	6.7	10.0	30.0	20.0	0.0	6.7	40.0
	その他	とくにない	不明・無回答					
全体	6	21	0					
	8.7	30.4	0.0					
身体障害者手帳	1	1	0					
	14.3	14.3	0.0					
療育手帳	3	7	0					
	10.3	24.1	0.0					
精神障害者保健福祉手帳	2	1	0					
	33.3	16.7	0.0					
持っていない	1	13	0					
	3.3	43.3	0.0					

問 49 火事や台風、地震などが起こったとき、お子さまについて困ること、心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「避難所で過ごせるかどうか不安」が 53.6%と最も高く、次いで「安全なところまで、すばやく避難することができない」が 30.4%、「とくにない」が 29.0%となっています。

全体(n=69)



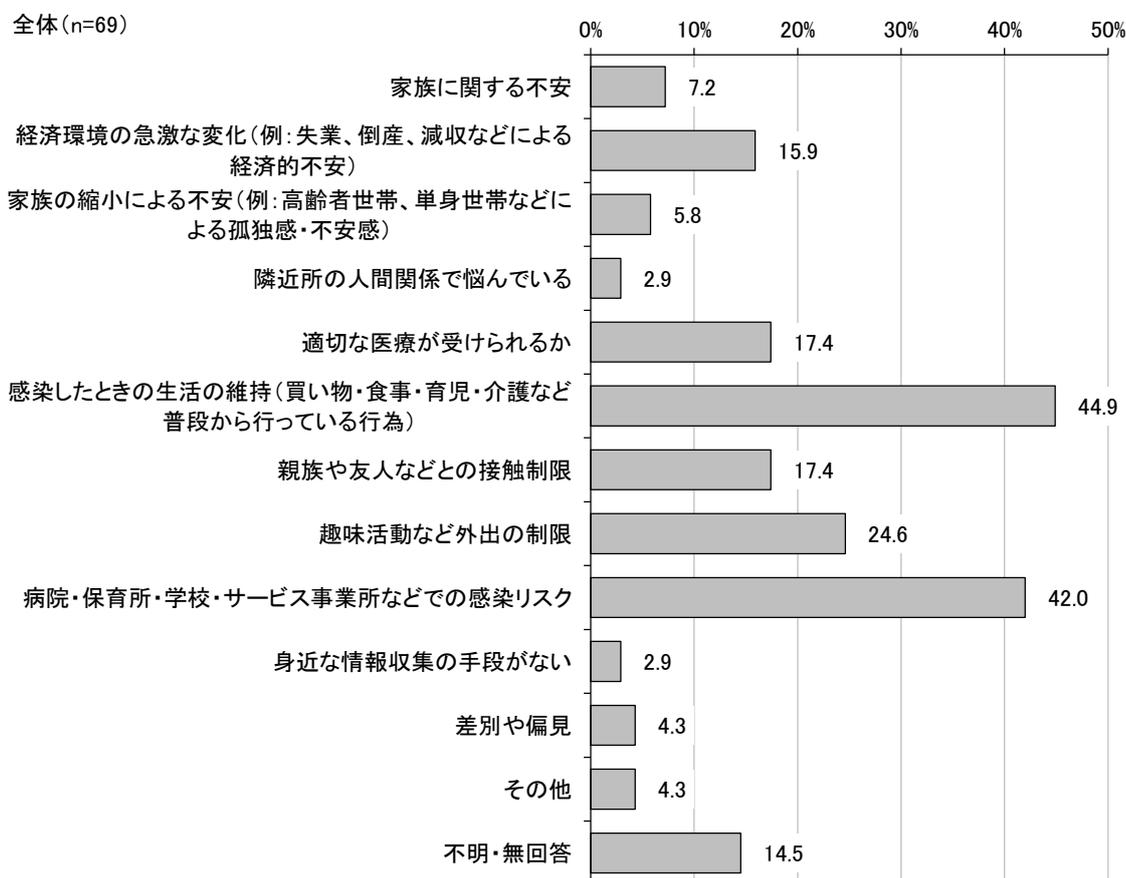
【問 49 の手帳所持別による集計結果】

手帳所持別にみると、どちらも「避難所で過ごせるかどうか不安」が 59.0%、46.7%とそれぞれ最も高くなっています。

	件数	治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない	補装具(車いす、補聴器、白杖、義足など)が使用しづらくなる	補装具(車いす、補聴器、白杖、義足など)や日常生活用具が手に入りにくくなる	救助を求めることができない	避難所で過ごせるかどうか不安	安全なところまで、すばやく避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が手に入れない
	割合(%)							
全体	69	7	2	2	11	37	21	6
	100.0	10.1	2.9	2.9	15.9	53.6	30.4	8.7
持っている	39	7	2	2	8	23	15	4
	100.0	17.9	5.1	5.1	20.5	59.0	38.5	10.3
持っていない	30	0	0	0	3	14	6	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	10.0	46.7	20.0	6.7
	周囲とコミュニケーションがとれない	その他	とくにない	不明・無回答				
全体	17	4	20	0				
	24.6	5.8	29.0	0.0				
持っている	14	3	7	0				
	35.9	7.7	17.9	0.0				
持っていない	3	1	13	0				
	10.0	3.3	43.3	0.0				

問 50 新型コロナウイルスの影響によって、あなた自身やお子さまの生活のなかで不安に感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「感染したときの生活の維持（買い物・食事・育児・介護など普段から行っている行為）」が44.9%と最も高く、次いで「病院・保育所・学校・サービス事業所などでの感染リスク」が42.0%、「趣味活動など外出の制限」が24.6%となっています。

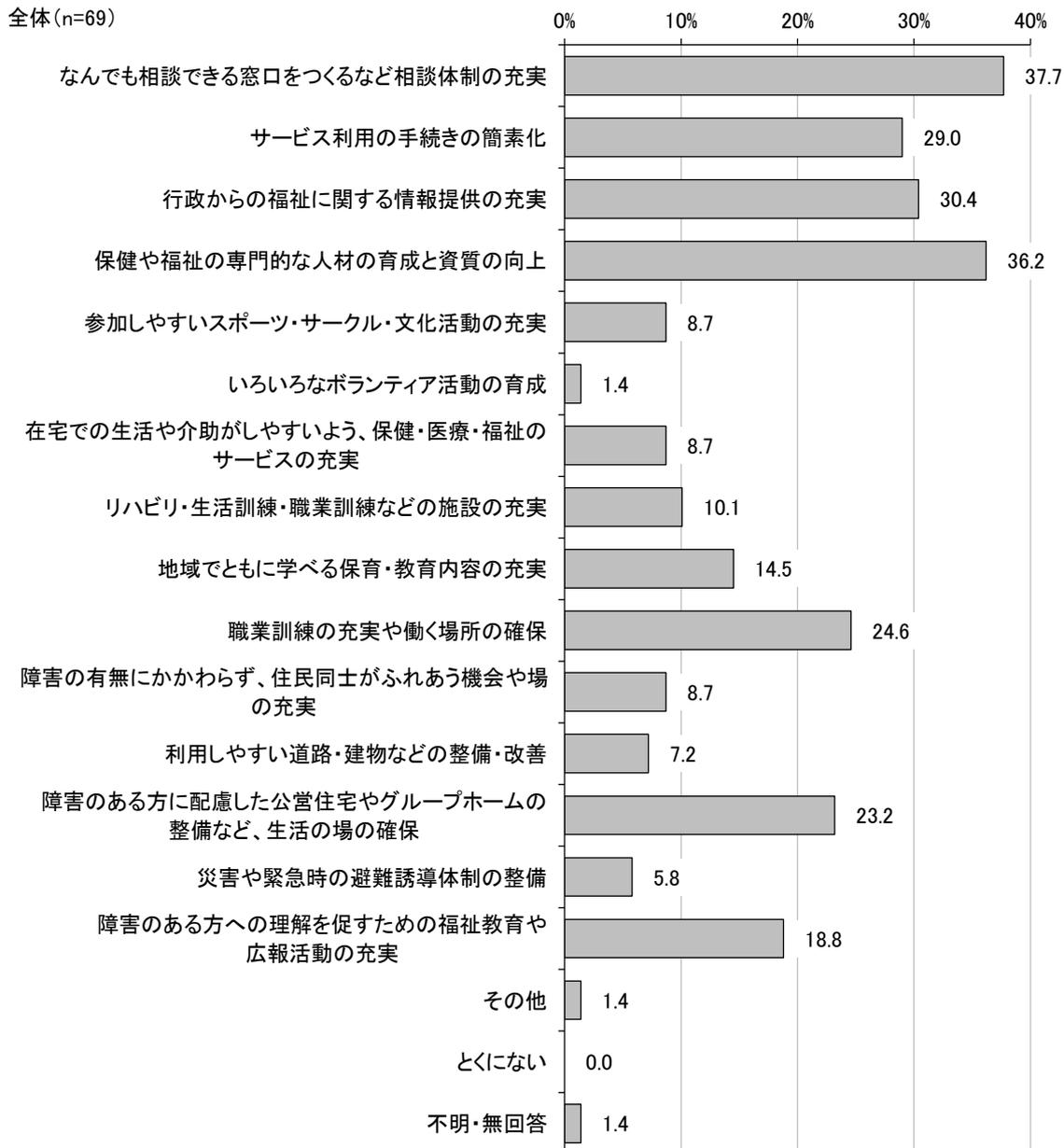


## (10) 障害福祉施設全般について

問 51 今後の障害福祉施策を進めるうえで、とくに力を入れるべきことは何だと思えますか。

(○は3つまで)

全体では、「なんでも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が37.7%と最も高く、次いで「保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上」が36.2%、「行政からの福祉に関する情報提供の充実」が30.4%となっています。



## 【問 51 の手帳種別による集計結果】

手帳種別にみると、身体障害者手帳所持者では「保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上」が42.9%と最も高くなっています。療育手帳所持者では「障害のある方に配慮した公営住宅やグループホームの整備など、生活の場の確保」が41.4%と最も高くなっています。精神障害者保健福祉手帳所持者では「なんでも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」「保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上」が66.7%と最も高くなっています。持っていないでは「なんでも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」「保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上」が41.4%と最も高くなっています。

	件数	なんでも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実	サービス利用の手続きの簡素化	行政からの福祉に関する情報提供の充実	保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上	参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実	いろいろなボランティア活動の育成	在宅での生活や介助がしやすいよう、保健・医療・福祉のサービスの充実
	割合(%)							
全体	69	26	20	21	25	6	1	6
	100.0	37.7	29.0	30.4	36.2	8.7	1.4	8.7
身体障害者手帳	7	0	1	2	3	0	0	2
	100.0	0.0	14.3	28.6	42.9	0.0	0.0	28.6
療育手帳	29	10	7	11	8	4	1	2
	100.0	34.5	24.1	37.9	27.6	13.8	3.4	6.9
精神障害者保健福祉手帳	6	4	3	3	4	0	0	0
	100.0	66.7	50.0	50.0	66.7	0.0	0.0	0.0
持っていない	29	12	9	6	12	2	0	2
	100.0	41.4	31.0	20.7	41.4	6.9	0.0	6.9
	リハビリ・生活訓練・職業訓練などの施設の充実	地域でともに学べる保育・教育内容の充実	職業訓練の充実や働く場所の確保	障害の有無にかかわらず、住民同士がふれあう機会や場の充実	利用しやすい道路・建物などの整備・改善	障害のある方に配慮した公営住宅やグループホームの整備など、生活の場の確保	災害や緊急時の避難誘導体制の整備	障害のある方への理解を促すための福祉教育や広報活動の充実
全体	7	10	17	6	5	16	4	13
	10.1	14.5	24.6	8.7	7.2	23.2	5.8	18.8
身体障害者手帳	1	0	2	1	0	1	2	1
	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	28.6	14.3
療育手帳	4	3	11	2	3	12	2	4
	13.8	10.3	37.9	6.9	10.3	41.4	6.9	13.8
精神障害者保健福祉手帳	1	0	1	0	0	1	0	1
	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7
持っていない	1	7	4	3	2	2	0	7
	3.4	24.1	13.8	10.3	6.9	6.9	0.0	24.1
	その他	とくにない	不明・無回答					
全体	1	0	1					
	1.4	0.0	1.4					
身体障害者手帳	0	0	0					
	0.0	0.0	0.0					
療育手帳	1	0	0					
	3.4	0.0	0.0					
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0					
	0.0	0.0	0.0					
持っていない	0	0	1					
	0.0	0.0	3.4					



精華町の障害福祉に関するアンケート調査  
結果報告書

発行: 精華町 健康福祉環境部 社会福祉課

TEL: 0774-95-1904

FAX: 0774-95-3974

発行年月: 令和5年3月